

公益社団法人計測自動制御学会 2019年度（平成31年度）事業報告書

公益社団法人第9期 通算第58期

2019年（平成31年/令和元年）1月1日～12月31日

目 次

I. 計測自動制御学会の概要	1
II. 2019年度事業報告	
1. はじめに	2
2. 2019年事業計画.....	2
3. 2019年度の主な活動	4
4. 役員と業務執行体制	11
5. 委員会・部門・支部.....	12
6. 2019～20年度代議員.....	14
7. 会員の推移.....	16
8. Annual Conference、部門大会参加者数推移	17
III. 2019年度事業報告付属明細書	
1. 各組織の事業計画・実施報告.....	18
2. 2019年度に実施した個別事業実施報告	50

SICE®

2020年（令和2年）2月

公益社団法人計測自動制御学会

東京都千代田区神田小川町1-11-9 金子ビル4階

電話 (03) 3292-0314

FAX (03) 3292-3145

URL <https://www.sice.jp/>

I. 計測自動制御学会の概要

名称	公益社団法人 計測自動制御学会 (定款第1条)
所在地	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-11-9 金子ビル4階 電話: 03-3292-0314 FAX: 03-3292-3145 URL: https://www.sice.jp/
目的	本会は、計測、制御及びシステムに関する学術及び技術の進歩発達をはかり、文化の向上並びに産業の発展に寄与することを目的とする。(定款第3条)
事業	本会は、本会の目的を達成するために次の事業を行う。 (1) 研究集会、講演会及び教育・育成のための講習会等 (2) 調査・研究及び資料収集 (3) 技術者の資格認定・付与 (4) 啓発・普及のための体験活動等 (5) 表彰及びコンクール (6) その他の本会の目的を達成するための事業 本会の事業は日本全国及び必要に応じて海外において行うものとする。(定款第4条)
会長・副会長	会長 : 榎木 哲夫 (京都大学) 副会長 : 小野 晃 (産業技術総合研究所) : 小林 尚登 (法政大学)
事務局長	事務局長 : 結城 義敬
設立	設立総会 : 1961年(昭和36年)9月30日 事業開始 : 1962年(昭和37年)1月1日
法人化	社団法人 : 1963年(昭和38年)~2010年(平成22年)9月30日 公益社団法人 : 2010年(平成22年)10月1日~
会員数 ^注 2019年12月31日 現在	正会員 : 4,304名 名誉会員 : 35名 学生会員 : 368名 永年会員 : 128名 賛助会員 : 182社 : 230口 注: 定款で定められている准会員は、現在該当がありません。

Ⅱ. 2019 年度事業報告

1. はじめに

2019 年度の事業活動は、2019 年 2 月 19 日に開催された公益社団法人 計測自動制御学会 第 9 回定時社員総会で報告しました、「2019 年度事業計画」に従って実施されました。事業の実施結果について、理事会、各委員会・部門・支部関係の主なトピックスを中心に報告します。

2. 2019 年度事業計画

2019 年度の事業計画は、「SICE ミッションと事業計画（2019）」として策定し、2018 年 12 月 25 日開催の理事会で決議されました。この「SICE ミッションと事業計画（2019）」に基づき、各委員会、部門および支部が個別に 2019 年度事業計画を策定しました。

「SICE ミッションと事業計画（2019 年）」を以下に示します。

また、各委員会、部門および支部が策定しました事業計画については、本報告書のⅢ. 2019 年度事業報告附属明細書 1. 各組織の事業計画・実施報告（2019）を参照願います。

ミッションステートメント

計測・制御・システムの中核学会として、
 ①諸分野を横断して知を究め、新しい価値を創造し、
 ②関連分野・産学官のハブとなり、発信・連携することで、
 社会的課題の抽出・解決に貢献する。

社会貢献:

計測・制御・システムに関する学術及び技術の進歩発達を図り、文化の向上並びに産業の発展に寄与する。そのために、国内外の若手人材を育成し国際的に卓越した成果を創出／提供し続ける場を構築するとともに、分野横断を推進し新たな価値を創造する。

会員への貢献:

計測・制御・システムに関わる会員の分野横断的な活動を支えるために、専門性深化と知的創造、情報の発信と交換、学術体系化、産学官連携推進などを効果的に実現できる場を提供する。

国際貢献:

Annual Conference(AC)開催や英文論文誌発行を中心に、アジアそして世界における計測・制御・システム分野の研究・技術の発信と提案を進める。さらに標準化の推進において国際的役割を果たす。

学協会組織への貢献:

国内外の学協会連携組織および連携活動に参加し、関連学術・技術分野の縦横断的な連携の強化に取り組む。

基幹事業

- ・ Annual Conference(AC) 開催
- ・ 部門主催講演会、支部主催講演会等の開催
- ・ 部門・支部内各種事業および研究会活動
- ・ 各種セミナー・展示会・見学会開催
- ・ 関連国際会議、国内会議、展示会の共催・協賛
- ・ 国内外学協会・工業会等との連携
- ・ 学会誌、論文集発行
- ・ web等による情報発信
- ・ 技術者教育と資格認定
- ・ 標準化活動
- ・ 各種学会賞贈呈
- ・ その他

中期的課題

- ・ 支部再編によるサービスの拡大とインセンティブ見直しによる部門活動の強化
- ・ 新たな社会に向けたSICEが提供する価値領域の見直し（「なにを」「なぜ」「どのように」）
- ・ Webやイベントを活用した学会活動の見える化と情報発信の多様化によるSICEの社会に対する貢献の周知
- ・ 英文論文集およびACへの海外からの論文投稿および参加者の拡大による真の国際性獲得
- ・ ACの定期的海外開催およびSICEに密接に関連する重要国際会議への積極的支援（アジア諸国との組織的連携によるプレゼンス向上）
- ・ 企業（賛助会員等）を対象としたイベント開催による企業技術者教育と情報発信強化、非会員に向けた情報発信
- ・ SICEの事業および業務の適正化による収支改善
- ・ "SICE人材像"の再定義と社会と繋がる人材の育成
- ・ AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関するSICE企画
- ・ 計測・制御・システムの学術分野としての参照基準の検討
- ・ SICE60周年記念事業（2021年）の実施

2019年度事業計画

- ・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し（部門、支部、財務）
- ・ 新たな付加価値領域を探るための部門横断による作業部会の推進（企画委）
- ・ Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による、メーカー、サービス、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信（部門、支部、会誌委、AC委）
- ・ プロセス塾の成功事例をモデルに、AI/IoT/ビッグデータ塾（仮称）を企画（教育委）
- ・ 発信力強化のためのホームページの継続見直しと魅力を高めるコンテンツの充実とSICE事業番号付与（事業委）
- ・ 英文論文集の国際的評価基準（ESCI、Citation Index等）獲得へ向けた活動の継続（論文委）
- ・ 和文論文誌と英文論文誌の位置づけおよび編集方針の見直しによる投稿数拡大（論文委）
- ・ SICE2019（広島）での国際化推進イベントの企画（AC委）
- ・ AC（SICE2020）のタイ開催に向けた準備（AC委）
- ・ IMEKO2021、IROS2022、IFAC2023の開催推進（国際委）
- ・ SICE2019（広島）に向けた広報、および日本語WS併設による企業が集まるセミナー企画（AC委）
- ・ 直轄、部門、支部および事務局の業務見直しと効率化の推進（総務委、財務委）
- ・ 部門と支部を中心とした会員情報DBの整備による会員管理及び会員数拡大（部門、支部）
- ・ SICE人材像の見直し（企画委）
- ・ Y60（SICE60周年記念事業）準備委員会の推進（総務委）

3. 2019年度の主要な活動

2019年度の主要な活動を以下に紹介します。

第9回定時社員総会

日付：2019年2月19日

場所：東京工業大学キャンパス・イノベーション
センター 1階国際会議室

出席者：82名（事前議決権行使による出席者を含む）

議題：7件

議案：6件



役員・会員懇談会

日付：2019年9月12日

場所：広島大学東千田キャンパス 東千田総合校舎S棟 S206 講義室

出席者：約15名

理事会

2019年度は理事会運営規則に定められた7回の理事会を開催しました。

2019年度第1回理事会（2019年2月19日、東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター）

2019年度第2回理事会（2019年4月22日、SICE 神田小川町事務局）

2019年度第3回理事会（2019年6月28日、SICE 神田小川町事務局）

2019年度第4回理事会（2019年9月10日、広島大学東千田キャンパス 東千田総合校舎）

2019年度第5回理事会（2019年11月28日、SICE 神田小川町事務局）

2019年度第6回理事会（2019年12月24日、SICE 神田小川町事務局）

（2019年度第7回理事会は2020年2月7日にSICE 神田小川町事務局にて開催）

(研究集会、講演会及び教育・育成のための講習会等)

●SICE2019 in Hiroshima (アニュアルコンファレンス)

期間： 2019年9月10日～13日
場所： 広島大学東千田未来創生センター
参加者： 約670名
日本、タイ、中国、韓国、台湾、インド、エジプト、ドイツ、シンガポール、カナダ、アメリカ、オーストラリア、スペイン、マレーシア、イタリア、ベルギー、アルゼンチン、パキスタン



●部門大会

計測部門：第36回センシングフォーラム (2019年8月29日～30日、慶應義塾大学)
制御部門：第5回マルチシンポジウム (2018年3月8日～11日、東京都市大学)
システム・情報部門：学術講演会 SSI2019 (2019年11月23日～25日、千葉大学)
システムインテグレーション部門：部門講演会 (2019年12月12日～14日、サンポート高松)
産業応用部門：部門大会 (2019年10月31日、東京工業大学)
ライフエンジニアリング部門：部門シンポジウム (2019年8月23日～25日、タイ・バンコク)

●安全のための計測・制御・システムを考える会

内容： 東日本大震災以降、近年惹起されるインフラ・産業設備などの重大事故におけるオートメーションのあり方を、産業界の事故や災害の教訓に基づく帰納法的アプローチと、学界の理論に基づく演繹的アプローチの両面から検討することを目的に、講師を招いて学会内でサロン形式の討論会を実施。

実施： 1月28日、2月18日、3月15日、4月17日、5月28日、6月4日、7月3日、7月18日-19日(見学会)、8/2日、9月3日、9月10日(公開サロン)、10月1日-2日(見学会)、10月8日、11月5日、12月12日、12月13日(有料講演会)

参加者：約20名/回



●プロセス塾 (プロセス新塾)

内容： 現場に精通したプロセス制御関連技術者を育成することを目標に、2006年から3年間、2010年から3年間、2013年から3年間、2016年から3年間4期実施(延べ約400名受講)。現在はプロセス新塾-考究を2019年から3年間実施。プロセス新塾は、日本工学会のECEプログラムの認定を受けている。

塾長： 北森俊行 東京大学名誉教授

期間： 2019年6月7日～8日 (慶應義塾大学)
2019年7月19日～20日 (太陽石油(株)四国事業所)
2019年10月11日～12日 (京都大学)
2019年12月13日～14日 (慶應義塾大学)
2020年3月13日～14日 (株)神戸製鋼所加古川製鉄所)

受講者：2019年度=31名



(技術者の資格認定・付与)

●計測制御エンジニア資格審査

内容： 計測制御エンジニアとは、公益社団法人計測自動制御学会が認定する資格であり、計測と制御を基礎とする技術者が計測自動制御学会の審査に合格したときに認定される（これまで、約 1000 名認定）。

実施： 2019 年 10 月 19 日（室蘭工業大学）
2019 年 10 月 26 日（SICE 事務局）
2019 年 11 月 17 日（九州大学）
2019 年度受験者数：13 名

(啓発・普及のための体験活動等)

●体験セミナー&現場見学会

内容： 賛助会員各企業に協力いただき、多くの若い人たちに計測・制御技術が産業・社会でいかに貢献しているかを実感していただくための「体験セミナー&ものづくり現場見学会」を実施。

実施： 2019 年 6 月 24 日（横河電機：体験セミナー）
2019 年 10 月 25 日（アズビル：体験セミナー）
2019 年 11 月 15 日（チノー：体験セミナー）



●プラント運転の安全と高度化を考える講演会

内容： 基調講演の主旨でもある「事故防止における計装・制御技術者への期待」というテーマで、最近の新しい技術を活用して、計装技術面から見て事故防止に参考になるような話題を集めました。又、計装が事故の引き金にならないように、未然防止に貢献できそうなテーマを集めて講習会を企画。企画は上記「安全のための計測・制御・システムを考える会」による。

実施： 2019 年 12 月 13 日
参加者： 約 90 名



(支部・部門活動の活性化)

●中部支部 50 周年記念事業

内容： 中部支部発足 50 年の記念事業を開催した。初日はポスターセッション（42 件）、会長挨拶、記念式典に続き、福田 敏男先生（名古屋大学 名誉教授、名城大学 教授、IEEE President-Elect）から記念講演をいただいた。翌日はチュートリアル講演 3 件を行った。

実施： 2019 年 10 月 18 日（記念式典）
2019 年 10 月 19 日（チュートリアル講演）

場所： 名古屋工業大学 NITech Hall
参加者：10/18：113 名、10/19：55 名



●SI 部門 20 周年記念企画

内容： SI 部門発足 20 年の記念事業として、記念ランチセッションに続き、会長挨拶・記念式典・記念講演（初代 SI 部門長 福田敏男先生）・パネルブースの設置を行った。

実施： 2019 年 12 月 12 日

場所： サンポート高松

参加者： 120 名



●東北支部 55 周年記念学術講演会

内容： 東北支部 55 周年記念学術講演会を実施した。一般講演 20 件、ポスター講演 11 件の発表が行われ、また、小菅一弘先生（東北大学）および大須賀公一先生（大阪大学）より特別講演をいただいた。東北地区以外からも多数参加いただき、活発な議論が行われた。

実施： 2019 年 12 月 16 日

場所： 東北大学工学部青葉記念会館

参加者： 85 名



(その他本会の目的を達成するための事業)

●IIFES2020

内容： SICE セミナー IoT・AI が拓く計測・制御・システムの未来
SICE・ISCIE から 3 人の講師が IoT・AI の技術革新がもたらす新しい世界（Society5.0）の実現に対し、SICE が扱っている計測・制御・システムの領域がいかに関与していくかについて講演。

： 展示会展示

： 「大学・高専テクニカルアカデミー研究発表コンテスト」にて「SICE 奨励賞」を授与。

期間： 2019 年 11 月 27 日～29 日

場所： 東京ビッグサイト

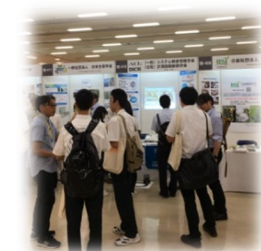


●スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会（システム制御情報学会（ISCIE）と連携）

内容： 高校生へのアウトリーチ活動の一環として展示ブースを出展。来訪者は 2 日間で延べ 300 人。先生からの相談も受ける。

期間： 2019 年 8 月 7 日～8 日

場所： 神戸国際展示場



●女子中高生夏の学校（システム制御情報学会（ISCIE）と連携）

内容： 中・高校生へのアウトリーチ活動の一環として展示ブースを出展。約 2 時間で 60 名来訪。生徒からも活発な質問が出て盛況であった。続いて「研究者・技術者による進路・キャリア相談」にも参加した。

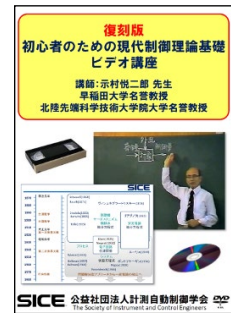
期間： 2019 年 8 月 10 日



場所：国立女性教育会館

●復刻版 初心者のための現代制御理論ビデオ講座の頒布

1985年に刊行した同ビデオ講座（VHS、ベータ全8巻）をDVD4枚組復刻版として2016年2月より頒布を開始。2019年12月末現在で、89本頒布。



●会誌特集

計測と制御 8 特集：Society 5.0 のためのシステム制御技術

計測と制御 9 特集：Society 5.0 のためのデータ解析と最適化

(国際化の推進)

SICE 主催の国際大会

●2019年 SICE Annual Conference (年次大会)

期間：2019年9月10日～13日

場所：広島大学東千田未来創生センター 参加者：約670名（18ヶ国）

基調講演 I (JEMIMA 共催) 『スマート社会に向けたデジタル産業自動制御システム』

タイ チュラーロンコーン大学 David Banjerdpongchai 教授

海外学協会との積極的な交流、連携を推進

●2019年 ECTI-CON2019 (International conference on Electrical Engineering/Electronics, Computer, Telecommunications and Information Technologies)

期間：2019年7月10日～13日

場所：タイ・パタヤビーチ

元会長による基調講演



●2019年 CCC-2019 (38th Chinese Control Conference)

期間：2019年7月27日～30日

場所：中国・広州



●2019年 IECON2019 (IEEE-IES 2019)

期間：2019年10月14日～17日

場所：ポルトガル・リスボン



●2019年 ICCAS-2019 (19th International Conference on Control, Automation and Systems)

期間：2019年10月15日～18日

場所：韓国・済州島

Friendship Lunch Meeting の実施



●2019年 IROS2019 (The 2019 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems) (知能ロボットとシステムに関する世界最大規模の国際会議)

期間：2019年11月4日～8日

場所：中国・マカオ

SICE International Young Authors Award (SIYA) の贈賞



●2019年 CACS2019 (International Automatic Control Conference)

期間：2019年11月13日～16日

場所：台湾・基隆市



●2019年 CDC2019 (IEEE-CSS 2019)

期間：2019年12月11～13日

場所：フランス・ニース



2020年から2023年にかけて予定されている大型国際大会開催に向けた準備

●2020年のSICE Annual Conference (SICE 2020)は9月23日～26日、タイ・チェンマイ (The Empress Hotel & Convention Centre) での開催が決定、タイ ECTI (電子工学協会) と協力し、開催準備を進めている。1st Call for Paper の配布等、PR 活動を進めた。

●2021年に国際計測連合(International Measurement Confederation : IMEKO)の第23回世界大会 (IMEKO 2021)が横浜 (パシフィコ横浜)にて開催される。その開催に向けて、SICE の IMEKO 委員会を主体とする IMEKO 2021 企画・実行委員会がその準備を進めている。



●2022年に、The 2022 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS 2022) (知能ロボットとシステムに関する世界最大規模の国際会議)が京都で開催されることが決定し、共催学会の一員として準備活動を進めている。これに向けて、日本からの論文投稿、特に若手研究者の論文発表を増やし、さらにSICE プレゼンスを示す関連企画を実施する検討を進める予定である。



●2023年のIFAC (国際自動制御連合) 世界大会の日本開催(パシフィコ横浜)に向けて、日本学術会議 IFAC 小委員会および世界大会実行委員会と協力し、共催のための準備体制を構築中。本大会は自動制御分野では最大規模の会議で、3000人以上の参加者が見込まれる。国内開催は1981年の京都大会以来となる。2020年-2023年のIFAC 会長に東京大学の浅間一教授の就任が決定している。



4. 役員と業務執行体制

2019年度の業務は、業務執行理事が会務を分担して行い、理事会がその監督を行うという枠組みで執行されています。2019年度の理事会は、理事22名（会長・副会長を含む）、非業務執行理事1名、監事3名で構成されました。定款により会長1名、副会長2名を置くことが定められていますので、会長には榎木哲夫、副会長には小野 晃と小林尚登が就くことが、2019年2月19日に開催された理事会で決められました。またそれ以外の理事の担当会務（委員会等）についても、同理事会で以下の通り決められました。

役員 ^{注1}	担当会務	氏名	所属
会長	本会を代表し総理する	榎木 哲夫	京都大学
副会長	企画、国際標準 (総務、財務、AC、国際、 事業推進連携、教育・認定、 会員サービスを統括)	小野 晃	産業技術総合研究所
副会長	学会賞 (論文集、会誌出版、 部門協、支部協を統括)	小林 尚登	法政大学
常務理事	総 務	藤本 健治	京都大学
常務理事	総 務	伊藤 邦春	日本製鉄(株)
常務理事	財 務	後久 卓哉	東急建設(株)
常務理事	財 務	山本 秀典	(株)日立製作所
常務理事	会誌出版	尾形 哲也	早稲田大学
理事	会誌出版	大重 貴彦	JFE テクノリサーチ(株)
常務理事	論文集	山下 智輝	(株)前川製作所
理事	論文集 (英文)	石川 将人	大阪大学
理事	論文集 (和文)	新妻 実保子	中央大学
常務理事	Annual Conference	金子 修	電気通信大学
常務理事	国際	安藤 慶昭	産業技術総合研究所
理事	国際	三浦 眞由美	アズビル(株)
常務理事	事業会員サービス	茂森 弘靖	JFE スチール(株)
理事	事業会員サービス	長谷川 正美	富士電機(株)
理事	教育・認定	橋本 芳宏	名古屋工業大学
常務理事	部門協議会	田中 仁章	横河電機(株)
理事	部門協議会	山本 大介	(株)東芝
常務理事	支部協議会	高山 潤也	信州大学
理事	支部協議会	鈴木 高宏	東北大学
理事	～	Sehoon Oh ^{注2}	DGIST
監事		山中 理	東芝インフラシステムズ(株)
監事		田中 孝之	北海道大学
監事		山田 勉	(株)日立製作所

注1：役員は全員非常勤

注2：非業務執行理事

5. 委員会・部門・支部

定款の定めと理事会の決議に従い、2019年度は以下に示す委員会で活動が行われました。

委員会	役職	氏名	所属
総務委員会	委員長	藤本 健治	京都大学
財務委員会	委員長	後久 卓哉	東急建設(株)
企画委員会	委員長	小野 晃	産業技術総合研究所
学会賞委員会	委員長	小林 尚登	法政大学
会誌出版委員会	委員長	尾形 哲也	早稲田大学
論文集委員会	委員長	山下 智輝	(株)前川製作所
Annual Conference 委員会	委員長	金子 修	電気通信大学
国際委員会	委員長	安藤 慶昭	産業技術総合研究所
国際標準化委員会	委員長	小野 晃	産業技術総合研究所
事業会員サービス委員会	委員長	茂森 弘靖	JFE スチール(株)
教育・認定委員会	委員長	橋本 芳宏	名古屋工業大学
部門協議会	議長	田中 仁章	横河電機(株)
支部協議会	議長	高山 潤也	信州大学
倫理委員会	委員長	前田 章	(元) (株)日立製作所
候補者推薦委員会	委員長	前田 章	(元) (株)日立製作所
選挙管理委員会	委員長	山田 善郎	産業技術総合研究所

2019年度の部門運営は、以下の部門長の下、従来通り6部門体制で行われました。

部門	氏名	所属
計測部門	寺本 顕武	佐賀大学
制御部門	井村 順一	東京工業大学
システム・情報部門	半田 久志	近畿大学
システムインテグレーション部門	新井 史人	名古屋大学
産業応用部門	藤田 壽憲	東京電機大学
ライフエンジニアリング部門	中島 一樹	富山大学

また、部門ごとに、以下の部会・調査研究会が設置されています。

計測部門			
センシングフォーラム委員会	委員長	大木 晃	佐賀大学
温度計測部会	主査	相沢 宏明	東洋大学
力学量計測部会	主査	大串 浩司	産業技術総合研究所
リモートセンシング部会	主査	椎名 達雄	千葉大学
パターン計測部会	主査	大谷 幸三	広島工業大学
センシングフォトンクス部会	主査	藤間 一郎	産業技術総合研究所
先端電子計測部会	主査	島田 洋蔵	産業技術総合研究所
スマートセンシングシステム部会	主査	齋藤 修	筑波大学
計測における逆問題部会	主査	田中 敏幸	慶應義塾大学

制御部門			
制御技術部会	主査	堀川 徳二郎	東芝三菱電機産業システム(株)
制御理論部会	主査	若佐 祐治	山口大学
プラントモデリング部会	主査	楊 子江	茨城大学
データ科学とリンクした次世代の適応学習制御調査研究会	主査	宮里 義彦	統計数理研究所
IoT 時代に向けたイベントベース制御調査研究会	主査	高井 重昌	大阪大学
超スマート社会実現のためのシステム制御調査研究会	主査	永原 正章	北九州市立大学
真なるダイナミクスの追求による次世代システム制御調査研究会	主査	西村 悠樹	鹿児島大学
航法誘導制御技術調査研究会	主査	樋口 丈浩	横浜国立大学
機械学習と調和する制御理論調査研究会	主査	加嶋 健司	京都大学
Cyber-Physical & Human システム調査研究会	主査	畑中 健志	大阪大学
システム・情報部門			
システム工学部会	主査	間普 真吾	山口大学
知能工学部会	主査	植村 渉	龍谷大学
自律分散システム部会	主査	稲垣 伸吉	名古屋大学
コンピューターショナル・インテリジェンス部会	主査	満倉 靖恵	慶應義塾大学
離散事象システム部会	主査	残間 忠直	千葉大学
社会システム部会	主査	寺野 隆雄	東京工業大学
スマーターワールド実現のための新たなシステムアプローチ調査研究会	主査	貝原 俊也	神戸大学
境界と関係性を視座とするシステムズアプローチ調査研究会	主査	黒江 康明	京都工芸繊維大学
先端コンピューテックス調査研究会	主査	西村 治彦	兵庫県立大学
知能分子ロボティクス調査研究会	主査	中荃 隆	九州工業大学
システムインテグレーション部門			
メカトロニクスシステム部会	主査	関 健太	名古屋工業大学
自動化システム部会	主査	菅原 雄介	東京工業大学
ロボティクス部会	主査	栗田 雄一	広島大学
福祉工学部会	主査	藤井 千枝子	慶應義塾大学
VR 工学部会	主査	難波江 裕之	東京工業大学
レスキュー工学部会	主査	大野 和則	東北大学
ユニバーサルデザイン応用システム部会	主査	浅川 貴史	大島商船高等専門学校
共創システム部会	主査	三宅 美博	東京工業大学
ロボット・セラピー部会	主査	香川 美仁	拓殖大学
安全回復システム部会	主査	谷川 民生	産業技術総合研究所
バイオシステム部会	主査	高橋 憲子	愛媛大学
RT システムインテグレーション部会	主査	植木 美和	(株)富士通研究所
ソフトマテリアル応用部会	主査	高木 賢太郎	名古屋大学
医工融合システム部会	主査	木口 量夫	九州大学
触覚部会	主査	田中 由浩	名古屋大学
バイオミメティックマシン部会	主査	渡辺 圭吾	岡山大学

モーションメディア部会	主査	岩城 敏	広島市立大学
空間知部会	主査	大原 賢一	名城大学
インテリジェントビークル部会	主査	小松 信雄	大阪工業大学
フィールドロボティクス部会	主査	永谷 圭司	東北大学
スワームシステム部会	主査	山本 雅人	北海道大学
天体観測技術部会	主査	栗田 光樹男	京都大学
マニピュレーション部会	主査	渡辺 哲陽	金沢大学
産業応用部門			
計装技術交流部会	主査	小池 建郎	東芝三菱電機産業システム(株)
流体計測制御部会	主査	吉満 俊拓	神奈川工科大学
産業ネットワーク・システム部会	主査	熊谷 賢治	村田機械(株)
計測制御エンジニア会	総代	木村 政仁	日本計測工業(株)
ライフエンジニアリング部門			
統合情報生物学部会	主査	浅井 義之	山口大学
電気生理運動学部会	主査	吉田 正樹	大阪電気通信大学
ユビキタスヘルスケア部会	主査	植野 彰規	東京電機大学
生体・生理工学部会	主査	高島 一郎	産業技術総合研究所

2019年度の支部運営は、以下の支部長の下、従来通り8支部体制で行われました。

支部	氏名	所属
北海道支部	近野 敦	北海道大学
東北支部	吉田 和哉	東北大学
中部支部	佐々木 実	岐阜大学
北陸支部	渡辺 哲陽	金沢大学
関西支部	津坂 優子	パナソニック(株)
中国支部	平田 健太郎	岡山大学
四国支部	宮田 剛	高知工業高等専門学校
九州支部	喜安 千弥	長崎大学

6. 2019～20年度代議員

定款及び本会の規程の定めにより、SICEの代議員は2年に1度、1月に行われる代議員選挙により選出されることになっており、2019年1月が代議員改選の時に当たりました。

そこで2018年度中に、理事会において次期代議員の定数を94名、補欠を2名と定め、2018年度選挙管理委員会(委員長:倉林大輔)が代議員選挙の候補者の募集を行い、2018年度候補者推薦委員会(委員長:本多 敏)により候補者名簿が作成されました。その後、2018年度選挙管理委員会により12月14日に投票の告示が行われ、2019年1月4日に投票を締め切り、即日開票の結果、以下の代議員、および補欠が選出されました。

2019～20年度代議員

番号	氏名	所属
1	青田 直之	アズビル(株)
2	東 俊一	名古屋大学
3	荒井 翔悟	東北大学
4	安藤 慶昭	産業技術総合研究所
5	池田 卓史	富士電機(株)
6	石川 将人	大阪大学
7	石黒 章夫	東北大学
8	伊藤 章雄	横河電機(株)
9	伊藤 邦春	日本製鉄(株)
10	井端 一雅	(株)MTK
11	井村 順一	東京工業大学
12	上木 諭	豊田工業高等専門学校
13	内山 勝	東北大学
14	大重 貴彦	JFE テクノリサーチ(株)
15	太田 快人	京都大学
16	大矢 純子	(株)東芝インフラシステムズ
17	大山 真司	東京工業大学
18	尾形 哲也	早稲田大学
19	金子 修	電気通信大学
20	河合 康典	石川工業高等専門学校
21	川上 浩司	京都大学
22	神田 真司	(株)富士通研究所
23	喜多 一	京都大学
24	喜安 千弥	長崎大学
25	久間 和生	農業・食品産業技術総合研究機構
26	工藤 俊郎	東芝 IT コントロールシステム(株)
27	黒川 太	東芝インフラシステムズ(株)
28	小池 雅和	東京海洋大学
29	後久 卓哉	東急建設(株)
30	小林 尚登	法政大学
31	佐々木 尚史	横河電機(株)
32	佐々木 毅	芝浦工業大学
33	笹谷 俊幸	富士電機(株)
34	佐藤 和也	佐賀大学
35	佐藤 訓志	大阪大学
36	澤田 満	理化工業(株)
37	榎木 哲夫	京都大学
38	茂森 弘靖	JFE スチール(株)
39	篠田 裕之	東京大学
40	申 鉄龍	上智大学
41	神代 充	富山大学
42	菅野 重樹	早稲田大学
43	杉本 靖博	大阪大学
44	鈴木 高宏	東北大学
45	曾 智	広島大学
46	曾禰 寛純	アズビル(株)
47	高木 真人	(公社)日本工学会

番号	氏名	所属
48	高橋 隆行	福島大学
49	高山 茂	立命館大学
50	高山 潤也	信州大学
51	橘 完太	工学院大学
52	田中 孝之	北海道大学
53	田中 仁章	横河電機(株)
54	谷口 忠大	立命館大学
55	田村 安孝	山形大学
56	千田 有一	信州大学
57	津坂 優子	パナソニック(株)
58	寺田 賢治	徳島大学
59	寺本 顕武	佐賀大学
60	道木 加絵	愛知工業大学
61	中内 靖	筑波大学
62	仲田 隆一	
63	長門 達也	カルソニックカンセイ(株)
64	滑川 徹	慶應義塾大学
65	新妻 実保子	中央大学
66	橋本 芳宏	名古屋工業大学
67	長谷川 正美	富士電機(株)
68	馬場 充	茨城大学
69	早川 朋久	東京工業大学
70	早川 義一	愛知工業大学
71	原 辰次	中央大学
72	藤崎 泰正	大阪大学
73	藤田 壽憲	東京電機大学
74	藤本 健治	京都大学
75	本間 経康	東北大学
76	松村 基史	富士電機(株)
77	三浦 眞由美	アズビル(株)
78	満倉 靖恵	慶應義塾大学
79	三好 孝典	豊橋技術科学大学
80	森田 良文	名古屋工業大学
81	八木 透	東京工業大学
82	安井 裕司	(株)本田技術研究所
83	山下 智輝	(株)前川製作所
84	山下 裕	北海道大学
85	山田 功	群馬大学
86	山田 勉	(株)日立製作所
87	山田 善郎	産業技術総合研究所
88	山中 理	(株)東芝インフラシステムズ
89	山本 茂	金沢大学
90	山本 大介	(株)東芝
91	山本 智規	愛媛大学
92	山本 秀典	(株)日立製作所
93	劉 康志	千葉大学
94	本多 敏	慶應義塾大学

(任期は2021年1月実施の代議員選挙終了時まで)

補欠代議員（補欠候補順）

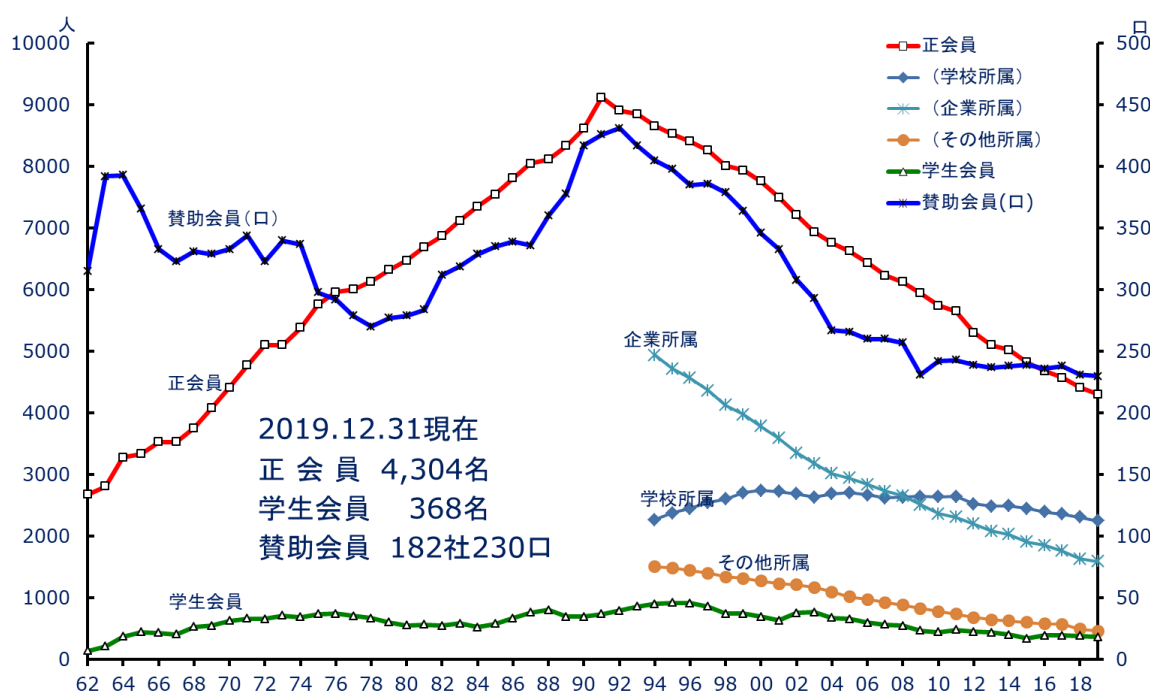
番号	氏名	所属
1	結城 義敬	(公社)計測自動制御学会

7. 会員の推移

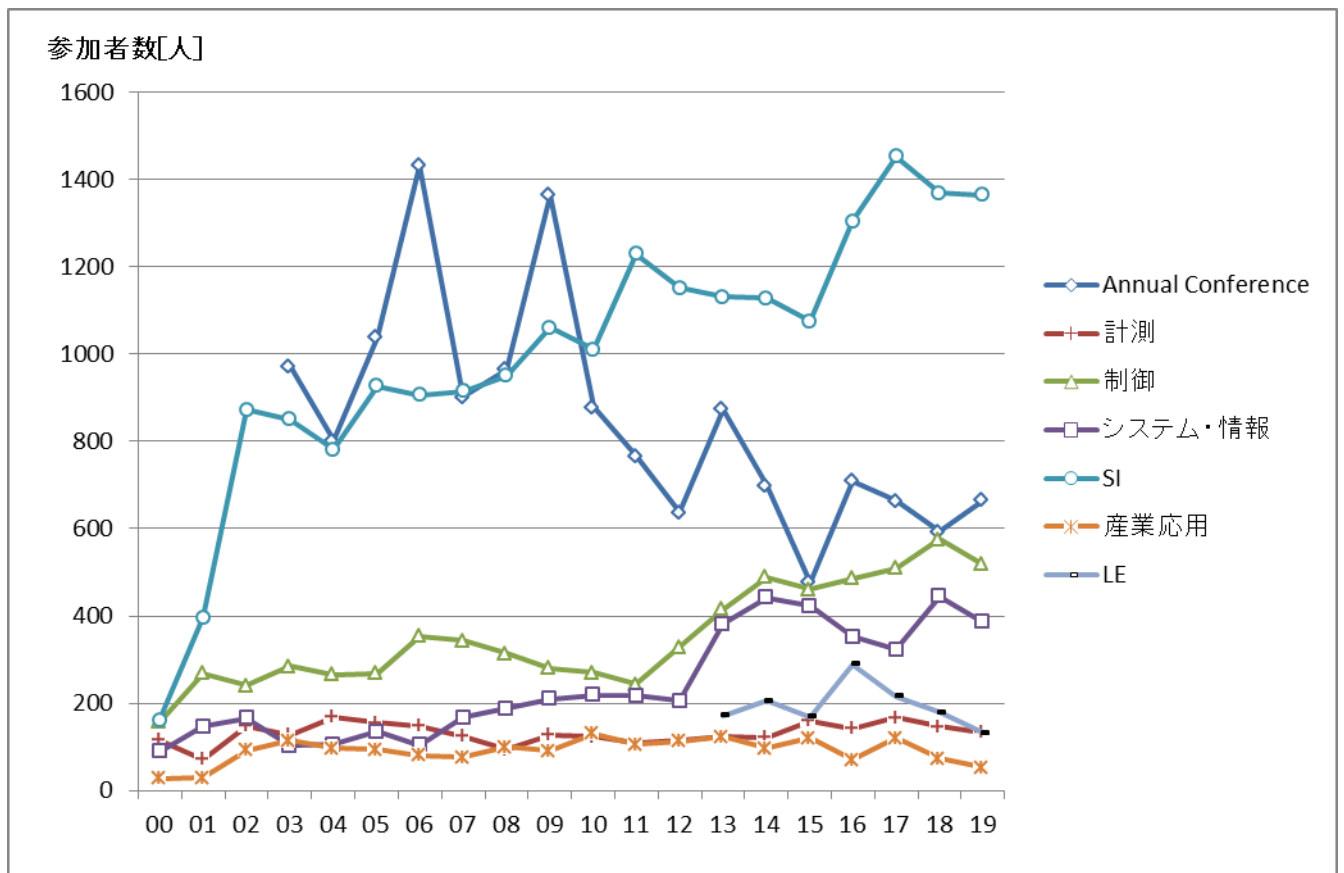
2019 年末の会員状況は以下の通りです。

	2019 年（平成 31 年）末現在	2018 年（平成 30 年）末現在	増減
正会員	4,304 名	4,417 名	▲113 名
名誉会員	35 名	36 名	▲1 名
学生会員	368 名	383 名	▲15 名
永年会員	128 名	118 名	10 名
賛助会員	182 社 (230 口)	183 社 (231 口)	▲1 社 (▲1 口)

注：定款で定められている准会員は、現在該当がありません。



8. Annual Conference、部門大会参加者数の推移



Ⅲ. 2019 年度事業報告付属明細書

1. 各組織の事業計画・実施報告 (2019 年)

各委員会、部門、支部が策定した「2019 年度計画・実施報告」を以下に示します。

番号	組織名	担当理事、部門長、支部長
01	総務委員会	業務執行理事 藤本委員長、伊藤副委員長
02	財務委員会	業務執行理事 後久委員長、山本(秀)副委員長
03	企画委員会	業務執行理事 (副会長) 小野委員長
04	学会賞委員会	業務執行理事 (副会長) 小林委員長
10	会誌出版委員会	業務執行理事 尾形委員長、大重副委員長
11	論文集委員会	業務執行理事 山下委員長、 新妻副委員長(和)、石川副委員長(英)
12	Annual Conference (AC) 委員会	業務執行理事 金子委員長
13	国際委員会	業務執行理事 安藤委員長、三浦副委員長
14	国際標準化委員会	業務執行理事副会長 小野委員長
15	事業会員サービス委員会	業務執行理事 茂森委員長、長谷川副委員長
16	教育・認定委員会	業務執行理事 橋本委員長
30	部門協議会	業務執行理事 田中(仁)議長、山本(大)副議長
31	計測部門	寺本部門長
32	制御部門	井村部門長
33	システム・情報部門	半田部門長
34	システムインテグレーション部門	新井部門長
35	産業応用部門	藤田部門長
36	ライフエンジニアリング部門	中島部門長
50	支部協議会	業務執行理事 高山議長、鈴木副議長
51	北海道支部	近野支部長
52	東北支部	吉田支部長
53	中部支部	佐々木支部長
54	北陸支部	渡辺支部長
55	関西支部	津坂支部長
56	中国支部	平田支部長
57	四国支部	宮田支部長
58	九州支部	喜安支部長

2019 年度事業計画・実施報告

組織名	総務委員会	担当	藤本委員長、伊藤副委員長
2019 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 直轄、部門、支部および事務局の業務見直しと効率化の推進 ・ Y60 (SICE60 周年記念事業) 準備委員会の推進 			
<p>●1～6 月</p> <p>総務委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員決定 ・ 開催日時の決定 ・ 委員会開催 <p>1) 理事会、拡大理事会、社員総会、その他のイベントの開催計画作成 (決定は理事会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会開催回数・低減、間隔の均等化、審議必要事項の精査 <p>2) 学会運営の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会運営の効率化 ・ 予算資料の報告内容のまとめ ・ 次年度予算の妥当性確認 ・ 課題事項のタイムリーな対応、処理 <p>3) 各委員会、部門および支部の活動フォロー</p> <p>4) 事務局業務の適正化、強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シニア正職員制度適用職員へのフォロー ・ 事務局員の業務の分析、簡素化 ・ 業務分担および業務量の適正化 ・ 事務局員とのコミュニケーション向上 <p>5) コンプライアンス報告の仕組み検討</p> <p>6) Y60 (SICE 60 周年記念事業) 準備委員会の運営</p> <p>7) SICE 規程の整備および改訂</p>	<p style="text-align: center;">2019 年度実施結果</p> <p>●1～6 月</p> <p>総務委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3/1 第1 回総務委員会 ・ 4/12 第2 回総務委員会 ・ 5/29 第3 回総務委員会 ・ 6/20 第4 回総務委員会 <p>1) 理事会、拡大理事会の開催計画作成と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 回の理事会を計画し開催した。 ・ 拡大理事会のスケジューリング検討と名称変更。 <p>2) 学会運営の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年度の総会場の選定を行なった。 ・ 会長任期2 年化とアドバイザリーボード設置について検討した。 ・ 国際化5 カ年特別費用準備資金として約400 万円を設定した。 <p>3) 各委員会、部門および支部の活動フォロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門・支部活動のインセンティブルールの検討を行った。 ・ SDCs に関する部門活動状況調査を実施。 <p>4) 事務局業務の適正化、強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パートタイム職員のシフト勤務ルールを策定。 ・ 事務局 PC の更新を行なった。 ・ 派遣社員契約による業務分担見直しを開始した。 ・ 長期的な雇用計画を検討。 <p>5) コンプライアンス報告の仕組み検討</p> <p>GDPR 対応を検討、まずは通報体制を整備。</p> <p>6) Y60 (SICE60 周年記念事業) 準備委員会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y60 未来創造 WG から、Y60 以降の SICE 活動に関する提案をいただいた。 ・ Y60 の日時設定を行い、実行委員選定を依頼。 <p>7) SICE 規程の整備および改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費税増税への対応 ・ 使途指定型附金申込書の新設 		

<p style="text-align: center;">2019 年度事業計画</p> <p>●7～12 月</p> <p>総務委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員開催 <p>1) 理事会、拡大理事会、社員総会、その他のイベントの開催案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会開催回数・低減、間隔の均等化、審議必要事項の精査 <p>2) 学会運営の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会運営の効率化 ・ 予算資料の報告内容のまとめ ・ 次年度予算の妥当性確認 ・ 課題事項のタイムリーな対応、処理 <p>3) 各委員会、部門および支部の活動フォロー</p> <p>4) シニア正職員制度への円滑な移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シニア正職員制度適用職員へのフォロー ・ 事務局員の業務の分析、簡素化 ・ 業務分担および業務量の適正化 ・ 事務局員とのコミュニケーション向上 <p>5) Y60 (SICE 60 周年記念事業) 準備委員会の運営</p> <p>6) SICE 規程の整備および改訂</p>	<p style="text-align: center;">2019 年度実施結果</p> <p>●7～12 月</p> <p>総務委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/22 第5 回総務委員会 ・ 11/28 第6 回総務委員会 ・ 12/24 第7 回総務委員会 <p>1) 理事会、拡大理事ワークショップ+理事会、その他イベントの開催案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称変更した拡大理事ワークショップ+理事会の計画と実施 ・ 企画委員会と総務委員会の位置付けの再確認を行い、次年度以降の拡大理事ワークショップの成果を実行するための仕組みを検討した ・ 事業計画において、実施すべき内容が明確になるよう、フォーマットの検討を行った ・ 次年度の Annual Conference が国外開催であることから、関連イベントの開催方法を検討 <p>2) 学会運営の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会長任期2 年化および会長補佐組織設置の検討を行った。 ・ 前会長、職の新設と権限を議論。 ・ 役員候補者推薦プロセスを明確化。 ・ 事務局 PC の更新。 ・ 緊急連絡網の整備。 <p>3) 各委員会、部門および支部のフォロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門支部のインセンティブルールについて検討を行った。結論に至っていないため、引き続き検討が必要。 <p>4) シニア正職員への円滑な移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約職員の採用と一部仕事の引継ぎ。 ・ シニア正職員への移行等による仕事量削減に伴い、業務の一部アウトソーシングを検討。 <p>5) Y60 準備委員会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SICE2020 ASEAN Friendship Workshop の企画検討。 ・ 会誌にも Y60 特集号を計画。 <p>6) SICE 規定の整備および改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倫理綱領・行動規範の改定を行なった。 ・ 会費支払い・困難者への対応について検討した。
---	---

2019年度事業計画・実施報告

組織名	財務委員会	担当	後久委員長、山本(秀)副委員長
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 直轄、部門、支部および事務局の業務見直しと効率化の推進 ・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し ・ 2020年以降の大型国際事業に備えた財務計画の立案 			
<p>●1～6月</p> <p>【定常業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末決算・事業報告作成 (1月～3月) 2. 期末決算・事業報告内閣府提出準備 (3月) 3. 期末決算・事業報告 内閣府提出 (3月末) 4. 新役員変更届内閣府提出 (4月末) 5. 上期活動計画の見直し (4月～6月) 6. 中間決算 (6月末) <p>【管理会計運用】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 管理会計の運用 8. 部門・支部サーブラスに関するルールおよび適用年の検討 <p>【国際化事業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 特別費用準備資金を活用した国際事業推進策の立案と展開 (国際委、部門協と連携) 	<p>●1～6月</p> <p>【定常業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末決算・事業報告作成 (1月～3月) 2. 期末決算・事業報告内閣府提出準備 (3月) 3. 期末決算・事業報告内閣府提出 (3月29日) 4. 新役員変更届内閣府提出 (4月26日) 5. 上期活動計画の見直しは特に実施していない 6. 中間決算について 直轄委員会、部門、支部へ依頼 <p>【管理会計運用】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 管理会計の運用 <p>2016年9月の理事会で決議された会計一元化より</p> <p>部門・支部の過去の貢献はゼロリセットはせず、部門・支部の貢献に応じたインセンティブルールの設定検討を進める事を第1回財務委員会 (5/8) において再確認</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 部門・支部サーブラスに関するルールおよび適用年の検討 <p>第1回財務委員会 (5/8) において、次年度予算策定に向けた、部門インセンティブルール適用に関して部門協議会に調整を依頼</p> <p>支部協議会のインセンティブ評価に関しては継続検討を依頼</p> <p>【国際化事業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 特別費用準備資金を活用した国際事業推進策の立案と展開 (国際委、部門協と連携) <p>国際事業推進策を関係者と協議調整し、内閣府へ特定費用準備資金計画を提出 (3/29)</p> <p>実施に向けた申請書類の整備を実施</p>	<p>●7～12月</p> <p>【定常業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上期活動計画・中間決算結果報告 (7月) 2. 事業計画策定・予算策定 (7月～10月) 3. 事業計画・予算レビュー (11月) 4. 事業計画・予算内閣府提出準備 (11月～12月) 5. 事業計画・予算内閣府提出 (12月末) 6. 期末決算 (12月) <p>【管理会計運用・予算管理運用】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 管理会計の運用、予算管理の見直しと修正を適宜実施 8. 部門・支部サーブラスに関するルールおよび適用年の検討 	<p>●7～12月</p> <p>【定常業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上期活動計画・中間決算結果報告 第2回財務委員会 (8/22) にて中間決算報告、下期追加事業計画について検討 2. 事業計画策定・予算策定 第2回財務委員会 (8/22) にて予算策定方針協議第4回理事会 (9/10) 予算策定方針を決議し直轄委員、部門、支部に予算策定通知 3. 事業計画・予算レビュー 第5回理事会 (11/28) にて予算とりまとめ状況と今後の取り扱いを確認 4. 事業計画・予算内閣府提出準備 予算とりまとめを行い(役会議 (12/3)) にて予算全体の確認 その後、第6回理事会 (12/24) で予算の承認を受ける 5. 事業計画・予算内閣府提出 予算内閣府提出(12/26) 6. 期末決算 期末決算を実施 第7回理事会(2/7) 報告予定 <p>【管理会計運用・予算管理運用】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 管理会計の運用、予算管理の見直しと修正を適宜実施 ・管理会計運用開始からの各部門及び支部の貢献度の整理を実施 ・事業構造の見直しを検討するための調査および意見を財務委員会で実施 ・使途指定型寄付申込書 ・国際化特定費用準備資金の実施時申請フォーム等 トおよび予算管理方法の整備を実施 8. 部門・支部サーブラスに関するルールおよび適用年の検討 運営負担金 (オーバーラス) 10%の運用を3年平均10%+単年度下限制約5%の運用改良適用を予算策定時に部門へ提示 2020年度予算で採用する部門はなし

2019年度実施結果

組織名	財務委員会	担当	後久委員長、山本(秀)副委員長
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 直轄、部門、支部および事務局の業務見直しと効率化の推進 ・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し ・ 2020年以降の大型国際事業に備えた財務計画の立案 			
<p>●1～6月</p> <p>【定常業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末決算・事業報告作成 (1月～3月) 2. 期末決算・事業報告内閣府提出準備 (3月) 3. 期末決算・事業報告 内閣府提出 (3月末) 4. 新役員変更届内閣府提出 (4月末) 5. 上期活動計画の見直し (4月～6月) 6. 中間決算 (6月末) <p>【管理会計運用】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 管理会計の運用 8. 部門・支部サーブラスに関するルールおよび適用年の検討 <p>【国際化事業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 特別費用準備資金を活用した国際事業推進策の立案と展開 (国際委、部門協と連携) 	<p>●1～6月</p> <p>【定常業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末決算・事業報告作成 (1月～3月) 2. 期末決算・事業報告内閣府提出準備 (3月) 3. 期末決算・事業報告内閣府提出 (3月29日) 4. 新役員変更届内閣府提出 (4月26日) 5. 上期活動計画の見直しは特に実施していない 6. 中間決算について 直轄委員会、部門、支部へ依頼 <p>【管理会計運用】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 管理会計の運用 <p>2016年9月の理事会で決議された会計一元化より</p> <p>部門・支部の過去の貢献はゼロリセットはせず、部門・支部の貢献に応じたインセンティブルールの設定検討を進める事を第1回財務委員会 (5/8) において再確認</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 部門・支部サーブラスに関するルールおよび適用年の検討 <p>第1回財務委員会 (5/8) において、次年度予算策定に向けた、部門インセンティブルール適用に関して部門協議会に調整を依頼</p> <p>支部協議会のインセンティブ評価に関しては継続検討を依頼</p> <p>【国際化事業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 特別費用準備資金を活用した国際事業推進策の立案と展開 (国際委、部門協と連携) <p>国際事業推進策を関係者と協議調整し、内閣府へ特定費用準備資金計画を提出 (3/29)</p> <p>実施に向けた申請書類の整備を実施</p>	<p>●7～12月</p> <p>【定常業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上期活動計画・中間決算結果報告 (7月) 2. 事業計画策定・予算策定 (7月～10月) 3. 事業計画・予算レビュー (11月) 4. 事業計画・予算内閣府提出準備 (11月～12月) 5. 事業計画・予算内閣府提出 (12月末) 6. 期末決算 (12月) <p>【管理会計運用・予算管理運用】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 管理会計の運用、予算管理の見直しと修正を適宜実施 8. 部門・支部サーブラスに関するルールおよび適用年の検討 	<p>●7～12月</p> <p>【定常業務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上期活動計画・中間決算結果報告 第2回財務委員会 (8/22) にて中間決算報告、下期追加事業計画について検討 2. 事業計画策定・予算策定 第2回財務委員会 (8/22) にて予算策定方針協議第4回理事会 (9/10) 予算策定方針を決議し直轄委員、部門、支部に予算策定通知 3. 事業計画・予算レビュー 第5回理事会 (11/28) にて予算とりまとめ状況と今後の取り扱いを確認 4. 事業計画・予算内閣府提出準備 予算とりまとめを行い(役会議 (12/3)) にて予算全体の確認 その後、第6回理事会 (12/24) で予算の承認を受ける 5. 事業計画・予算内閣府提出 予算内閣府提出(12/26) 6. 期末決算 期末決算を実施 第7回理事会(2/7) 報告予定 <p>【管理会計運用・予算管理運用】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 管理会計の運用、予算管理の見直しと修正を適宜実施 ・管理会計運用開始からの各部門及び支部の貢献度の整理を実施 ・事業構造の見直しを検討するための調査および意見を財務委員会で実施 ・使途指定型寄付申込書 ・国際化特定費用準備資金の実施時申請フォーム等 トおよび予算管理方法の整備を実施 8. 部門・支部サーブラスに関するルールおよび適用年の検討 運営負担金 (オーバーラス) 10%の運用を3年平均10%+単年度下限制約5%の運用改良適用を予算策定時に部門へ提示 2020年度予算で採用する部門はなし

2019年度事業計画・実施報告

組織名	企画委員会	担当	小野委員長 (副会長)
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
付加価値を拡大、提供する (活動したい) 領域を探索部門機断による作業部会の発足と推進、並びに計測・制御・システムの学術分野としての参照基準の検討に向けた作業部会の発足と推進			
<p>●1~6月 委員会開催 委員会の決定 委員会開催日の決定 委員会開催 2~3回</p>	<p>2019年度事業計画</p>	<p>●1~6月 (2018年度)第4回 1月8日開催 第1回 4月8日開催 第2回 5月28日開催</p>	<p>●7~12月 第3回企画委員会 9月9日 拡大理事ワークショップ (広島) 10月9日 第4回企画委員会</p>
<p>1) 学会活動の将来に向けての課題の洗い出しと整理 ・2018年度拡大理事会で提言された項目のフォロー ・新たな視点での課題の洗い出し</p> <p>2) 企業会員向けサービス向上WGへの継続参加新しい技術分野へSICEとしてどう貢献するか、部門機断のWGを発足と運営</p> <p>3) 計測・制御・システムの学術分野としての参照基準の検討WG (SICE人材像の見直しを含む)を発足と運営</p> <p>4) Vision Produceフォーラムの実施</p> <p>5) 拡大理事會準備および実施 ・計議テーマ (全体・グループ別) の設定 ・グループリーダーの選定 ・事前準備、フォロー ・実施</p> <p>6) 計測・制御・システムの学術分野としての参照基準の検討WG (SICE人材像の見直しを含む)を発足と運営</p> <p>7) 日時および場所の決定 (1月) ・計議テーマの設定 (6月)</p>	<p>1) 学会活動の将来に向けての課題の洗い出しと整理 ・2018年度拡大理事会で提言された項目のフォロー ・新たな視点での課題の洗い出し</p> <p>2) 企業会員向けサービス向上WGへの継続参加新しい技術分野へSICEとしてどう貢献するか、部門機断のWGを発足と運営</p> <p>3) 計測・制御・システムの学術分野としての参照基準の検討WG (SICE人材像の見直しを含む)を発足と運営</p> <p>4) Vision Produceフォーラムの実施</p> <p>5) 拡大理事會準備および実施 ・計議テーマ (全体・グループ別) の設定 ・グループリーダーの選定 ・事前準備、フォロー ・実施</p> <p>6) 2020年度事業計画、予算計画への落とし込み ・テーマ討議の整理 ・各委員会へ依頼 ・各委員会の事業計画、予算計画の確認</p> <p>7) SICE ミッションと事業計画の見直し 拡大理事會の議論に基づき次年度計画の見直し</p> <p>8) 次年度、拡大理事會の開催、日程に関する案の作成</p>	<p>1) 担当委員を決めて検討を行い、結果をまとめた上で次期委員会への引き継ぎ報告を作成した。</p> <p>2) 担当委員を決めて検討を行い、結果をまとめた上で次期委員会への引き継ぎ報告を作成した。</p> <p>3) 担当委員を決めて検討を行い、結果をまとめた上で次期委員会への引き継ぎ報告を作成した。</p> <p>4) 過去の経緯から2019年度は開催を計画していない。</p> <p>5) 「拡大理事會」の名称を「拡大理事ワークショップ」に改めることを決定した。 2019年9月9日と10日に広島で拡大理事ワークショップを開催した。3つの課題を選定し、それぞれ課題リーダーと計議メンバーを設定した。</p> <p>6) 拡大理事ワークショップの討議内容をまとめ、例えば、2020年度SICE ミッションと事業計画に反映させるため中期的課題とSICE 事業計画を委員会でもとめた。これらをSICE内の各組織に通知し、意見招請を行った。 2020年度SICE ミッションと事業計画案について理事會で承認を得た。</p> <p>8) 2020年度拡大理事ワークショップは8月頃国内で開催することとした。</p>	

2019年度事業計画・実施報告

組織名	学会賞委員会	担当	小林委員長 (副会長)
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p>			
<p>・定常業務：規程に従い、各賞(学術奨励賞、学会賞、他団体賞)の選考作業を進める。 ・AC Awardの選考を、ACの実行委員会と連携して確実に行う。 ・学会賞委員会、各部門、各支部が所掌する賞の整理と見直しを進める。 ・選考作業の見直し</p>			
<p>2019年度事業計画</p>		<p>2019年度実施結果</p>	
<p>●1～6月</p> <p>1) 2018年度学術奨励賞の選考作業</p> <p>2) (他団体賞) 2019年度油空圧機器技術振興財団論文顕彰への推薦論文選考作業</p> <p>3) 2019年度学会賞(論文賞、技術賞、著述賞、新製品開発賞、教育貢献賞、国際標準化賞)の選考作業</p> <p>4) (他団体賞) 2019年度FA財団論文賞への推薦論文選考作業 (他団体賞) 島津科学技術振興財団論文賞への推薦作業</p> <p>5) (功績賞選考委員会) 2019年度功績賞授与候補者選考</p> <p>6) (フェロー選考委員会) 2019年度フェロー称号授与候補者選考</p> <p>7) SICE 2019 AC Award 選考作業</p>		<p>●1～6月</p> <p>1) 2018年度学術奨励賞として、研究奨励賞10件、技術奨励賞4件を選考、2月19日の第9回定時社員総会において賞状、副賞を贈呈した。</p> <p>2) (他団体賞) 2019年度油空圧機器技術振興財団論文顕彰への推薦のため、1編の論文を選考、財団への推薦を行った。</p> <p>3) 2019年度学会賞として、論文賞9件、技術賞1件、著述賞2件、新製品開発賞3件、国際標準化賞1件を選考した(SICE2019会場にて贈呈予定)。</p> <p>4) (他団体賞) 2019年度FA財団論文賞への推薦のため、3編の論文を選考、FA財団への推薦を行った。</p> <p>2019年度日本学術振興会 育志賞への学会長推薦を1編行った。 島津科学技術振興財団論文賞への推薦はなし。</p> <p>5) (功績賞選考委員会) 2019年度の功績賞授与者として1名を選考した(SICE2019会場にて授与予定)。</p> <p>6) (フェロー選考委員会) 2019年度のフェロー称号授与者として4名を選考した(SICE2019会場にて授与予定)。</p> <p>7) SICE 2019 AC Award 選考委員会へ学会賞委員を派遣(各分野より1名ずつ)。選考に向けてSICE2019実行委員会との連携を図った。</p> <p>8) SIYA(SICE International Young Authors Awards)を新設し各種規程を整備した。</p>	

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●7～12月</p> <p>1) SICE 2019 AC Award 選考作業</p> <p>2) 学会賞委員会、各部門、各支部が所掌する賞の整理と見直し</p> <p>3) 各賞の選考作業の見直し</p> <p>4) 2019年度学術奨励賞の選考作業</p> <p>5) 2020年度学会賞(論文賞、技術賞、著述賞、新製品開発賞、教育貢献賞、国際標準化賞)の推薦募集</p>	<p>●7～12月</p> <p>1) 倉林ACアワード委員長の下に、各賞を選考し贈賞を行った。 International Award ; Basic Technology 1件、Application 1件 Young Author's Award 1件 Poster Presentation Award 1件</p> <p>2,3) ACアワードの選考作業を見直し、各種規程の改訂を行った。</p> <p>4) 2019年度学術奨励賞として、研究奨励賞10件、技術奨励賞5件を選考、2月28日の第10回定時社員総会において賞状、副賞を贈呈する予定</p>

2019年度事業計画・実施報告

組織名	会誌出版委員会	担当	尾形委員長, 大重副委員長
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<p>魅力がわかりやすか理解しやすい会誌・論文集・刊行物・webコンテンツの発行・充実・向上の継続 特にOS、WS 開催や会誌発行による、大学・メーカー・ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信</p>			
2019年度事業計画	2019年度実施結果		
<p>●1～6月</p> <p>1. 学会誌特集の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業会員にも魅力的なテーマ選定、キーワード解読の充実 ・ 特定分野の読者が理解しやすい基礎編(解説編)の企画 ・ 企業研究者/エンジニア、産業応用大学研究者による産業応用記事のさらなる拡充 <p>※ 特集の前半を大学教員メインで解説を含め執筆を拡充し、後半に産業応用記事を積極的に掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性研究者、若手研究者(40歳以下)を紹介する連載記事等の新連載記事の継続 <p>2. 新テックノロジーシリーズの企画 これまでのテックノロジーシリーズに代わる新たなシリーズの企画 AI(ディープラーニング)の計測、制御、ロボティクス応用など 収支改善に向けた学会誌のあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学会誌電子化の検討(前年度継続検討項目) ・ 適正な会誌価格の検討 <p>3. 表紙デザインの見直し より魅力的な表紙を可能とするデザイン</p> <p>4. 電子出版化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去アーカイブ: Vol. 52(2013) 半期分 ・ 出版委員会への若手/女性研究メンバーの積極的採用法案の整理、 ・ 権利契約書の展開 (前年度に終了しなけりば継続) <p>5. より魅力的な会誌を出版するための運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出版委員会への若手/女性研究メンバーの積極的採用 ・ 出版委員会への企業関係者の更なる採用 ・ 事業会員サービスを進められているSNS 活性化との連携 	<p>●1～6月</p> <p>1. 学会誌特集の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い会員の興味を惹くテーマ設定を実施。特に、大型プロジェクトの成果や学会内の組織的な研究活動を、発信することで今後の領域の発展につなげられる「場」としての会誌を意識。 ・ 産業応用記事を委員の尽力により昨年程度の分量で設定。 ・ 人工知能(深層学習)の連載記事を開始。基礎理論から、計測・制御分野での具体的な応用を重視した内容。 ・ 女性研究者、若手研究者(40歳以下)を紹介する記事 “FACE the future” を連載。特に会誌の頭位置にすることで、学会における若手研究者のアピールに繋がっている。 <p>2. 新テックノロジーシリーズの企画 ・ 現時点で2件の提案。検討中。</p> <p>3. 表紙デザイン ・ 特集集号の内容を反映した図を利用したデザインを検討中。</p> <p>4. 電子出版化 ・ Vol. 52 No. 1～No. 6(2013年1月～6月号)を、2019年5月に公開</p> <p>5. より魅力度の高い会誌を出版するための運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度に引き続き、若手を中心とした委員会を構成。しかしながら、女性委員は確保できなかったため、来期に追加できるよう私大理事会にて各部門へお願いする。 		

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●7～12月</p> <p>1. 学会誌特集の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業会員にも魅力的なテーマ選定、キーワード解読の充実 ・ 企業研究者/エンジニア、産業応用大学研究者による産業応用記事の充実 <p>2. SICEの企業会員/若手会員増加施策への貢献 ・ SICE AC 2019におけるワークショップと産業展示とのリンクによる効果の解析と次年度企画の立案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SICE 特集にリンクしたSICE セミナーの開催 <p>3. 新テックノロジーシリーズ企画</p> <p>4. 電子出版化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去アーカイブ: Vol. 52(2013) 半期分は上半期で実施 <p>5. より魅力的な会誌を出版するための運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会誌出版委員会への若手/女性研究メンバーの採用等の検討 ・ 企業からの委員選出を推進 	<p>●7～12月</p> <p>1. 学会誌特集の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Society 5.0へ向けた次世代のリーダーを紹介する「FACE the future」の連載記事の継続(産学、男性/女性のバランスをキープ) ・ 調査委員会の活動をアピールする特集「IoT時代に向けたイベントベースト制御」を企画 ・ WRS など2020年イベントをまとめる特集「Industrial Robotics Competition (60-08)」を企画。 <p>2. SICEの企業会員/若手会員増加施策への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AI等のセミナーについて検討 <p>3. 新テックノロジーシリーズ企画 テーマ決定後、12月に各執筆員から1章分の原稿を提出していただいた。原稿チェックを行い、執筆員へのフィードバックを実施した。 現在は新シリーズの正式名称や次年度の募集方法について検討を進めている。</p> <p>4. 電子出版化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期にて今期分は完了 <p>5. より魅力的な会誌を出版するための運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各部門に依頼

2019年度事業計画・実施報告

組織名	論文集委員会	担当	山下委員長 石川副委員長(英)、新妻副委員長(和)
2019年度事業計画(主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> ・英文論文集の国際的評価基準 (SCI, Citation Index 等) 獲得へ向けた活動の継続 ・和文・英文の高論文誌の位置づけ ・編集方針の戦略的見直しによる掲載数拡大 			
2019年度事業計画	2019年度実施結果		
<p>●1～6月</p> <p>1 論文集委員会の開催</p> <p>1-1 Editorの資格要件を見直し(規定改定)、Editorial Boardの国際化を図る。</p> <p>1-2 論文投稿、査読、採択、編集の一連の流れの可視化を進め、今後の論文集事業の戦略検討を深める(投稿・査読システムの改善による査読期間の短縮、投稿料の適正化による掲載数の増加、論文名称の見直しなどによるアブロード認知力の強化、採択率の最適化による投稿数・掲載数の増加、発行回数や誌との統合なども視野に入れた事業コストの最適化、などの提言に対し、具体的な実現可能性について検討し採否を見極める。)</p> <p>1-3 関連する委員会(AC等)と連携しながらプレプリントサーバーの扱いについて検討する。</p>	<p>●1～6月</p> <p>1 論文集委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月4日(月) 2018年度第3回委員会開催 ・3月18日(月) 2019年度第1回委員会開催 1-1 海外より1名Editorを招聘、引き続き招聘活動を行う。 1-2 昨年開催した論文セミナーを通して論文誌の認知度が低いことが改めて判明したため、認知度向上策を議論し、各部門大会等と連動して複数回論文セミナーを開催する方向で準備に入った。 <p>1-3 AC委員会以外にも様々な委員会との連携が、必要のため、一旦総務委員会で調整することとなった。</p>		
<p>2 和論誌の発行</p> <p>2-1 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる(特に産業系論文の投稿数、掲載数を増加させる施策を進める)。</p>	<p>2 和論誌の発行</p> <p>2-1 以下の通り論文集を発刊し、次年度に向けて2件特集号の企画に着手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号 特集号: 第18回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会、特集号論文: 6編、一般論文: 4編 ・第2号 一般論文: 7編、ショート・ペーパー: 1編 ・第3号 特集号: 第6回制御部門マルチシミュレーション論文特集号、特集号論文: 10編、ショート・ペーパー: 1編、一般論文: 1編 ・第4号 一般論文: 10編 ・第5号 一般論文: 7編 ・第6号 一般論文: 4編、ショート・ペーパー: 1編 <ul style="list-style-type: none"> ・募集開始した特集号企画 1) 第56巻第1号: 第19回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会特集号 2) 第56巻第3号: 第7回計測自動制御学会マルチシミュレーション論文特集号 		

<p>3 JCMSI誌の発行</p> <p>3-1 論文誌の地位向上のためインパクトファクター取得に向けて編集体制、論文誌の掲載内容など継続的な検討、改善を進める。Scopus, BSCIの2019年度中の申請取得を目指す。</p>	<p>3 JCMSI誌の発行</p> <p>3-1 以下の通り論文集を発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号 一般論文: 4編 ・第2号 一般論文: 3編 ・第3号 特集号: Special Issue on SICE Annual Conference 2018 特集号論文: 7編、一般論文: 1編 <p>また、Scopusの申請準備を進め、さらにBSCIへの再申請を完了させた。</p> <p>その他、J-STAGE セミナーに参加し、国内外でのオープンアクセスジャーナルの動向、クリエイティブコモンズライセンス、DOAJ (Directory of Open Access Journals)に関する情報収集を行った。</p> <p>3-2 次年度に向けて特集号が2件企画された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第13巻第3号: Special Issue on SICE Annual Conference 2019 ・第13巻第4号: Special Issue on SSI2018 <p>また、昨年後半からJCMSIの投稿数が急激に減っている。Indexが付与されないジャーナルへの投稿を避ける風潮が見られるのに加えて、predatory journal対策としてDOAJに登録されていないジャーナルへの投稿を禁ずる機関が昨年後半より増えていることから、DOAJ登録への準備を始めた。</p>
<p>3-2 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる。</p>	<p>4 その他</p> <p>4-1 ORCID 学協会コンソーシアムで本年度まだ動きがないため、ORCIDに対する活動は保留となっている。</p>
<p>4 その他</p> <p>4-1 ORCID 学協会コンソーシアムに参画し、和論・英語にORCIDを導入するための準備を進める。</p>	<p>4 その他</p> <p>4-1 ORCID 学協会コンソーシアムで本年度まだ動きがないため、ORCIDに対する活動は保留となっている。</p>

<p>を発刊し、次年度に向けて特集号企画が2件追加された。前期に激減していた論文投稿数は、後期に企画した特集号によって回復傾向に転じたものの、結果的には昨年より若干減少した。いまだIndexが付与されないジャーナルへの投稿を避ける風潮が見られることもあり、Index付与の早期実現、会員へ英文誌投稿を支援するサービスをはじめ、論文誌の魅力向上策を今後次々企画、実施して投稿数増加を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4号 特集号：Fundamentals and Applications of Smart Sensing、特集号論文：3編、一般論文：2編 第5号 一般論文：5編 第6号 一般論文：4編 募集開始した特集号企画 <ol style="list-style-type: none"> 第13巻第3号 Special Issue on SICE Annual Conference 2019 第13巻第4号 Special Issue on SSI2019 	<p>4 論文セミナーの開催</p> <p>4-1 論文セミナーの開催を企画し、実行する。</p> <p>5 その他</p> <p>5-1 ORCID 学協会コンソーシアムで本年度までの活動がなかったため、ORCID に対する活動は保留となっている。</p>
<p>4 論文セミナーの開催</p> <p>4-1 論文セミナーの開催を企画し、実行する。</p>	<p>4 論文セミナーの開催</p> <p>4-1 論文セミナーの開催を企画し、実行する。</p> <p>5 その他</p> <p>5-1 ORCID 学協会コンソーシアムに参画し、和論・英論にORCIDを導入するための準備を進める。</p>

<p>2019年度事業計画</p> <p>●7～12月</p> <p>1 論文集委員会の開催</p> <p>1-1 Editorの資格要件を見直し(規定改定)、Editorial Boardの国際化を図る。</p> <p>1-2 論文投稿、査読、採択、編集の一連の流れの可視化を進め、今後の論文集事業の脆弱性検出を深める(投稿・査読システムの改善による査読期間の短縮、投稿料の適正化による投稿数の増加、論文名称の見直しなどによるプラットフォームの強化、採択率の最適化による投稿数・掲載数の増加、査読回数や会議との統合なども視野に入れた事業コストの最適化、などの提言に對し、具体的な実現可能性について検討し採否を見極める。)</p> <p>1-3 関連する委員会(AC等)と連携しながらブレプリントサーバーの扱いについて検討する。</p>	<p>2019年度実施結果</p> <p>●7～12月</p> <p>1 論文集委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月17日(水)臨時委員会開催 9月11日(水)第2回委員会開催 <p>なお、同日第1回和文論文編集委員会および第1回英文論文編集委員会も開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年2月4日(水)2019年度第3回委員会開催 <p>1-1 今後海外エディタが増加することを見据えて、英文論文編集委員会の体制の見直し(部門別からキーワード別)を開始した。</p> <p>1-2 事務局内の論文出版業務の効率化を図るため、出版業務外注化の検討を開始した。また、査読期間短縮化を担ってEditorial Managerの機能改善も実施した。</p> <p>1-3 AC委員会以外にも様々な委員会との連携が必要のため、引き続き総務委員会での調整を行った。</p>	<p>2 和論誌の発行</p> <p>2-1 前半期と合わせて合計4回特集号を発刊するとともに、次年度に向けて1件特集号の企画を追加した。しかしながら投稿数は昨年より若干減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第7号 一般論文：6編 第8号 一般論文：4編、ショート・ペーパー：1編 第9号 特集号：LE2018 シンポジウム特集号 特集号論文：5編、ショート・ペーパー：1編、一般論文：2編、ショート・ペーパー：1編 第10号 一般論文：8編 第11号 特集号：第24回ロボティクスシンポジウム特集号 特集号論文：12編、一般論文：2編 第12号 一般論文：7編 <ul style="list-style-type: none"> 募集開始した特集号企画 <ol style="list-style-type: none"> 第56巻第12号 第25回ロボティクスシンポジウム特集号 <p>3 JCMSI誌の発行</p> <p>3-1 Scopus申請に向けて英文誌webサイトの掲載内容の見直しを開始した。一方、ESCIに関しては前期に申請を完了したが、Clanvate Analytic社での審議が継続しており、年度内で結論が出なかった。また、現在フリーアクセス状態のオンライン論文のオープンアクセス化を行うためCCライセンス付与の検討も行っている。その他、J-STAGEセミナーに参画し、国内外での研究倫理、出版倫理に関する情報収集を行った。</p> <p>3-2 前半期と合わせて合計2回特集号の企画号</p>
<p>2 和論誌の発行</p> <p>2-1 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる(特に産業系論文の投稿数、掲載数を増加させる施策を進める)。</p>	<p>2 和論誌の発行</p> <p>2-1 前半期と合わせて合計4回特集号を発刊するとともに、次年度に向けて1件特集号の企画を追加した。しかしながら投稿数は昨年より若干減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第7号 一般論文：6編 第8号 一般論文：4編、ショート・ペーパー：1編 第9号 特集号：LE2018 シンポジウム特集号 特集号論文：5編、ショート・ペーパー：1編、一般論文：2編、ショート・ペーパー：1編 第10号 一般論文：8編 第11号 特集号：第24回ロボティクスシンポジウム特集号 特集号論文：12編、一般論文：2編 第12号 一般論文：7編 <ul style="list-style-type: none"> 募集開始した特集号企画 <ol style="list-style-type: none"> 第56巻第12号 第25回ロボティクスシンポジウム特集号 	<p>3 JCMSI誌の発行</p> <p>3-1 論文誌の地位向上のためインパクトファクター取得に向けて編集体制、論文誌の掲載内容など継続的な検討、改善を進める。Scopus, ESCIの2019年度中の申請取得を目指す。</p> <p>3-2 特集号の企画促進などを行い、投稿数、掲載論文数の増加をはかる。</p>

2019年度事業計画・実施報告

組織名	Annual Conference (AC) 委員会	担当	金子委員長
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会とともにSICE2019 (広島) を企画・実施、企業向けイベント (日本語併設WS・展示など) の企画による参加者増大、SICEWEBK2019 を企画・実施 ・SICE2020 (海外・タイ)、SICE2021 (上智大) の企画・準備を実行委員会と進める ・日本語併設WS、プレナリー講演の充実による会員サービスとSICE PRの向上 ・海外開催の定例化等、ACの方向性の明確化 ・AC参加者のデータベース構築 			
<p>●1-6月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) SICE2019の実施に向けた準備 2) 論文採択戦略の議論 3) 開催地の文化や観光情報なども発信するなどPR方法を改善・強化を実施 4) 日本語イベント (WSや企業展示) を企画し、賛助会員へ宣伝、展示は出席勧誘も実施 5) セッションのアブレゼン賞の実施 6) SICEWEBK2019の企画・準備 7) SICE2020の準備、広報 8) SICE2021の準備、組織委員会の決定、※SICE60周年記念事業との連携 9) SICE2018 (奈良) の実績解析、問題点の把握と改善 10) SICE2018 (奈良) 日本語併設WSの実績解析に基づき、それを継続するかについて議論 11) プレナリー講演の強化による集客効果向上 12) 海外での定例開催 (3年ごと) についての議論、 13) AC参加者データベースの構築 	<p>2019年度事業計画</p> <p>●1-6月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) SICE2019の実施の各種準備を行った。 2) 論文採択戦略は引き続き議論した。 3) PR方法の改善・強化を検討。2020以降も引き続き検討 4) 「SICE安全のための計測・制御・システムを考える会 日本語公開サロン」を企画 5) SICE2019ではセッションアブレゼン賞は実行委員会検討した結果、開催しない 6) 8月およびAC会期中にSICE WEBK 2019を企画 7) SICE 2020の会期・場所を決定した。 8) SICE 2021の実行委員長、プログラム委員長を決定した。60周年事業との連携は引き続き検討 9) SICE2018の実績を解析し、SICE2019の企画・実施に反映させた。 10) 日本語WSについてはSICE2018での結果を踏まえ引き続き継続することとした。 11) プレナリー講演についても検討し、2020にはより広い分野から集客力を考えた入選とする 12) 海外開催も引き続き検討した。2021、2022は国内、2023を海外を予定。ただし、IFAC世界会議とのバッティングも考慮。 13) AC参加者DBも引き続き検討。OS提案者をプログラム委員に充てるなど、参加者拡大に向けた工夫も検討。 	<p>2019年度実施結果</p> <p>●1-6月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) SICE2019の実施の各種準備を行った。 2) 論文採択戦略は引き続き議論した。 3) PR方法の改善・強化を検討。2020以降も引き続き検討 4) 「SICE安全のための計測・制御・システムを考える会 日本語公開サロン」を企画 5) SICE2019ではセッションアブレゼン賞は実行委員会検討した結果、開催しない 6) 8月およびAC会期中にSICE WEBK 2019を企画 7) SICE 2020の会期・場所を決定した。 8) SICE 2021の実行委員長、プログラム委員長を決定した。60周年事業との連携は引き続き検討 9) SICE2018の実績を解析し、SICE2019の企画・実施に反映させた。 10) 日本語WSについてはSICE2018での結果を踏まえ引き続き継続することとした。 11) プレナリー講演についても検討し、2020にはより広い分野から集客力を考えた入選とする 12) 海外開催も引き続き検討した。2021、2022は国内、2023を海外を予定。ただし、IFAC世界会議とのバッティングも考慮。 13) AC参加者DBも引き続き検討。OS提案者をプログラム委員に充てるなど、参加者拡大に向けた工夫も検討。 	
2019年度事業計画			
<p>●7-12月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) セッションのアブレゼン賞の選考・表彰 2) SICEWEBK2019の実施 3) SICE2020の準備 (継続) 4) SICE2021の準備 (継続)、SICE60周年記念事業との連携 (継続) 5) SICE2019 (広島) の実績解析、問題点の把握と改善 6) SICE2023 海外開催地・共催相手の議論 (継続) 7) AC参加者データベースの構築 (継続) 	<p>2019年度実施結果</p> <p>●7-12月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) SICE2019セッションアブレゼン賞は現地担当での運営上の理由から実施しない。 2) SICE2010において8月および会期中にSICEWEBKを開催した。 3) SICE2020実施準備を実行委員会とともに継続して行った。参加者増加、OS企画の拡充、とくにSICE2020ではASEAN諸国からの参加者増加のための準備を、実行委員会とともに継続。 4) SICE2021の準備を継続。 5) SICE2019の実績結果の解析を行った。とくに盛況であったため、実行委員長から企業誘致の策、運営、実行スケジュールなどの工夫点などを聞き取りを行い、今後に生かさせような点を整理。 6) 海外候補地については、2023はIFACなどもあることから、日本開催とする。しかし、現状の5年に1度の海外開催を4年または3年に1度の開催とすることも検討の余地ありとのこと。ひきつづき支部協議会なども含めながら検討。 7) 参加者データベースの構築も継続検討。 <p>そのほか、SICE2022の開催地を決定</p>		

2019年度事業計画・実施報告

組織名	国際委員会	担当	安藤委員長、三浦副委員長
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外学会との交流：共催・協賛・Tec. Co. 締結や会議への代表者派遣による関係強化 Annual Conference を通じた国際連携活動の実施 国際団体・国際会議 (IMEKO0201, IROS2022, IFAC2023 等) への協力活動 			
2019年度事業計画	2019年度実施結果		
<p>●1-6月</p> <p>1-1 海外学会との交流</p> <p>1-1-1 海外学会との共催・協賛、ならびに Technical Co-Sponsorship の締結・推進</p> <p>①MOU(自動)更新:MOUリーガルチェック実施 (ICROS 了解済、ECTI 確認中) 9月ACにて Signaling 予定、IEEE MOU 更新 (2019年未終了) 内容理事会にて検討・確認中。</p> <p>②韓国 ICROS、中国 TCT, タイ ECTI との Tech. Co. を締結終了</p> <p>③IEEE 登録</p> <p>- Tech. Co. 締結とSICE 側 Tech. Co. 登録終了</p> <p>④IEEE 登録</p> <p>- Tech. Co. 締結とSICE 側 Tech. Co. 登録</p> <p>- IEEE/CSS/RAIS/IEC</p> <p>- 韓国 ICROS、中国 TCT, タイ ECTI</p>	<p>●1-6月</p> <p>1-1 海外学会との交流</p> <p>1-1-1 海外学会との共催・協賛、ならびに Technical Co-Sponsorship の締結・推進</p> <p>①MOU(自動)更新:MOUリーガルチェック実施 (ICROS 了解済、ECTI 確認中) 9月ACにて Signaling 予定、IEEE MOU 更新 (2019年未終了) 内容理事会にて検討・確認中。</p> <p>②韓国 ICROS、中国 TCT, タイ ECTI との Tech. Co. を締結終了</p> <p>③IEEE 登録</p> <p>- Tech. Co. 締結とSICE 側 Tech. Co. 登録終了</p> <p>④IEEE 登録</p> <p>- Tech. Co. 締結とSICE 側 Tech. Co. 登録</p> <p>- IEEE/CSS/RAIS/IEC</p> <p>- 韓国 ICROS、中国 TCT, タイ ECTI</p>		
<p>1-1-2 海外学会・団体への代表者派遣</p> <p>①各種国際会議へのSICE 派遣代表者決定、主な派遣先: ECTI-CON (7月, タイ), CCC (7月, 中国), ICCAS (9月, 韓国), MICOMEX (9月, 中国), ICROS-ASCC (9月), IECON (10月, ホルトガル), IROS (11月, マカオ), CDC(12月, フランス), CACS 2019 等</p> <p>②派遣先との調整 (派遣連絡, 代表者の役割確認, 重要会議出席調整等) 継続中</p>	<p>1-1-2 海外学会・団体への代表者派遣</p> <p>①各種国際会議へのSICE 代表者派遣</p> <p>ASCC2019 (6月, 北九州) ECTI-CON (7月, タイ) 終了</p> <p>CCC (7月, 中国), ICCAS (10月, 韓国), IECON (10月, ホルトガル), IROS (11月, マカオ), CACS (11月, 台湾) CDC (12月, フランス) 派遣予定</p> <p>②派遣先との調整 (派遣連絡, 代表者の役割確認, 重要会議出席調整等) 継続中</p>		
<p>1-1-3 海外学会・団体との関係強化</p> <p>①各種国際会議へのSICE AC2019 案内早期発信</p> <p>②新規の関係強化方法, 代表者派遣先, 派遣再開, SICE AC 活性化(海外投稿数増)方法などの検討</p> <p>③IROS への貢献強化・国内投稿数増等の活性化方法の検討</p>	<p>1-1-3 海外学会・団体との関係強化</p> <p>①各種国際会議へのSICE AC2019 案内早期発信</p> <p>②新規の関係強化方法, 代表者派遣先, 派遣再開, SICE AC 活性化(海外投稿数増)方法などの検討</p> <p>③IROS への貢献強化・国内投稿数増のための賞 SIYA-IROS 創設実施 (SI 部門)</p>		
<p>1-2 Annual Conference を通じた国際活動</p> <p>1-2-1 SICE AC 2019 対応着手</p> <p>①VIP Reception 計画 … 案内文案, 宛先リスト作成 (事務局) 実施中</p> <p>②Friendship Lunch Meeting 計画 … 案内文案, 宛先 (SICE 事務局と協力) 実施中</p> <p>ICROS, ECTI, TCT</p>	<p>1-2 Annual Conference を通じた国際活動</p> <p>1-2-1 SICE AC 2019 対応着手</p> <p>①VIP Reception 計画 … 案内文案, 宛先リスト作成 (事務局) 実施中</p> <p>②Friendship Lunch Meeting 計画 … 案内文案, 宛先 (SICE 事務局と協力) 実施中</p> <p>ICROS, ECTI, TCT</p>		

<p>案, 宛先着手 (SICE 事務局と協力)</p> <p>ICROS, ECTI, TCT</p> <p>③STGA 準備 … IP 文案作成・掲載依頼, 審査委員選出</p>	<p>③STGA 準備 … IP 文案変更委員会審議・掲載, 審査委員選出等実施 応募10 数件, 審査中</p>		
<p>1-3 国際団体への協力活動</p> <p>1-3-1 IMEKO 委員会と日本学術会議との連携</p> <p>①日本学術会議総合工学会員内 IMEKO 委員会とSICE の IMEKO 委員会連携</p> <p>IMEKO0201 に向けた活動支援実施中</p> <p>- TC 等 IMEKO 関連行事参加支援</p> <p>- 理事会への代表者派遣</p> <p>- 計測部門との連携 等実施中</p> <p>②IPAC 委員会連携</p> <p>- IPAC2023 世界大会開催支援 (体補助言)</p> <p>- 準備金等資金的支援方法の検討実施</p> <p>- IFAC 関連会議活動広報実施</p> <p>- 制御部門との連携 等実施中</p> <p>③IROS2022 実行委員会との連携</p> <p>- IROS2022 実行委員会との連携</p> <p>- SI 部門との連携 (SIYA-IROS 募集実施中)</p>	<p>1-3 国際団体への協力活動</p> <p>1-3-1 IMEKO 委員会と日本学術会議との連携</p> <p>①日本学術会議総合工学会員内 IMEKO 委員会とSICE の IMEKO 委員会連携</p> <p>IMEKO2021 に向けた活動支援実施中</p> <p>- TC 等 IMEKO 関連行事参加支援</p> <p>- 理事会への代表者派遣</p> <p>- 計測部門との連携 等実施中</p> <p>②IPAC 委員会連携</p> <p>- IPAC2023 世界大会開催支援 (体補助言)</p> <p>- 準備金等資金的支援方法の検討実施</p> <p>- IFAC 関連会議活動広報実施</p> <p>- 制御部門との連携 等実施中</p> <p>③IROS2022 実行委員会との連携</p> <p>- IROS2022 実行委員会との連携</p> <p>- SI 部門との連携 (SIYA-IROS 募集実施中)</p>		
<p>2-1 SICE の国際プレゼン向上活動</p> <p>2-1-1 海外人材育成</p> <p>①アジア地区学会カンファレンス支援</p> <p>- 韓国 ICROS Joint Session</p> <p>- タイ ECTI Joint Session</p> <p>②英文論文誌インパクトファクター獲得</p> <p>- 調査・獲得手続き継続実施 (SICE 事務局)</p> <p>③海外人事育成への貢献</p> <p>- アジア地区人材育成貢献策検討 未着手</p> <p>- 相互インターンシップ等検討 未着手</p>	<p>2-1 SICE の国際プレゼン向上活動</p> <p>2-1-1 海外人材育成</p> <p>①アジア地区学会カンファレンス支援</p> <p>- 韓国 ICROS Joint Session</p> <p>- タイ ECTI Joint Session</p> <p>②英文論文誌インパクトファクター獲得</p> <p>- 調査・獲得手続き継続実施 (SICE 事務局)</p> <p>③海外人事育成への貢献</p> <p>- アジア地区人材育成貢献策検討 未着手</p> <p>- 相互インターンシップ等検討 未着手</p>		

2019年度事業計画・実施報告

組織名	国際標準化委員会	担当	小野委員長 (副会長)
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0 でのSICEの役割明示とそのプロモーションのために、OS、WS 開催や 会誌発行による、メーカー、ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信 ・ SICE 2019 (広島) での国際化推進イベントの企画 			
<p>●1～6月 委員会開催 2回以上予定</p> <p>1) SICE 2019 (9月、広島) に向けたOS 企画の策定 (実行、運営は下期) OS 1件を企画する</p> <p>2) 国際標準化動向の調査 他団体との情報共有など</p> <p>3) 国際標準化関連セミナーの開催検討</p>	<p style="text-align: center;">2019年度実施結果</p> <p>●1～6月</p> <p>a) 第1回4月8日に開催 b) 第2回5月27日に開催。</p> <p>1) SICE 2019 (9月、広島) に向けたOS 企画の策定 a) SICE 2019 (9月、広島) でのOS 企画案を策定し、4件の発表を行うことを決定。セッションの主題は International standardization for system. b) SICE2020 (9月、タイ) でのOS 開催の検討を開始した。SICE2019 の際、タイの国際標準化関係者にアクセスし連携することとした。</p> <p>2) 国際標準化動向の調査 他団体との情報共有など</p> <p>a) 日本電気計測器工業会 (JEIIMA) 及び製造科学技術センターより標準化活動に関して説明を受け情報交換した。 b) IEC TC65 の活動内容全般について同国内委員会より説明を受け情報交換した。</p> <p>3) 国際標準化関連セミナーの開催検討 a) 産業応用部門と共同で、SICE2019 (広島) および産総研応用部門大会でのセミナー開催を計画した。 b) 2019年度SI部門講演会において共同セミナーを開催することを計画した。 c) SICE2019 (広島) および産総研応用部門大会でIEC TC65 国内対策委員会への講演の依頼を行った。</p> <p>4) 国際標準化賞の推薦 a) 応募のあった功績賞1件について小委員会を設置して審査し、本委員会での同意を経て学会賞委員会に推薦した。</p> <p>5) JIS の定期見直し JIS の原案作成委員会としての立場で関連 JIS の定期見直しを行った。</p>	<p style="text-align: center;">2019年度事業計画</p> <p>●7～12月</p> <p>3) 第3回7月30日に開催 4) 第4回10月8日に開催 5) 第5回11月14日に開催</p> <p>1) SICE 2019 (9月、広島) で国際標準化委員会主催のOS 1件 [International standardization for system] を実施した。</p> <p>2) SICE2020 (タイ) に向けてECTI の標準化関係者と情報交換を行った。 国際標準化の課題について検討と意見交換を行った。</p> <p>3) 9月のSICE2019 (広島) において産総研応用部門と共同でセミナーを開催した。 12月のSI部門講演会において国際標準化セミナー「国際標準化入門 -システム制御に関する標準化動向」を開催した。 SICE の研究開発活動と標準化の接点について検討した。</p> <p>4) 9月のSICE 2019 ACにおいて、国際標準化賞功績賞が1名 (大野氏、横河電機) に授与された。</p> <p>5) Society 5.0 に関連する用語の定義案を提示して意見交換を行い、2020年度の事業計画に反映させることとした。</p>	

2019年度事業計画・実施報告

組織名	事業会員サービス委員会	担当	茂森委員長、長谷川副委員長
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> ・ AI, IoT, ビッグデータの発信力強化のためのイベント企画、ならびに SNS の継続見直しと魅力あるコンテンツの充実 ・ シニア世代活用による会員サービス向上策の展開 			
<p style="text-align: center;">2019年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1～6月 ・ 委員会実施 ・ ISCE 連携 <ul style="list-style-type: none"> - ステアリング会議(6月) - SSH 出展準備 ・ 横幹連合連携 <ul style="list-style-type: none"> - 定時総会(4月) ・ 他学会連携 <ul style="list-style-type: none"> - 他学会行事協賛(随時) ・ JEMIMA 等工業会との連携 <ul style="list-style-type: none"> - JEMIMA-SICE 連携会議(3月) ・ 日本学術会議と連携 (多分野応用委員会) <ul style="list-style-type: none"> - 自動制御連合講演会開催地決定準備 ・ 安全のための計測・制御・システムを考える会の活動 <ul style="list-style-type: none"> - 定期的な会合 ・ 体験セミナー・企業見学会 <ul style="list-style-type: none"> - 年間計画策定(3月) - 準備、実施、フォローアップ ・ 産業応用セミナー(教育・認定委員会と連携) <ul style="list-style-type: none"> - 実施 - フォローアップ ・ その他友好団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> - 男女共同参画学協会連絡会への参加 - 夏の学校出展準備 ・ 会員増進策の検討 <ul style="list-style-type: none"> - 新会員制度の施行 - よろず相談窓口設立 	<p style="text-align: center;">2019年度実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1～6月 ・ 委員会を2/12, 4/9, 6/14に実施。 ・ ISCE 連携ステアリング会議を5/23 大阪で実施。また、SSH (8/7-8 神戸) への出展を準備中。 ・ 横幹連合定時総会 (4/19 東京) に参加 ・ 他学協会からの国内行事協賛依頼は、随時、審査・承認した。理事会 (1/24, 2/19, 4/22, 6/28) で報告。 ・ JEMIMA 等工業会主催の IIFES 2019 (11/27-29 東京) への出展を準備中。 ・ 2020年の自動制御連合講演会(幹事学会:SICE)は、11月に富山で実施することが内定。 ・ 安全のための計測・制御・システムを考える会の活動は、定期的な会合(サロン)を1/28, 2/18, 3/15, 4/17, 5/28, 6/4に実施。 ・ 体験セミナー・企業見学会は、今年度、横河電機、村田機械、アズビル、チノーで開催予定。6/24に横河電機で体験セミナーを実施。 ・ エンジニア試験合格者対象「産業応用セミナー」の実施検討中。下半期(7～12月)に実施予定。 ・ 男女共同参画学協会連絡会へ随時参加中。女子中高生夏の学校2019(8/9-11 埼玉)への出展準備中。 ・ 定時社員総会(2/19)にて、新会員制度(シニア会員向け会費一括納入制度、学生会員向け准会員制度)が承認。 ・ 【主な重点施策】 SNS 運用方針を4/22に制定し、 		
<p style="font-size: small;">SNS コンテンツの拡充フォロー</p>			

SICE HP に掲載。SICE Facebook の投稿手順を支部協議会(4/19)、部門協議会(6/13)にて説明し投稿依頼。SICE HP の行事参加申込 Web アプリ改善実施中。

2019年度事業計画・実施報告

組織名	教育・認定委員会	担当	橋本委員長
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> 部門及び支部が持つ知識・技術の活用による、基礎的・実務的な講座や講演会の開催 			
2019年度事業計画	2019年度実施結果		
<ul style="list-style-type: none"> ●1～6月 1. 計測制御エンジニア資格 <ul style="list-style-type: none"> WG 会合 (3, 5月) 試験問題の改訂 関東(本部), 北海道, 九州各支部での実施の日程場所の確定・準備 実施支部の検討 受験者増対策の検討, 受験者勧誘 学生受講者のインセンティブとして事業会員や委員会と連携して「産業応用セミナー」を実施する 2. プロセス塾 <ul style="list-style-type: none"> プロセス新塾2018 スクーリング (3月・第5回目) プロセス新塾2019 スクーリング (6月・第1回目) WG 会合 教育内容を検討(通年) 次の3カ年計画の検討 3. CPD ポイント <ul style="list-style-type: none"> ポイント集計と表彰者決定 4. IABEE <ul style="list-style-type: none"> 情報収集(通年) 審査支援(通年) 5. 新教育プログラム事業計画検討 <ul style="list-style-type: none"> 企業エンジニアの学び直しの場の提供 AI/IT/ビッグデータ塾(仮称)を企画 高等教育機関への学び直しの新たな場 	<ul style="list-style-type: none"> ●1～6月 WG 会合・試験制度改正の議論 (4/24) プロセス新塾2018 年度修了生に対して計測制御エンジニア補の資格を認定 (4/22, 第2回理事会) 認定者 39名 九州 (1/12) 九州、北海道にて実施予定あり プロセス新塾2018 年度第5回スクーリングを実施。新日鐵住金八幡製鉄所を見学 (3/1-2, KMM ビル4F 第3・第4会議室) 参加者 54名 プロセス新塾2019 年度第1回スクーリングを実施 (6/7-8, 慶應大学) 参加者 46名 未実施 (7-12月に実施予定) WG 会合 (2/13, 4/24) ポイント集計を行い、表彰者を決定する (6/28, 第3回理事会へは集計が間に合わなかったの選出は委員長一任と決議された) 「AI塾」の尾形先生へのヒアリングを行った (5/29) 		

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> ●7～12月 委員会実施 <ul style="list-style-type: none"> ISCIE 連携 <ul style="list-style-type: none"> 講習会等の企画段階からの情報交換 SSH 出展 (8月) ステアリング会議 (11月) 横断連合連携 <ul style="list-style-type: none"> 第10回横断連合コンファレンス (11/30-12/1 長岡) に参加 他学協会連携 <ul style="list-style-type: none"> 他学協会からの国内行事協賛依頼は、随時、審査・承認した。理事会 (9/10, 11/28, 12/24) で報告。 JEMIMA 等工業会との連携 <ul style="list-style-type: none"> 計測展2019 東京 (11月) 日本学術会議と連携 (多分野応用小委員会) <ul style="list-style-type: none"> 自動制御連合講演会開催地決定 2020年開催の準備 安全のための計測・制御・システムを考える会の活動 <ul style="list-style-type: none"> 定期的な会合開催・講演会開催 体験セミナー・企業見学会 <ul style="list-style-type: none"> 準備, 実施, フォローアップ 産業応用セミナー(教育・認定委員会と連携) <ul style="list-style-type: none"> 実施 フォローアップ その他友好団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画学協会連絡会への参加 夏の学校出展 (8月) 会員増強施策の検討 <ul style="list-style-type: none"> 新会員制度の施行 よろず相談窓口検討 SNS コンテンツの拡充フォロー 	<ul style="list-style-type: none"> ●7～12月 委員会を8/20, 12/17 に実施。 ISCIE 連携ステアリング会議を11/9 札幌で実施。また, SSH (8/7-8 神戸) および女子中高生夏の学校 (8/10 埼玉) へ出展。IPFES2019 でセミナーを実施 (11/27 東京)。 第10回横断連合コンファレンス (11/30-12/1 長岡) に参加 他学協会からの国内行事協賛依頼は、随時、審査・承認した。理事会 (9/10, 11/28, 12/24) で報告。 JEMIMA 等工業会主催の IPFES 2019 (11/27-29 東京) へ出展し, 大学・高専テクニカルアカデミー研究発表コンテストでSICE 奨励賞を授与。 2020年の自動制御連合講演会(幹事学会: SICE)の準備中。 安全のための計測・制御・システムを考える会の活動は、定期的な会合(サロン)を7/3, 8/2, 9/3, 9/10, 10/8, 11/5, 12/12 に実施。見学会2件 (7/18-19 太陽石油等, 10/1-2 福島原発等), および有料講習会 (12/13 横国大) を開催。 体験セミナー・企業見学会を, アズビル (10/25), チノール (11/15) で開催。 エンジニア試験合格者対象「産業応用セミナー」を11/30 北大で開催。1/11 九大で開催予定。 男女共同参画学協会連絡会・随時参加中, 女子中高生夏の学校 2019 (8/9-11 埼玉) へ出展。 女子中高生夏の学校 (8/10 埼玉) にて, 女子中高校生を対象によるず相談を実施。 SICE HP の行事参加申込 Web アプリ改善実施中。

2019年度事業計画・実施報告

組織名	部門協議会	担当	田中(仁)議長、山本副議長
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<p>部門・支部の連携強化・活性化を継続し、Society5.0等の中長期的社会ニーズに応える組織的部門活動を展開する。その一環として、広報活動など発信力強化について協議する。</p> <p>合わせて、会員数増大に向けた準備として、会員情報DBの整備に関する協議を行う。支部との連携強化に関しては、部門大会において連携を継続するとともに、合同協議会について協議する。また部門活動校の見直しを含む部門活性化方策、および部門運営負荷の把握とその効率化について協議する。</p>			
2019年度事業計画		2019年度実施結果	
<p>●1～6月</p> <p>1. 部門活動の促進サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回の部門協議会を開催 <p>2. 支部協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部協議会への参加 ・合同の協議会を開催し合同講演会開催の検討 ・イベントDB構築と試用 <p>3. 企画委員会などとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務委員会、企画委員会に参加し、内容を部門へ報告 <p>4. 部門活性化方策の検討と活動の広報の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員情報DB整備に向けた、部門ごとの名簿の整理 ・各WGと専門委員会の活動内訳把握 ・企業会員向けサービスWGの立ち位置検討 <p>5. 部門運営の負荷の把握および効率化の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部門における活動の把握 	<p>●1～6月</p> <p>1. 部門活動の促進サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回部門協議会 (2/4・8、メール審議) ・第2回部門協議会 (4/1、SICE事務所) ・第3回部門協議会 (6/13、SICE事務所) <p>2. 支部協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部協議会への参加 ・第1回支部協議会 (4/19、SICE事務所) ・第2回支部協議会 (7/5、SICE事務所) ・合同協議会の開催 (3/6-7、定山溪) ・産業応用部門計測・制御ネットワーク部会が、制御システムセキュリティに関するワークショップを中国支部との連携を企画 (8月開催) <p>3. 企画委員会などとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/8財務委員会に参加 <p>4. 部門活性化方策の検討と活動の広報の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員情報DB整備に向けて、事務局主導で部門ごとの名簿の整理を実施 ・各WGと専門委員会の活動状況を適切に把握するために、「活動報告書・申請書」の雛形を更新し、「不利益システムWG」、「応用クリフォード数WG」、「企業会員向けサービス強化WG」、「オンラインデータベース活用技術専門委員会」から提出 ・企業会員向けサービスWGにて、企業会員向けメニュートリアル講演会の企画を検討 <p>5. 部門運営の負荷の把握および効率化の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡大理事会でテーマ「部門協議と新分野への対応」を提案 ・部門協議会にて、各部門の活動状況を把握し、特に入数が少ない部門に関して、負担軽減策を協議 		

2019年度事業計画		2019年度実施結果	
<p>●7～12月</p> <p>1. 計測制御エンジニア資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WG会合(7, 9月) ・関東(本部)、北海道、九州各支部で試験実施(10月～12月) ・北海道講師選定 ・遠隔面談準備 ・受験者増施策を実施(産業応用セミナー) <p>2. プロセス塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス新塾スクーリング(第2,3,4回)実施 ・WG会合 ・教育内容を検討(通年) <p>3. CPDポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 表彰式・賞状授与 <p>4. JABEE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集(通年) ・審査支援(通年) <p>5. 新教育プログラム事業計画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業エンジニアの学び直しの場の提供 ・AI/IoT/ビッグデータ塾(仮称)を企画 ・高等教育機関への学び直しの新たな場 	<p>●7～12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測制御エンジニア認定試験を実施(10/19, 10/26, 11/17) アカデミック13名合格 ・北海道(11/30, 22名) ・福岡(2020/1/11 実施予定) <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス新塾2019年度第2回スクーリングを実施、太陽石油四国事業所を見学(7/19, 20) 参加者45名 ・第3回スクーリングを実施(10/11, 12 京都大学) 参加者33名 ・第4回スクーリングを実施(12/13, 14 慶應義塾大学) 参加者43名 ・WG会合(8/2 拡大, 10/23) <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度のCPDポイントを集計し、高得点者の表彰(9/12, 表彰状の授与3名)を実施 		

2019年度事業計画・実施報告

組織名	計測部門	担当	寺本部門長
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し ・ Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や誌発行による、メーカー・サビビス・ユーズー企業さらに異業種を含む社会への情報発信 ・ 部門と支部を中心とした会員情報DBの整備による会員管理及び 会員数拡大 ・ IMEX02021開催に向けた国際委員会との連携推進 			
<p>2019年度事業計画</p> <p>●1～6月</p> <p>2月 先端電子計測部会 講演会 第109回ガ学量計測部会行事：ガ学量計測部会講演会・見学会 第1回セレンシングフオーラム運営委員会</p> <p>3月 パターン計測部会共同企画・動的画像処理実用化ワークショップ(DIA2019) 第44回リモートセンシングシンポジウム</p> <p>5月 第148回温度計測部会温度計測部会見学会</p> <p>6月 第103回パターンプラント計測部会研究会 第107回ガ学量計測部会運営委員会 第110回部会行事：有機微量分析合同シンポジウム(ガ学量計測部会)</p>	<p>2019年度実施結果</p> <p>●1～6月</p> <p>2月19日(火) 第109回部会行事 ガ学量計測部会講演会・見学会(オリンパス技術歴史館「瑞石洞」：講演1件、参加者14名)</p> <p>2月21日(木) 第1回セレンシングフオーラム運営委員会</p> <p>2月22日(金) IMEKO委員会(SICE会議室)</p> <p>3月5日(金) 第1回温度計測部会運営委員会(SICE会議室) 3月7,8日 動的画像処理実用化ワークショップ(DIA2019) 北九州国際会議場、協賛</p> <p>3月8日(金) 第44回リモートセンシングシンポジウム 千葉工業大学 津田沼キャンパス</p> <p>5月17日(金) 第148回温度計測部会温度計測部会見学会(IIIエアロスペース富岡事業所：参加者11名) 5月24日(金) 第2回計測部門運営委員会(SICE会議室)</p> <p>6月8日(金) 第103回パターンプラント計測部会研究会 東京大学工学部6号館3階セミナー室 講演7件、参加者12名 6月10日(月) IMEKO委員会(SICE会議室) 6月13日(木)、14日(金) 第110回部会行事 有機微量分析合同シンポジウム(有機微量分析研究会との共催) (京都大学：発表件数100、参加者100名) 6月18日(火) 第107回ガ学量計測部会運営 SICE事務局8名</p>		

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●7～12月</p> <p>1. 部門活動の促進サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回部門協議会(8/21・28、メール審議) ・ 第5回部門協議会(11/5、SICE事務局) ・ 第6回部門協議会(12/4・11、メール審議) ・ 第7回部門協議会(1/10、SICE事務局) <p>2. 支部協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合同の協議会を開催し合同講演会開催の検討 <p>3. 企画委員会などとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務員会、企画委員会に参加し、内容を部門へ報告 <p>4. 部門活性化方策の検討と活動の広報の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発信力強化に関して、部門協議会で議論 ・ 会員情報DB整備の方向性について協議 <p>5. AC活性化、OS企画・貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各部門で個別実施 <p>6. 部門運営の負荷の把握および効率化の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上期の協議結果を踏まえて、2019年度の計画を立案 	<p>●7～12月</p> <p>1. 部門活動の促進サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回部門協議会(8/21・28、メール審議) ・ 第5回部門協議会(11/5、SICE事務局) ・ 第6回部門協議会(12/4・11、メール審議) ・ 第7回部門協議会(1/10、SICE事務局) <p>2. 支部協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部協議会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回支部協議会(7/5、SICE事務局) ・ 第3回支部協議会(9/10、AC広島会場) ・ 合同協議会の開催(9/10、AC広島会場) <ul style="list-style-type: none"> 部門・支部連携に向けた行事情報共有、企業会員向けチュエトリリアル講演など ・ 次回合同協議会を企画(8/11予定) <p>3. 企画委員会などとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務員会に参加(8/22) ・ 企画委員会に参加(7/30、10/9) <p>4. 部門活性化方策の検討と活動の広報の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発信力強化に関して、企業会員への認知度を高めるために、企業会員向けサービスWGにて、企業会員向けチュエトリリアル講演を企画した(8/9実施予定)。なお、企業会員向けサービスWGは、次年度より事業委員会サービス委員会で活動することとした。 ・ 会員情報DB整備に関して、部門活性化の一環として、部門登録簿の可能性に関する議論を行った。 <p>5. AC活性化、OS企画・貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門ごとにOSの企画を実施、ACの活性化に貢献した。 <p>6. 部門運営の負荷の把握および効率化の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門の負荷軽減の方策に向けた、現状の部門の負荷について情報共有を行った。

2019年度事業計画・実施報告

組織名	制御部門	担当	井村部門長
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <p>・ Society5.0 での SICE の役割明示とそのプロモーションのために、OS、WS 開催や誌発行による、メーカー・ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信</p> <p>・ 会員、イベント(内容、参加者)の情報を広く活用できる DB の検討と整備</p> <p>・ IFAC2023 開催に向けた国際委員会との連携推進。</p>			
2019年度事業計画	2019年度実施結果		
<p>●1~6月</p> <p>第6回制御部門マルチベンジウム(MSCS2019)開催 (3月6-9日、熊本大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SICE International Symposium on Control Systems 2019 ・ 第47回 制御理論シンポジウム ・ 第10回 フラントモデリングシンポジウム ・ 第19回 適応学習制御シンポジウム ・ 第36回 誘導制御シンポジウム ・ 第5回 システム構築と制御技術シンポジウム <p>MSCS1における産業応用部門との Joint OS の開催</p> <p>一部門賞贈呈式</p> <p>ー第1回制御部門運営委員会開催</p> <p>ー各委員会・部会・調査研究会の運営委員会・研究会・講演会・見学会・セミナーなどの実施</p>	<p>●1~6月</p> <p>第6回制御部門マルチベンジウム(MSCS2019)開催 (3月6-9日、熊本大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SICE International Symposium on Control Systems 2019 ・ 第47回 制御理論シンポジウム ・ 第10回 フラントモデリングシンポジウム ・ 第19回 適応学習制御シンポジウム ・ 第36回 誘導制御シンポジウム ・ 第5回 システム構築と制御技術シンポジウム <p>MSCS1における産業応用部門との Joint OS を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OS 産業制御システムのスマート&セキュア化への取り組み <p>部門賞贈呈式を MSCS2019にて実施</p> <p>第1回制御部門運営委員会を3月9日に熊本大学で開催</p> <p>各委員会・部会・調査研究会の運営委員会・研究会・講演会・見学会・セミナーなどを計画にしたがって実施 (例年の個別事業実施報告参照)</p> <p>■主な重点施策の経過報告</p> <p>制御部門 Web サイトにて、部門活動情報を提供した。</p> <p>制御部門の DB の調査を行った。</p> <p>IFAC2023 開催に向けて、国際委員会との連携基盤を構築した。</p>		

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●7~12月</p> <p>8月</p> <p>バタレン計測部会協賛 画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2019)</p> <p>第38回センシングフォーラム</p> <p>9月</p> <p>センサエキスポジャパン 2019 SICE 計測部門セミナー「インフラセンシングの新たな展開」</p> <p>10月</p> <p>第111回協会行事: 計量史をさぐる会 2019 (共催)</p> <p>11月</p> <p>第24回バタレン計測シンポジウム</p> <p>第149回温度計測部会講演会</p> <p>SensorExpo 展示</p> <p>スマートセンシングシステム部会研究会 (電子情報通信学会と併催)</p> <p>APMF2019 アジア太平洋力学量計測フォーラム (力学量計測部会)</p> <p>12月</p> <p>バタレン計測部会共同企画・ビジョン技術の美利用ワークショップ VIEW 2019</p> <p>第108回力学量計測部会運営委員会</p>	<p>●7~12月</p> <p>7月</p> <p>2019年7月29日(月)~8月1日(木)</p> <p>第22回 画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2019) グランキューブ大阪 (大阪府立国際会議場) 参加者 1053名</p> <p>8月</p> <p>8月29日(木)、8月30日(金) 第36回センシングフォーラム開催(慶應義塾大学失上キヤンパス)。参加者 134名、発表 73件</p> <p>9月</p> <p>9月13日 センサエキスポジャパン 2019 SICE 計測部門セミナー「インフラセンシングの新たな展開」</p> <p>10月</p> <p>第111回協会行事: 計量史をさぐる会 2019 (共催) 近江度量衡(株) 参加者 40名 発表 4件</p> <p>11月</p> <p>11月8,9日 24回バタレン計測シンポジウム (第104回バタレン計測部会研究会)高知県国民宿舎 桂浜荘 参加者 発表 8件</p> <p>11月15日 第149回温度計測部会講演会, 東洋大学, 参加者 80名, 発表 4件</p> <p>11月17日 APMF2019 アジア太平洋力学量計測フォーラム 新潟市朱鷺メッセ 発表 73件, 参加者 140名</p> <p>12月</p> <p>12月5,6日バタレン計測部会共同企画・ビジョン技術の美利用ワークショップ VIEW 2019 パシフィック横浜2F アネックスホール 発表 100件, 参加者 500名</p> <p>12月17日 第108回力学量計測部会運営委員会 SICE 事務局 20名</p>

2019年度事業計画・実施報告

組織名	システム・情報部門	担当	半田部門長
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<p>・支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブの見直し</p> <p>・Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や誌発行による、メーカ、サービズ、ユーズ企業さらに異業種を含む社会への情報発信</p> <p>・部門と支部を中心とした会員情報DBの整備による会員管理及び会員数拡大</p>			
2019年度事業計画		2019年度実施結果	
<p>●1～6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門大会における部会・研究会とのシンポジウム共催の検討 ・部門大会の実行委員会などの組織化・開催準備 ・部会シンポジウムなどの開催(適宜、部門間ならびに部門内での連携・協調の可能性・有効性を概察) ・部門賞選考プロセス(表彰委員会の構成・発表賞の選考)の点検・見直し ・部門大会特集号の論文募集・査読プロセス管理・採録論決定 ・活動計画実施状況のレビューとPDCAによる評価 ・見直しのねらい・ポイントの再確認・明確化 ・部会・研究会の決算報告や部門予算管理におけるインセンティブの運用方策・方式について検討 	<p>●1～6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、部会のシンポジウム・研究会を部門大会前日行うこととした ・部門大会の準備が順調に進んでいる ・予定通り部会シンポジウムが開催されている。今期の共催イベントはなかった。 ・部門運営委員会にて部門賞選考プロセスを点検した。 ・部門大会特集号の論文募集を行っている。 ・活動計画実施状況を確認している ・国際化5カ年計画について運用方策・方式を検討した。 		
<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> －第31回自律分散システム・シンポジウム 	<p>1月28・29日 第31回自律分散システムシンポジウム(国立民族博物館、発表51件、参加94人)を開催した。</p>		
<p>2月</p>	<p>3月9日 第61回システム工学部会研究会(防衛大学校、発表18件、参加34人)を開催した。</p> <p>3月6・7日 第46回知能システムシンポジウム(龍谷大学、発表39件、参加79人)を開催した。</p> <p>3月14・15日 第65回回離散事象システム研究会(福井大学、発表3件、参加61人)を開催した。</p> <p>3月17-19日 第18回社会システム部会研究会(サザンビーチホテル&リゾート沖繩、発表45件、参加69人)を開催した。</p> <p>3月16日 スマートワールド調査研究会第11回研究会(沖縄県青年会館、発表3件、参加14人)を開催した。</p> <p>3月14・15日 第2回分子ロボティクス年次大会(東京工業大学、発表66件、参加100人)を開催した。</p>		
<p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> －第61回システム工学部会研究会 －第46回知能システム・シンポジウム －第65回回離散事象システム研究会 －第18回社会システム部会研究会 －第11回SW調査研究会 	<p>分子ロボティクス年次大会</p>		

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●7～12月</p> <p>第2回制御部門運営委員会開催</p> <p>第7回制御部門マルチシンポジウム(MSCS2020)の企画・検討・準備</p> <p>一部門賞の選考</p> <p>一産業応用部門大会におけるJoint OSの開催</p> <p>第3回制御部門運営委員会開催</p> <p>各委員会・部会・調査研究会の運営委員会、研究会・講演会・見学会・セミナーなどの実施</p>	<p>●7～12月</p> <p>第2回制御部門運営委員会を9月12日に広島大学で開催</p> <p>第7回制御部門マルチシンポジウム(MSCS2020)を徳島大学にて開催する計画として企画準備を行った。</p> <p>制御部門賞の選考を行った。</p> <p>SICE 産業応用部門大会(10月31日)にて産業応用部門、国際標準化委員会との合同企画OSを企画し、「超スマート社会実現のためのシステム制御技術」などのテーマセッションを開催した。</p> <p>第3回制御部門運営委員会を11月9日に札幌コンベンションセンター(自動制御連合講演会会場)にて開催した。</p> <p>各委員会・部会・調査研究会による研究会・講演会・見学会・セミナーなどを計画にしたがって実施(別添の個別事業実施報告参照)。</p> <p>■主な重点施策の報告</p> <p>制御部門Webサイトにて、部門活動情報を提供した。</p> <p>制御部門のDBの調査を行った。</p> <p>IPAC2023 開催に向けて、国際委員会との連携基盤を構築した。</p>

4月		
5月	第23回SW調査研究会	5月25・26日 スマートワールド調査研究会第12回研究会(同志社びわこリトリートセンター、発表14件、参加16人)を開催した。
6月	第65回自律分散システム部会研究会 第15回CI研究会 第19回社会システム部会研究会	6月5日 第65回自律分散システム部会研究会(フテライトキャンパスひろしま、発表2件、参加20人)を開催した。 6月29・30日 第15回コンピュータ・シミュレーション・インテリジェンス研究会(慶應義塾大学、発表14件、参加46人)を開催した。 6月1・2日 ビジネス課題における社会シミュレーション・モデリング講座(グランフロント大阪ナレッジキャピタル、発表2件、参加30人)を開催した。

	2019年度事業計画	2019年度実施結果
7-12月	<ul style="list-style-type: none"> 部門大会の実行委員会などの組織化・開催準備 学会シンポジウムなどの開催(適宜、部門間ならびに部門内での連携・協調の可能性・有効性を模索) 部門賞選考・贈呈 部門大会特集号の論文募集・査読プロセス管理・採録論文決定 活動計画実施状況のレビューとPOAによる評価・見直しのねらい・ポイントの再確認・明確化 部会・研究会の決算報告や部門予算管理におけるインセンティブの運用方策・方式について検討 	<ul style="list-style-type: none"> 7-12月 <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会を毎月webにて開催し、準備に務めた。 CI部会ならびに自律分散システム部会の研究会を部門大会前日に行い、連携を行なった。 部門賞を選考し、論文賞以外は部門大会で贈呈し、後日、論文賞の贈呈も行なった。 特集号のCP等の作成を行なった。 部門運営委員会において活動計画の実施状況のレビューを行なった。 部会・研究会の予算策定を行い部門の予算として積み上げを行い、本部に提出した。 8月3日に第13回スマートワールド調査研究会を電力中央研究所にて開催した。 8月18、19日に第20回社会システム部会研究会をマホロバソインズ三浦にて開催した。 8月30日に第66回回離散事象システム研究会を斜里町公民館にて開催した。 8月31日にBIOMOD国内大会を東京大学生産技術研究所にて開催した。 8月31日から9月2日まで、第25回創発システム・シンポジウムを公立諏訪東京理科大学にて開催した。
7月	分子ロボティクス月例研究会 第24回SW調査研究会	<ul style="list-style-type: none"> 8月3日に第14回スマートワールド調査研究会を同志社大学にて開催した。 11月22日に第65回自律分散システム部会研究会をTRP千葉駅東口ビジネスセンターにて開催した。 11月22日にCIフォーラムを千葉大学にて開催した。 11月23日から25日まで、システム・情報部門学術講演会 SSI2019を千葉大学にて開催した。 12月20日にCI研究会を近畿大学にて開催した。
8月	第25回創発システム・シンポジウム 第20回社会システム部会研究会(合同研究会) BIOMOD国内大会	
9月	CIフォーラム(合同研究会) 第66回回離散事象システム研究会(合同研究会) 開発論的システムデザイン調査研究会例会 創発システム・シンポジウム	
10月	第25回SW調査研究会 先端コンピュータ研究 第2回分子ロボット倫理国際会議	
11月	賢さの先端研究会 第65回自律分散システム部会研究会 CIフォーラム 部門学術講演会(SSI2019) 人工知能学会合同研究会(人工知能学会分子生物情報研究会共催) 自律分散システム部会研究会	
12月	第16回CI研究会 第26回SW調査研究会 分子ロボティクス月例研究会 自律分散システム部会研究会	

2019 年度事業計画・実施報告

組織名	システムインテグレーション部門	担当	新井部門長
2019 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0 での SICE の役割明示とそのプロモーションのため、OS、WS 開催や誌発行による、メーカー・ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信 ・ 会員、イベント (内容、参加者) の情報を広く活用できる DB の検討と整備 			
2019 年度事業計画		2019 年度実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> ● 1～6 月 ・ 部門運営委員会 (幹事団) による前年度計画した部会活動の実施と状況把握、および予算書・企画書等の事務手続きの着実な実施のフォロー ・ 部門運営委員会 (幹事団) での部会行事や部門講演会の支部連携の検討と推奨の実施 ・ 新年度体制・各種情報等の着実な HP 更新 ・ 広報情報委員 (HP 担当) による行事の情報発信の継続 ・ 部会の各種情報等の HP 更新 ・ SICE の HP での部門・部会活動の積極的な広報 ・ 防災学術連携体への情報提供 ・ システムインテグレーションに関する新しい技術分野の開拓 (新調査研究委員会の立ち上げ) ・ SI2018 会計処理/優秀講演者のフォロー ・ SI2018 会計処理/優秀講演者のフォロー ・ SI2019 運営企画のフォロー ・ SI2020 に向けた実行委員長 運営組織立上げフォロー ・ SI2021 に向けた実行委員長 運営組織立上げフォロー ・ SI2020 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォローと SI2021 以降の開催地、実行委員長選定、企画運営のフォロー ・ 特定費用準備資金による IROS 事業支援 ・ 表委員 会組織化 ・ 部門賞募集と選定 ・ FA 財団賞ノミネット ・ 運営委員会の部門協議会に合わせた開催 ・ 第 1 回運営委員会 (1 月 7 日予定) ・ 第 2 回運営委員会 (1 月 28 日～2 月 1 日: メール審議) ・ 第 3 回運営委員会 (3 月: メール審議) ・ 第 4 回運営委員会 (6 月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1～6 月 ・ 部門運営委員会において、各部会の活動の実施に関する状況把握、および予算書・企画書等のチェックを確実に実施した。 ・ 各部会に対する支部連携の推奨、部門講演会における支部連携の要請等を行った。 ・ 新年度の体制に合わせた HP 更新を行った。 ・ 広報情報委員による情報発信の強化を実施した。 ・ SI2018 の終了報告を受け、会計処理については遅滞なく完了した。SII2019 に関しては担当者に状況確認を行い、処理の完了を依頼した。 ・ SI2019 での登録システム構築、講演会開催のため進捗報告を審議、フォローを継続的に実施した。 ・ SI2019 (高松) の進捗報告を審議しフォロー ・ SI2020 (福岡) の進捗報告を審議しフォロー ・ SI2021 (鹿児島) の進捗報告を審議しフォロー ・ SII Steering Committee と連携して 2020.1 の SII2020 の進捗確認を継続して行った。 ・ SII Steering Committee と連携して SII2021 の進捗確認を行った。 ・ 表委員 会を組織した。 ・ SI 部門が主導して、FA 財団賞ノミネット委員会を組織し、厳正な審査を実施して推薦した。 ・ SICE 国際化 5 年特別費用準備資金が設立され、関連事業の実施に向けた計画を立てた。 ・ SICE 学費委員長の依頼に基づいて、SI 部門が主導して、SICE International Young Authors Award for IROS20 19 (SIYA IROS2019) の選考委員会を組織し募集を行った。 ・ 部門協議会に合わせた運営委員会の開催に加え、定期的な部門運営委員会の開催による事前の予算書・企画書チェックの着実な実施を行った。 ・ 論文投稿システムの機能拡張を検討し準備した。 ・ 第 1 回運営委員会を開催 (首都大東京秋葉原サテライトキャンパス: 1/7) ・ 第 2 回運営委員会をメール審議で実施 (2/1) ・ 第 3a 回運営委員会をメール審議で実施 (3/8) ・ 第 3 回運営委員会をメール審議で実施 (3/22) ・ 第 4a 回運営委員会をメール審議で実施 (4/23) 		

・ 第 4 回運営委員会を開催 (広島、広島工業大学広島校舎 201: 6/6)

2019年度事業計画・実施報告

組織名	産業応用部門	担当	藤田部門長
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブロールの見直し 新たな付加価値領域を採るための部門横断による作業部会の推進 Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や誌発行による、メーカ、サービカ、サービズ、ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信 部門と支所を中心とした会員情報DBの整備による会員管理及び会員数拡大 			
●1~6月	<p>2019年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 部門運営委員会 新年度運営体制構築 部門大会企画準備 部門の在り方の議論を実施 制御部門マルチシンポジウムとの連携の企画・実施 産業応用分野に関する他部門との連携行事の検討 産業応用部門大会における制御部門OSおよびその他合同企画の調整と依頼 部門賞候補者推薦募集会発表 各分会主催行事の準備・実施 各委員会の実施 	<p>2019年度実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1~6月 <ul style="list-style-type: none"> 部門運営委員会 (開催日と主な議題) 19.2.6 第1回部門運営委員会 2019年度運営体制 19.4.8 第2回部門運営委員会 部門大会のセッション、役割分担 部門の在り方の議論のために「企業会員向けサービス強化するための施策を検討するWG」委員を選出 19.3.7 第6回 制御部門マルチシンポジウム (MSCS 2019) でOSを実施 産業応用分野に関する他部門との連携行事の検討 産業応用部門大会における制御部門との合同企画OS実施を決定 部門賞候補者推薦募集を6月号会誌に掲載 各分会主催行事の準備・実施 -計技技術交流部会「いまさら聞けないAI」等3回の勉強会を実施 -計測・制御ネットワーク部会AC;SICE2019企画 (OS、ブレナリ、国際シンポジウム) と部門大会シンポジウム企画 -流体計測制御部会 部門大会シンポジウム企画 -エンジニア会 エンジニア会講座の開催内容 ・日時等方向性の決定 学生向人材育成イベント実施の検討 	

●7~12月	<p>2019年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 部門運営委員会 (幹事団) による前年度計画した部会活動の実施と状況把握と予算書・企画書等の事務手続きの着実な実施のフォロー 部門運営委員会 (幹事団) での部会行事・部門講演会での支所との連携検討と推進の実施 広報委員 (IP 担当) による行事の継続的な情報発信 部会の各種情報等のIP 継続的な更新 システムインテグレーションに関する新しい技術分野の継続的な開拓 (新調査研究委員会の立ち上げ) 表彰委員会による部門賞選定と部門学術講演会における贈賞 レスキューロボットコンテスト RT ミドルウェアコンテスト SI2019 企画と実施のフォロー SI2020 運営企画のフォロー SI2021 の実行委員長の運営組織立上げフォロー SI2022 の開催地と実行委員長の決定 SI2020 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォロー SI2021 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォローと実行委員長の運営組織立上げフォロー SI2022 開催に向けた SII Steering Committee の運営フォロー 2020 年度体制の決定と予算策定の実施 特定費用準備資金による IROS 事業支援 第5回運営委員会 (8月:メール審議) 第6回運営委員会 (9月) 第7回運営委員会 (10月:メール審議) 第8回運営委員会 (11月:メール審議) 第9回運営委員会 (12月) 	<p>2019年度実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ●7~12月 <ul style="list-style-type: none"> 部門運営委員会において、各分会の活動実施に関する状況把握、予算・企画書・実施報告を確認し、部会活動の円滑な実施を推進した 各分会に対して、支所連携の推進、部門講演会で支所連携を推進した 本年度立ち上げた部門 Web ページの運営の円滑な実施、情報発信強化を継続して実施した 表彰委員会により、各部門賞の選定を行い、部門講演会において贈賞を実施した SICE 学会賞委員長の依頼に基づいて、SI 部門が主導して、SICE International Young Authors Award for IROS2019 (SIYA-IROS2019) の審査を行い、候補を3件選出した。SICE 学会賞委員長およびSICE 理事会の承認を受け、IROS 2019 で贈賞した。 SICE 学会賞委員長の依頼に基づいて、SI 部門が主導し、SICE International Young Authors Award for SII2020 (SIYA-SII2020) の選考委員会を組織し募集、審査を行い、候補を4件選出した。SICE 学会賞委員長およびSICE 理事会の承認を受け、RT ミドルウェアコンテストの贈賞に協力した (授賞式12/13)。 レスキュー工学奨励賞 (国際レスキューシステム研究機構 (RS)) の贈賞に協力した (授賞式12/13)。 SICE 論文編集委員会が開催したSICE 論文塾ランチョンセミナーに協力した (12/14)。 SI2018/SII2019 の決算と最終報告を行った。 SI2019 (サンポート高松) は、発表件数 (847件)、参加者 (1,327名) を集め、無事に実施した。 SI2019 で、SI 部門 20周年記念事業を行った (サンポート高松; 12/12)。 SI2020 (ハワイ) は、発表件数が243件 (採択率72.3%)、進捗を確認し、フォローした。 SI2020 (福岡) の運営組織立上げフォローと進捗を確認し、フォローした。 SI2021 (鹿児島) の運営組織立上げフォローと進捗報告の確認を行った。 SII Steering Committee と連携し、SII2021 (福岡) の進捗報告を審議、フォローした。 SI2022 の開催場所等の議論を開始した。 2019 年予算を計画的に執行した。 SI 講演会の論文投稿システムを改良した。 第5回運営委員会をメール審議で実施 (8/16) 第6回運営委員会を開催 (早稲田大学; 9/5) 第7回運営委員会をメール審議で実施 (10/25) 第8回運営委員会をメール審議で実施 (11/29) 第9回運営委員会を開催 (サンポート高松; 12/13)
--------	--	---

2019年度事業計画・実施報告

組織名	ライフエンジニアリング部門	担当	中島部門長
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <p>・支那再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブの見直し ・Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や誌発行による、メーカー、サービスマン、ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信 ・部門と支部を中心とした会員情報DBの整備による会員管理及び、会員数拡大</p>			
2019年度事業計画		2019年度実施結果	
<p>●1～6月</p> <p>1. 電気生理運動学部会において、研究会を実施する。</p> <p>2. 日本生体医工学会、電子情報通信学会MEとバイオサイバネティクス研究会等と合同で生体医工学に関する講演会を実施する。</p> <p>3. 総合情報生物工学部会において、研究会を実施する。</p> <p>4. 前、現、次期、次次期部門長会議により、中期ビジョンが達成できる組織運営を築く。</p> <p>5. 部門・部会合同運営委員会を実施することにより、効率的な管理体制を構築し、財務体質の健全化を図る。</p> <p>6. 部門・部会のイベント開催や諸事業の収益構造の改善を通じて部門の財務体質の健全化を図る。</p>	<p>●1～6月</p> <p>1. 日本電気生理運動学部会を開催した(6月29日、中京大学、電気生理運動学部会共催)。</p> <p>2. 電子情報通信学会ME研究会・NC研究会を開催した(3月4～6日、電気通信大学、生体生理工学部会共催)。その中において、第67回講演会(講師:北澤 茂 先生(大阪大学))。題目:「今・ここ」とデフォルトルートネットワークも併せて実施した。</p> <p>3. 電気学会 光・量子デバイス研究会 医療工学応用一般を開催した(4月13日、電気通信大学、総合情報生物工学部会共催)。</p> <p>4. 部門運営委員会において、前部門長、現部門長、次期部門長の間で中期ビジョン達成に向けて具体的な意見交換を行った。</p> <p>5. 第1回部門・4部会合同運営委員会を開催した(3月5日、電気通信大学)。今後の部門のあり方や学会との関係などについて沿革も踏まえて意見交換を行った。</p> <p>6. IE 部門シンポジウム開催(8月23-25日、Asia Hotel Bangkok, Thai) に向けての準備を進めている。</p>		

2019年度事業計画		2019年度実施結果	
<p>●7～12月</p> <p>・部門運営委員会 (開催日と主な議題) 19.8.1 第3回部門運営委員会 ・企業会員向けサービス強化WG委員会の報告およびチュートリアル講演会への対応向けサービス強化WG 19.10.1 第4回部門運営委員会 ・2019年度部門大会運営方法 ・部門賞 19.12.8 第5回部門運営委員会 ・2020年度運営体制</p> <p>・SICE ACにおけるスベシヤルセッションや関連OS、WSを以下の通り実施 ・安全TF公開サロン ・計測・制御ネットワーク部会OS ・JEMIMA スポンサードプレナリ講演 ・スベシヤルセッション「スマートマニュファクチャリングと産業用ネットワーク国際シンポジウム2019」</p> <p>・産業応用部門大会の実施 流体計測ネットワークシンポジウム 計測制御エンジニア総会</p> <p>・部門賞候補者推薦締切、審査・決定、表彰の実施</p> <p>・各部会主催行事の準備・実施</p> <p>・各委員会の実施</p>	<p>●7～12月</p> <p>・部門運営委員会 (開催日と主な議題) 19.8.1 第3回部門運営委員会 ・企業会員向けサービス強化WG委員会の報告およびチュートリアル講演会への対応向けサービス強化WG 19.10.1 第4回部門運営委員会 ・2019年度部門大会運営方法 ・部門賞 19.12.8 第5回部門運営委員会 ・2020年度運営体制</p> <p>・SICE ACにおけるスベシヤルセッションや関連OS、WSを以下の通り実施 ・安全TF公開サロン ・計測・制御ネットワーク部会OS ・JEMIMA スポンサードプレナリ講演 ・スベシヤルセッション「スマートマニュファクチャリングと産業用ネットワーク国際シンポジウム2019」</p> <p>・産業応用部門大会を東京工業大学で10月31日に開催以下行事を実施 ・部門大会基調講演、フェイナル講演、一般講演 ・計測・制御ネットワークシンポジウム ・流体計測制御シンポジウム ・制御部門/国際標準化委員会との連携OS ・技術交流会</p> <p>・部門賞功績賞1件を決定し部門大会において表彰を実施</p> <p>・各部会主催行事の準備・実施 ・計装技術交流部会よく知る会を実施 ・計測・制御ネットワーク部会 AC SICE2019 企画(OS、プレナリ、国際シンポジウム)と部門大会でシンポジウム実施 ・流体計測制御部会 部門大会でシンポジウム実施、ベストプレゼンテーション賞を決定し表彰を実施</p>		

組織名	支部協議会	担当	高山議長, 鈴木副議長
-----	-------	----	-------------

2019年度事業計画・実施報告

<ul style="list-style-type: none"> 支部再編に向けた意向調査に基づく協議 Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や誌発行による、メーカー・サービス・ユーザー企業さらに異業種を含む社会への情報発信 部門と支部を中心とした会員情報DBの整備による会員管理及び会員数拡大 	2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分
--	----------------------------

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●1～6月</p> <p>2月 支部協議会準備会 (Web会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各支部の新体制の確認 支部再編に関する情報共有 支部再編における支部構成や地区委員会の在り方に関する検討 各支部事業計画の確認と特徴的イベント・セミナー等の内容確認、およびマニキュア・パッチナーへの展開可能性に関する情報共有 地域企業等との連携方法(講演会や講習会)に関する情報共有 SICE- AC2019への企画、投稿の呼び掛け <p>3月 部門・支部合同会議 (北海道大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 近未来におけるSICE トレンド予測 部門、支部、産業、地域の連携に関する議論 部門体制、支部体制の再編に関する議論 部門、支部を横断する産学リエゾン組織の設置 会員情報DB 整備と活用方法に関する議論 <p>4月 第1回支部協議会 (SICE事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支部再編における支部構成や地区委員会の在り方、運営組織体制に関する情報共有 マニキュア・パッチナーの活性化された講習会・セミナー等行事の他支部への展開依頼 計測制御エンジニア試験の継続・新規実施の働き掛け 行事DBに基づき、部門との連携行事に関する実施検討依頼 支部-学生-地元企業を結び付けられる行事に関する情報共有 	<p>●1～6月</p> <p>2月1日 支部協議会準備会 (Web会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支部協議会および支部の事業計画を確認した 支部活動状況について確認した 支部再編の経緯説明と再編案に対する意見交換を実施し、今後の進め方を議論した 支部活動貢献イニシアティブの経緯説明と、最優秀支部表彰のための評価方法を検討した 部門・支部合同会議の開催について確認した <p>3月6日 部門・支部合同会議</p> <ul style="list-style-type: none"> SICE全体の現況と今後の展開や、各部門・支部の現況・取組について各委員から発表し、議論を行った 部門体制、支部体制の再編、さらに部門・支部・産業・地域の連携について議論した 部門、支部横断型の産学リエゾン組織の設置について議論した <p>4月19日 第1回支部協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 支部再編における支部構成や地区委員会の在り方、運営組織体制について議論した 支部活動に関する評価項目を確認し、最優秀支部表彰のための評価式を検討した 支部活動状況の報告、および下期事業計画の確認を行った

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●7～12月</p> <p>1. ライフエンジニアリング部門シンポジウム(生体・生体工学シンポジウムを部門主導のもと、全部会の協力で実施する。</p> <p>2. ライフエンジニアリング分野の若手研究者の研究を奨励するため、ライフエンジニアリング部門シンポジウム発表者の中から、優秀な研究者を選抜し、研究奨励賞を授与する。</p> <p>3. 日本生体医学会、電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会等と合同で大学院生、若手研究者を対象に、生体工学に関するサマースクールを実施する。</p> <p>4. ユビキタスヘルスケアアソシエーションにおいて、研究会を実施する。</p> <p>5. 共同研究を促進するため、広くシニア説明会などの連携セミナーを開催する。</p> <p>6. 上期に引き続き、前、現、次期、次次期部門長会議により、中期ビジョンが達成できる組織運営を築く。</p> <p>7. 上期に引き続き、部門・部会合同運営委員会を実施することにより、効率的な管理体制を構築し、財務体質の健全化を図る。</p> <p>8. 上期に引き続き、部門・部会のイベント開催や諸事業の収益構造の改善を通じて部門の財務体質の健全化を図る。</p>	<p>●7～12月</p> <p>1. 8月23～25日にタイ国バンコク市の Asia Hotel Bangkokにてライフエンジニアリング部門シンポジウム2019 (タイの関連学会とジョイント)を開催した。(発表件数111件、参加者132名)</p> <p>2. 8月23～25日に開催したライフエンジニアリング部門シンポジウム2019にて研究奨励賞1名、学生奨励賞1名に賞を授与した。</p> <p>3. 8月27～28日に立命館大学ひびこ・くさつきキャンパスにて、部門共催事業として第16回生体医学サマースクール (Bioengineering Hackathon in 生体医学サマースクール) 生体工学で健やかな生活を)を開催した。</p> <p>4. u-healthcare 2019 を開催した (韓国ソウル市、ユビキタスヘルスケアアソシエーション、12月5日～6日)。</p> <p>5. 第2回部門運営委員会において、前部門長、現部門長、次期部門長の間で中期ビジョン達成に関して具体的な意見交換を行った。</p> <p>6. 第2回部門・4部会合同運営委員会を開催した (8月24日, Asia Hotel Bangkok)。今後の部門のあり方や学会との関係などについて台車も踏まえ意見交換を行った。</p> <p>ライフエンジニアリング部門シンポジウム2019を開催した。発表件数や参加者数は前年度を同様であるが、国際会議として実施した学会開催の収支としては前年度を上回る結果となった。</p>

2019年度事業計画・実施報告

組織名	北海道支部	担当	近野支部長
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <p>[1]支部会議やメンバーングリストを活用し、支部再編に向けた意向調査を随時実施するとともに支部へのインセンティブルールについて広く意見を収集する。</p> <p>[2]Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、会員および市民向けの主催/共催講演会を開催するとともに、産学官連携行事にブースを出展し社会へ情報発信する。</p> <p>[3]支部協議会と連絡を密にし、整備されたDBにイベント情報が反映される仕組みを検討する。また、優れた若手会員に対し表彰を実施し会員数の増加に取り組む。</p>			
2019年度事業計画		2019年度実施結果	
<p>●1～6月</p> <ul style="list-style-type: none"> 支部会議 支部再編・インセンティブルールに関する意見聴取 第51回計測自動制御学会北海道支部学術講演会(日本ロボット学会北海道ロボット技術研究委員会との共催) 計測自動制御学会北海道支部主催特別講演会 共催行事：複維系マイクログンボジウム 支部運営委員会 その他 	<p>●1～6月</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月22日(火)、北海道大学で支部総会を開催 支部再編・インセンティブルールに関し、2月1～9日にメール審議 第51回計測自動制御学会北海道支部学術講演会を3月7日(木)、8日(金)に北海道大学で開催。講演件数31件、参加人数65名。 計測自動制御学会北海道支部主催特別講演会を3月7日(木)に北海道大学で開催。講師：Anirban Guha氏(インド工科大学ボンベイ校) 複維系マイクログンボジウムを3月2日に実施。講演件数26件、参加人数44名 支部運営委員会を1月22日(火)、3月7日(木)に実施 北海道ロボット技術研究専門委員会主催特別講演会(3月7日、北海道大学)を共催。講師：笹尾和宏氏(新日鉄住金ソリューションズ株式会社) 		

2019年度事業計画		2019年度実施結果	
<p>●7～12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回支部協議会(Web会議) 支部再編における支部構成や地区委員会、それから運営組織体制の具体的な検討 部門・支部連携行事に関する検討 マニユアル化、パッケージ化された講習会・セミナー等行事の他支部での実施検討依頼 支部・学生・地元企業を結びつける行事に関する実施検討依頼 拡大理事会への提言の取りまとめ SICE AC2019への参加促進 <p>9月 部門・支部合同会議(SICE AC会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部門との連携、協働体制に関する確認 <p>9月 第3回支部協議会(SICE AC会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡大理事会を受けての議論 支部再編における支部構成や地区委員会、それから運営組織体制の具体的な検討 次年度事業計画の立案に関する議論 	<p>●7～12月</p> <p>7月5日 第2回支部協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 支部再編における支部構成について調査結果を報告し、それに基づき検討を行った 表彰活動賞状贈呈について検討し、最優秀支部表彰の実施延期を決めた 部門・支部合同会議を今年度も開催し、各支部の状況と好事例を共有することとした 部門・支部連携行事に関する検討を行った 各支部周年行事の準備を継続することとした 拡大理事会改め拡大理事ワークショップにおける討議課題を共有した SICE行事Webアプリの試用を行うこととした <p>9月10日 部門・支部合同会議(SICE AC会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部門・支部における好事例・参考例の共有のための合同会議を開催することとした 部門・支部連携に向けて行事情報共有を検討し、相乗り等による合同イベントの企画を検討することとした <p>9月10日 第3回支部協議会(SICE AC会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡大理事ワークショップにおけるグループ討議・提言案を受けての意見交換等を行った 支部再編・活性化について、具体案を検討した 支部評価項目について検討を継続することとした 部門・支部合同会議(AC期間以外)を今後定例化していくこととした 		

2019年度事業計画・実施報告

組織名	東北支部	担当	吉田支部長	
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分				
<ul style="list-style-type: none"> ・支部活動に関する情報共有と円滑な運営を図ることを目的とし、総会1回・専門委員会7回を開催する。支部内における研究者間の学術交流を活性化させるため、各県の大学・高専が持ち回りで計7回の研究集会を開催する。 ・学会への学生動員策の一環として、研究発表奨励賞の授与を行う。 ・また、適宜共催事業・協賛事業を実施することで、学会員の枠を超えて広く社会に向けた支部活動の発信および貢献を行う。 				
2019年度事業計画		2019年度実施結果		
<ul style="list-style-type: none"> ●1～6月 東北支部会議 (1月) 東北支部研究集会 (第321回～323回) 特別講演会 (2月) 東北支部優秀発表奨励賞 (各研究集会ごと) 	<ul style="list-style-type: none"> ●1～6月 新体制の確認、前年の活動報告、及び半年間の活動予定について審議を行った。 ・第321回 (2月22日, 東北大学) 演題6件, 参加者9名 ・第322回 (5月31日, 岩手大学) 演題6件, 参加者22名 ・第323回 (6月28日, 八戸工業大学) 演題8件, 参加者21名 第321回研究集会と同時開催で特別講演会を実施した 各研究集会で発表した30歳以下の登壇者の中から審査によって対象者を選定し、学会への入会を条件として奨励賞を授与した。1月～6月の受賞者は3名。 ・第1回 (1月23日～1月26日) 議題1件 ・第2回 (4月23日～4月26日) 議題3件 ・第3回 (6月10日～6月17日) 議題3件 			
<ul style="list-style-type: none"> ●7～12月 ✓ ロボットトリアスロン ✓ 協賛事業：ロボットトリアスロンに協賛を行った。34チーム、98名が参加。 ✓ 協賛事業：大翔機環境3次元計測と認識・モデル化技術集中講演会。講演数8件、135名参加 ✓ 計測制御エンジニアセミナー 計測制御エンジニアセミナーを2019年10月19日(土)室蘭工業大学で実施した。講演数2件、参加者：15名 ✓ 計測制御エンジニア試験 計測制御エンジニア試験2019年10月19日(土)室蘭工業大学で実施。受験者：6名 ✓ SICE産業応用セミナー SICE産業応用セミナーを2019年11月30日(土)北海道大学で実施した。参加企業：6社、参加学生：8名 ✓ 支部運営委員会 支部運営委員会：協賛行事・共催行事の各種依頼等に対し、主にメール審議にて対応を行った(4件) ✓ 支部選挙 支部選挙を以下の日程で実施した。2019年12月25日投票用紙発送。2020年1月20日締め切り。選挙の結果は2020年1月27日の支部会議にて審議予定。 		<p>【後援事業】学都仙台・宮城サイエンス・デイ2019</p> <p>2019の後援事業を実施した。</p>		

2019年度事業計画・実施報告

組織名	中部支部	担当	佐々木支部長
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <ul style="list-style-type: none"> 支部主催講習会の継続とパッケージ化の推進による収益への貢献 支部主催行事を通じた産官学の交流強化 中部支部50周年記念事業の実施 支部再編に向けた協議、および、インセンティブルール検討の継続 			
2019年度事業計画	2019年度実施結果		
<p>●1～6月</p> <p>(1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支部会議 特別講演会 支部賞表彰 第1回運営委員会・事業委員会 	<p>●1～6月</p> <p>(1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支部会議 1月26日(土) 名古屋大学2号館 特別講演会 1月26日(土) 名古屋大学2号館 演題:「工学系教育の変遷と将来～工学系専科大学の歴史と制御屋人生を迎えて～」 講師:名古屋工業大学 学長 柳御裕之氏 支部賞表彰 1月26日(土) 名古屋大学2号館 第49期支部賞奨励賞表彰(4件) ○名古屋大学 有泉亮氏「応答曲面法を応用したロボティクスにおけるデータ駆動最適化」 ○愛知県立大学 鈴木拓央氏「生活状態推定技術を応用した服薬管理支援システムに関する研究」 ○名古屋工業大学 福田智弘氏「階級鏡下視診システムのための感覚情報提示技術の構築」 ○名古屋大学 宮田喜久子氏「実宇宙機の高度な要求仕様を満たす新しい制御アルゴリズムに関する研究」 (以上、23名出席) 第1回運営委員会・事業委員会(25名出席) 1月26日(土) 名古屋大学2号館 <p>(2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第50期学業優秀賞審査 <p>(3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第50期学業優秀賞表彰 18名表彰 <p>(4月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回運営委員会・事業委員会(21名出席) 4月13日(土) 名古屋工業大学3号館 <p>(5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 有料講習会1「ROS入門」(15名参加) 5月29日(水) 信州大学 上田キャンパス <p>(1～6月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支部研究委員会事業 ○第165回教育工学研究会(21名参加) 3月18日(月) 大同大学滝巻校舎S棟 ○第1回統合知能メカトロシステム研究会 講演会(42名参加) 4月9日(火) 岐阜大学工学部棟 		

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●7～12月</p> <p>東北支部研究集会(第324回～第327回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第324回 7月, 秋田大学 第325回 9月, 山形大学 第326回 11月, 会津大学 第327回 12月, 東北大学 <p>東北支部優秀発表奨励賞(各研究集会ごと)</p> <p>東北支部55周年記念学術講演会(12月開催の研究集会を拡大して開催)</p> <p>【共催事業】電気自動車エコーロン競技大会(8月)</p> <p>計測自動制御学会東北支部特別賞(エコーロン競技大会)</p> <p>【協賛事業】中学生のためのCGプログラミング講座(12月)</p> <p>東北支部専門委員会(第5回～第7回)</p> <p>東北支部運営委員会・顧問・専門委員会合同委員会(12月)</p>	<p>●7～12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 第324回研究集会(7月17日, 秋田大学) 演題8件, 参加者20名 第325回研究集会(10月18日, 山形大学) 演題5件, 参加者9名 第326回研究集会(11月5日, 会津大学) 演題14件, 参加者30名 第327回研究集会(12月16日, 東北大学) (東北支部55周年記念学術講演会) 演題31件, 参加者85名 <p>各研究集会で発表した30歳以下の登壇者の中から審査によって対象者を選定し、学会への入会を条件として奨励賞を授与した。7月～12月の受賞者は8名。</p> <p>昨年に引き続き、電気自動車エコーロン競技大会の共催事業を実施し、チームに計測自動制御学会東北支部特別賞を授与した。</p> <p>昨年に引き続き、中学生のためのCGプログラミング講座の協賛事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4回(7月8日～7月12日) 議題2件 第5回(9月20日～9月27日) 議題3件 第6回(11月5日～11月11日) 議題3件 <p>東北支部運営委員会・顧問・専門委員会合同委員会(12月16日, 東北大学)</p>

2019年度事業計画・実施報告

組織名	北陸支部	担当	渡辺支部長
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <p>[1]支部会議やメールマガジンを活用し、支部再編に向けた意向調査を随時実施するとともに支部へのインセンティブルールについて広く意見を収集する。</p> <p>[2]Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、会員および市民向けの主催/共催講演会を開催するとともに、産学官連携行事にブースを出展し社会へ情報発信する。</p> <p>[3]支部協議会と連絡を密にし、整備されたDBにイベント情報が反映される仕組みを検討する。</p> <p>また、優れた若手会員に対し表彰を実施し、会員数の増加に取り組む。</p>			
2019年度事業計画		2019年度実施結果	
<p>● 1～6月</p> <p>1月 新田合同運営委員会、支部会議、特別講演会</p> <p>3/1 優秀学生賞の募集・表彰</p> <p>3/2 日本機械学会北陸信越支部 第56期総会・講演会 (共催)</p> <p>3/2 平成30年度 北陸地区学生による研究発表会 (共催)</p> <p>3/8 第1回北陸支部講演会の開催</p> <p>4月～5月 第1回運営委員会</p> <p>6/1～ 計測自動制御学会北陸支部 SICE Annual Conference 若手奨励賞の募集</p> <p>6/6～ 計測自動制御学会北陸支部 優秀論文発表賞の募集</p> <p>7/19 第2回北陸支部講演会の開催</p> <p>7月～8月 第2回運営委員会 (メール審議)</p>	<p>● 1～6月</p> <p>1/18 IT ビジネスプラザ武蔵にて開催された新田合同運営委員会には運営委員が9名参加し、6議題について審議し可決した。支部会議には運営委員を含む会員が15名参加し、6議題について審議し可決した。特別講演会は参加者15名があり、鈴木亮一氏による講演「医療福祉ロボット開発における計測制御技術の役割」の発表1件で実施された。</p> <p>3/1 北陸地区の高等専門学校、大学、大学院10校より合計14名の学生を表彰した。</p> <p>3/2 富山大学五福キャンパスにて参加者353名、発表210件で実施された。</p> <p>3/2 富山高等専門学校本館キャンパスにて参加者128名、発表90件で実施された。</p> <p>3/8 金沢工業大学にて開催され、参加者34名があり、Oliver Sawodny氏による講演「Pneumatic Continuum Manipulators - Modeling and Model-based Control」の発表件数1件で実施された。</p> <p>5/24 IT ビジネスプラザ武蔵にて開催され、6名の運営委員が参加し、10議題について審議し可決した。</p> <p>6/1～ 計測自動制御学会北陸支部 SICE Annual Conference 若手奨励賞の募集</p> <p>6/6～ 計測自動制御学会北陸支部 優秀論文発表賞の募集</p> <p>7/19 第2回北陸支部講演会の開催</p> <p>7月～8月 第2回運営委員会 (メール審議)</p>		

2019年度事業計画		2019年度実施結果	
<p>● 7～12月</p> <p>(7月)</p> <p>・ 第3回運営委員会・事業委員会 (16名出席)</p> <p>7月13日(土) 名古屋工業大学3号館</p> <p>(9月)</p> <p>・ 中部支部シンポジウム (90名参加)</p> <p>9月24日(火) 信州大学工学部</p> <p>(10月)</p> <p>・ 中部支部50周年記念事業 記念式典、功労賞表彰 (9名)、研究室紹介ポスターセッション (講師: 福田敏男氏)</p> <p>10月18日(金) 名古屋工業大学 NITech Hall (以上、113名参加)</p> <p>・ 中部支部50周年記念事業 (チュートリアル) (55名参加)</p> <p>10月19日(土) 名古屋工業大学 NITech Hall</p> <p>・ 第50期支部賞審査</p> <p>(11月)</p> <p>・ 第4回運営委員会・事業委員会、顧問会議 (18名出席)</p> <p>11月16日(土) 名古屋工業大学3号館</p> <p>・ 有料講習会2「機械学習」(21名参加)</p> <p>11月26日(火) 豊橋技術科学大学情報メディア基礎センター</p> <p>(7～12月)</p> <p>・ 支部研究委員会事業</p> <p>○ 第2回総合知能メカトロシステム研究委員会講演会 (30名参加)</p> <p>8月9日(金) 岐阜大学工学部棟</p> <p>○ 第119回「電機計測制御技術」ワーキングゼミナー (77名参加)</p> <p>9月12日(水) 名古屋工業大学2号館</p> <p>○ 第166回教育工学研究会 (12名参加)</p> <p>9月13日(金) 大同大学滝春校舎S棟</p> <p>○ 第120回「電機計測制御技術」ワーキングゼミナー (61名参加)</p> <p>10月11日(金) 名古屋工業大学6号館</p> <p>○ 第121回「電機計測制御技術」ワーキングゼミナー (96名参加)</p> <p>11月30日(土) 中部大学恵那研修センター</p> <p>○ 信州地区計測制御研究委員会 (53名参加)</p> <p>12月6日(金) 信州大学工学部</p>	<p>● 7～12月</p> <p>(7月)</p> <p>・ 第3回運営委員会・事業委員会 (16名出席)</p> <p>7月13日(土) 名古屋工業大学3号館</p> <p>(9月)</p> <p>・ 中部支部シンポジウム (90名参加)</p> <p>9月24日(火) 信州大学工学部</p> <p>(10月)</p> <p>・ 中部支部50周年記念事業 記念式典、功労賞表彰 (9名)、研究室紹介ポスターセッション (講師: 福田敏男氏)</p> <p>10月18日(金) 名古屋工業大学 NITech Hall (以上、113名参加)</p> <p>・ 中部支部50周年記念事業 (チュートリアル) (55名参加)</p> <p>10月19日(土) 名古屋工業大学 NITech Hall</p> <p>・ 第50期支部賞審査</p> <p>(11月)</p> <p>・ 有料講習会2</p> <p>・ 若手研究発表会</p> <p>・ 第4回運営委員会・事業委員会</p> <p>・ 顧問会議</p> <p>(7～12月)</p> <p>・ 支部研究委員会事業</p> <p>○ 第2回総合知能メカトロシステム研究委員会講演会 (30名参加)</p> <p>8月9日(金) 岐阜大学工学部棟</p> <p>○ 第119回「電機計測制御技術」ワーキングゼミナー (77名参加)</p> <p>9月12日(水) 名古屋工業大学2号館</p> <p>○ 第166回教育工学研究会 (12名参加)</p> <p>9月13日(金) 大同大学滝春校舎S棟</p> <p>○ 第120回「電機計測制御技術」ワーキングゼミナー (61名参加)</p> <p>10月11日(金) 名古屋工業大学6号館</p> <p>○ 第121回「電機計測制御技術」ワーキングゼミナー (96名参加)</p> <p>11月30日(土) 中部大学恵那研修センター</p> <p>○ 信州地区計測制御研究委員会 (53名参加)</p> <p>12月6日(金) 信州大学工学部</p>		

2019年度事業計画・実施報告

組織名	関西支部	担当	津坂支部長
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <p>[1]支部会議やメールマガジンを活用し、支部再編に向けた意向調査を随時実施するとともに、支部へのインセンティブルールについて広く意見を収集する。</p> <p>[2] Society5.0 における STCE の役割明示とそのプロモーションのために、会員および市民向けの主催/共催講演会を開催するとともに、産学官連携行事にブースを出展し社会へ情報発信する。</p> <p>[3]支部協議会と連絡を密にし、整備されたDB にイベント情報が反映される仕組みを検討する。また、優れた若手会員に対し表彰を実施し、会員数の増加に取り組む。</p>			
2019年度事業計画	2019年度実施結果		
<p>●1～6月</p> <p>(1) 若手研究発表会 (1月)</p> <p>(2) 支部会議、特別講演会 (1月)</p> <p>(3) 支部長賞表彰 (1月)</p> <p>(4) 平成31年度第一回運営委員会 (4月)</p> <p>(5) 平成31年度第二回運営委員会 (6月)</p>	<p>●1～6月</p> <p>(1) 若手研究発表会実施(1/21)</p> <p>(2) 支部会議および特別講演会(大阪大学大須賀先生)実施(1/21)</p> <p>(3) 支部長賞表彰(1/21) 技術賞1件、奨励賞2件</p> <p>(4) 平成31年度第一回運営委員会実施(4/5)</p> <p>(5) 平成31年度第二回運営委員会実施(6/19)</p>		

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●7～12月</p> <p>7/7 募集終了</p> <p>7/22 募集終了</p> <p>8/21～22 KIT サマー・サイエンス・スクール「ロボットカーを制御しよう！」(共催)</p> <p>8/31～9/1 電気・情報関係学会北陸支部連合大会の主催</p> <p>8/31～9/1 北陸支部講演会(兼電気・情報関係学会北陸支部招待講演)の開催</p> <p>8/31 第3回運営委員会の開催</p> <p>9月 優秀論文発表賞の表彰</p> <p>9月 STCE AC 若手奨励賞の表彰</p> <p>11月 第3回北陸支部講演会の開催</p> <p>11/12 北陸先端科学技術大学院大学主催の産学官連携行事 (Matching HUB) に参加</p> <p>11/22 第4回北陸支部講演会の開催</p> <p>11月 第4回運営委員会の開催 (メール審議)</p> <p>12/6 第5回北陸支部講演会の開催</p> <p>12/7 日本生体医工学会北陸支部講演会 (共催)</p>	<p>●7～12月</p> <p>7/7 募集終了</p> <p>7/22 募集終了</p> <p>7/19 金沢大学にて開催され、参加者31名があり、西田健氏による講演「労働人口減少に向けた向かうための次世代産業用ロボットの開発」の発表件数1件で実施された。</p> <p>7/25～7/31 1件の議題について審議し可決された。</p> <p>7/28 福井大学にて参加者28名で実施された。</p> <p>8/21～22 金沢工業大学にて参加者26名で実施された。</p> <p>8/31～9/1 石川高等工業専門学校にて参加者352名、発表件数195件(特別講演1件、招待講演7件、一般講演187件)で実施された。</p> <p>8/31 石川高等工業専門学校にて参加者20名があり、内藤尚氏による講演「神経・筋骨格系をもつ2足歩行シミュレーションモデルとその応用」の発表件数1件で実施された。</p> <p>8/31 石川高等工業専門学校にて開催され、6名の運営委員が参加し、3議題について審議し可決された。</p> <p>9/25 規程に基づき、1名の学生を表彰した。</p> <p>9月 応募件数が0件のため、表彰はなかった。</p> <p>11/1 富山県立大学にて開催され、参加者40名があり、藤川智彦氏による講演「医療と福祉における工学」の発表件数1件で実施された。</p> <p>11/12 ANA クラウンプラザホテル金沢にて参加者1431名、発表件数263件で実施された。</p> <p>11/22 福井大学にて開催され、参加者39名があり、中川毅氏による講演「7万本の綿を教える-水月湖の年編から見た、気候変動の過去・現在・未来-」の発表件数1件で実施された。</p> <p>11/22～11/28 3件の議題について審議し可決された。</p> <p>12/6 富山県立大学にて開催され、参加者51名があり、金田豊氏による講演「音の信号処理」の発表件数1件で実施された。</p> <p>12/7 金沢工業大学にて参加者43名、発表件数13件で実施された。</p>

2019 年度事業計画・実施報告

組織名	中国支部	担当	平田支部長
2019 年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
支部再編を見越した、活性化と効率化のバランスを考慮した諸活動の推進			
<p>● 1～6 月</p> <p>1. 第 1 回運営委員会 1 月中旬, 岡山大学にて開催</p> <p>2. 支部会議 (総会) 1 月中旬, 岡山大学にて開催</p> <p>3. 拡大運営委員会 5 月中旬, 岡山大学にて開催</p>	<p>● 1～6 月</p> <p>1. 第 1 回運営委員会 1 月 25 日, 岡山大学にて開催</p> <p>2. 支部会議 (総会) 1 月 25, 岡山大学にて開催</p> <p>3. 拡大運営委員会 5 月 31 日, 岡山大学にて開催</p> <p>4. その他 1 月 25 日, 講演会を岡山大学にて開催 2 月 27 日, 共催講演会を岡山理科大学にて開催 4 月 2 日, 共催講演会を広島大学にて開催 5 月 30 日, 共催講演会を広島交流プラザにて開催 6 月 7 日, 共催講演会を岡山大学にて開催 6 月 13 日, 共催講演会を中国電力(株)にて開催</p>		

2019 年度事業計画	2019 年度実施結果
<p>● 7～12 月</p> <p>(6) 平成 31 年度第三回運営委員会 (8 月)</p> <p>(7) システム制御情報学会・計測自動制御学会 チュートリアル講座 (8 月)</p> <p>(8) 会員交流企画 (9 月)</p> <p>(9) 平成 31 年度第四回運営委員会 (10 月)</p> <p>(10) 支部長賞の募集と選考 (11～12 月)</p> <p>(11) 平成 30 年度第五回運営委員会 (12 月)</p>	<p>● 7～12 月</p> <p>(6) 平成 31 年度第三回運営委員会実施 (9/3)</p> <p>(7) 講習会 [MATLAB/Simulink と Arduino で学ぶ 制御システムのモデルベース開発] 実施 (8/8-9)</p> <p>(8) 大阪大学 大須賀・杉本研究室/石川・南研究 室/コマツみらい建機協働研究所 見学会実 施 [関西の大学から発信する計測自動制御の おもしろい研究] (9/17)</p> <p>(9) 平成 31 年度第四回運営委員会実施 (10/22)</p> <p>(10) 支部長賞の募集と選考 (奨励費 2 件、特別賞 1 件選定) (12/16)</p> <p>(11) 平成 31 年度第四回運営委員会実施 (12/16)</p>

2019年度事業計画・実施報告

組織名	四国支部	担当	宮田支部長
2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分			
<p>[1] 支部会議やメンバーリングリストを活用し、支部再編に向けた意向調査を随時実施するとともに、支部へのインセンティブルールについて広く意見を収集する。</p> <p>[2] Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、会員および市民向けの主催/共催講演会を開催するとともに、産学官連携行事にブースを出展し、社会へ情報発信する。</p> <p>[3] 支部協議会と連絡を密にし、整備されたDRにイベント情報が反映される仕組みを検討する。また、優れた若手会員に対し表彰を実施し、会員数の増加に取り組む。</p>			
<p>●1～6月</p> <p>1. 支部会議 1月中、愛媛大学にて開催 議題：支部再編に関して</p> <p>2. 第1回支部運営委員会 1月中、愛媛大学にて開催</p> <p>3. 第1回支部学術講演会実行委員会 5月中、メール会議</p> <p>4. 第1回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 5月中に開催</p>	<p>●1～6月</p> <p>1. 支部会議および2. 第1回支部運営委員会 3月30日(土)に愛媛大学工学部にて第1回四国支部運営委員会を実施した。2018年度の事業報告および会計報告が行われた。また、2019年度の事業計画、支部役員選出および予算案について説明が行われ、承認された。支部再編については、2018年12月1日(土)に愛媛大学で行われた拡大実行委員会での議論にもあつたように、再編後も四国地区内で別途の学術講演会を開催したいという考えが確認された。</p> <p>3. 第1回支部学術講演会実行委員会 5月に高知高専内にて、日程、FPF原案、会場設営案について議論した。また、ホームページ修正も行った。日程については、12月7日(土)を予定している。支部内での承認を得られれば、8月中に案内を開始する。</p> <p>4. 第1回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 第1回実行委員会が5月25日(土)に新居浜高専にて開催され、中山裕隆幹事が出席した。事務局は弓削商船、今年度大会の会場は新居浜高専である。SICE四国支部は広告依頼係を担当することとなった。また、分担金について確認され、昨年度と同様でSICEとして11万円の分担を依頼された。</p>		

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●7～12月</p> <p>1. 第2回運営委員会 (臨時) 9月中旬、必要に応じてメール会議</p> <p>2. 第3回運営委員会 11月下旬、岡山大学にて開催</p> <p>3. 学術講演会 11月下旬、岡山大学にて開催 → 11月23日に岡山大学にて開催予定</p> <p>4. チュートリアル講演会 12月、開催地未定 → 9月20日に近畿大学広島キャンパスにて開催予定</p>	<p>●7～12月</p> <p>1. 第2回運営委員会 (臨時) 審議が必要な議題が無いため開催せず</p> <p>2. チュートリアル講演会 9月20日、近畿大学広島キャンパスにて開催。講演2件、参加者20名。</p> <p>3. 第2回運営委員会 11月5日、メール会議として開催</p> <p>4. 学術講演会 11月23日、岡山大学にて開催。一般講演59件、ランチョンセミナー1件、参加人数約120名。</p> <p>5. その他 ● 8月8日、共催ワークショップを岡山大学にて開催 ● 11月28日、共催講演会を岡山大学にて開催 ● 12月6日、共催講演会を島根大学にて開催</p>

2019年度事業計画・実施報告

組織名	九州支部	担当	喜安支部長
<p>2019年度事業計画 (主な重点施策) 本組織担当分</p> <p>[1]支部会議を活用し、支部へのインセンティブルールについて広く意見を収集する。 [2]Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、会員および市民向けの主催/共催講演会を開催する。 [3]支部協議会と連絡を密にし、整備されたDBにイベント情報が反映される仕組みを検討する。 また、優れた若手会員に対する表彰方法を検討し、会員数の増加に取り組み。</p>			
2019年度事業計画	2019年度実施結果		
<p>●1～6月</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度九州支部第1回運営委員会 (新旧合同) 九州支部第49期支部顧問会議 (新旧合同) 九州支部第49期支部会議 支部奨励賞表彰 平成31年度九州支部第2回運営委員会 研究会 講演会 連携団体、組織、学会との協賛事業 	<p>●1～6月</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月26日 平成31年度九州支部第1回拡大運営委員会 (新旧合同) を実施し、今年度の活動計画を立案した。 a)SICE九州フォーラム b)九州支部学術講演会 特別講演会 学生発表交流会 1月26日 九州支部第49期支部会議を開催した。なお、支部奨励賞表彰は実施せず賞を郵送した。 6月8日に制御理論と応用に関する研究会を実施した。(講師：Godoy 先生(Boston Univ.), Celikovsky 先生(Czech Academy of Sciences)) 6月29日に平成31年度(令和元年度)九州支部第2回運営委員会を実施した。主な内容は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> a)会計報告、事業報告、第1回支部協議会報告、支部50周年記念事業。 b) ICT-ROBOT2019 開催について 支部学術講演会について 		

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<p>●7～12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 8月中、メール会議 第2回支部学術講演会実行委員会 9月中、メール会議 電気関係学会四国支部連合大会 (SICE 四国支部共催) 9月中旬に開催 支部学術講演会 12月中、高知工業高等専門学校にて開催 ※優秀な若手発表者に対し表彰を行う。 第2回支部運営委員会 12月中、高知工業高等専門学校にて開催 第3回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 11月中に開催 SMART2019大会(12月1日) 協賛金を支給 その他 	<p>●7～12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 8月7日(水)～8月15日(木)で、電気関係学会四国支部連合大会実施要領やプログラム(案)について審議された。 SICE 四国支部学術講演会の日程、CFP案についてメール会議(8月27日)。 SICE 四国支部学術講演会のCFPをアップ(10月2日)。 SICE 四国支部メール会議(11月5日)にて締切延長審議し、承認された。 プログラム委員会メール会議(11月14日)。 プログラム委員会メール連絡(11月15日)。 画像16件、計測18件、制御24件 高知工科大：5、高知高専：4 阿南高専：28、徳島大：11 愛媛大：2 芸術情報研：2、香川高専：1、香川大：5 計測自動制御学会四国支部学術講演会2019のお知らせ(11月20日)。 令和元年度電気関係学会四国支部連合大会が9月21日に新居浜高専で開催された。 計測自動制御学会四国支部学術講演会を12月7日に高知高専で開催。 12月7日に拡大実行委員会および第2回支部運営委員会を開催した。 第3回電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 が12月7日サンポートホール高松で実施。 SICE 四国支部メール会議にて四国移動型&自律型ロボットトーナメント (SMART) 2019への運営費支援を審議(10月9日)し、承認された。また、同メール会議にて、2020年度SICE-センシングフォーラム(高知工科大)への協力についても審議し、承認された。 12月1日に神山高専で開催された。SICE 四国支部は後援として協力。 SICE 四国支部メール会議にてLED 総合フォーラム2020 in 徳島(2月29日)共催を審議(11月8日)し、承認された。

2019年度事業計画	2019年度実施結果
<ul style="list-style-type: none"> ●7～12月 ・SICE九州フォーラム ・平成31年度九州支部第1回事業委員会 ・平成31年度九州支部第3回運営委員会 ・第38回九州支部学術講演会 (特別講演会と学生発表交流会を併設) ・国際会議 ICT-R080T2019 の韓国 ICROS との共催 (釜山) ・平成31年度九州支部第2回事業委員会 ・計測制御エンジニア資格試験 ・研究会 ・講演会 ・連携団体、組織、学会との協賛事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●7～12月 10月5日～6日、「真なるダイナミクスの波及による制御理論の躍進を目指すシンポジウム2019」を開催した。 (SICE 制御部門と、SICE九州支部鹿児島地区の共催) 10月20日、九州支部第3回運営委員会を実施した。 主な議題：活動報告、会計報告、事業報告、支部後援会について、来年度事業計画・予算について 10月31日、SICE九州フォーラム「モデリングと制御における学習と最適化理論と実践」を開催した。 講師：申 鉄龍 氏（上智大学）、矢入 健久 氏（東京大学）、河原 吉伸 氏（九州大学） 11月17日、計測制御エンジニア資格試験に協力・実施した。 11月30日、第38回計測自動制御学会九州支部学術講演会（宮崎大学）を開催した。 発表：56件、参加者：90名 11月30日、第1回事業委員会を開催した。 主な議題：来年度の事業計画について、表彰について 12月2日～12月12日、事業委員会（メール審議）を開催した 議題：学生交流発表会発表賞および支部奨励賞の受賞者、本部奨励賞への推薦者について 12月21日、制御理論と応用に関する研究会を開催した。 講師：井上正樹氏（慶應義塾大学）、虻原義雄氏（九州大学）

2. 2019年度に実施した個別事業実施報告（1～12月）

2019年度に実施した個別事業の詳細を、定款第4条に定められた本会の目的を達成するための事業ごとに分けて、以下に示します。（敬称略。開催場所・組織名などは一部省略。発表件数・参加者などは一部省略。）

1. 研究会、講演会及び教育・育成のための講習会等

実施 月日	行事・事業・会議（委員会）などの名称	開催場所	発表 件数	参加 者数
9/10	論文セミナー2019 @制御理論合宿 論文集委員会	広島市国際青年会館	1	20
10/31	論文セミナー2019 @産業応用部門大会	東京工業大学 西九号館 デジタル 多目的ルーム	1	50
12/14	SICE 論文塾ランチョンセミナー@SICE2019	サンポート高松	2	123
9/10 ～13	SICE Annual Conference 2019 (SICE 2019) Annual Conference (AC) 委員会	広島大学東千田未 来創生センター	403	666
1/28	SICE 安全のための 計測・制御・システムを考える会 第51回サロ ン	慶應義塾大学 日吉キャンパス	2	28
2/18	SICE 安全のための 計測・制御・システムを考える会 第52回サロ ン	慶應義塾大学 日吉キャンパス	1	20
3/15	SICE 安全のための 計測・制御・システムを考える会 第53回サロ ン	SICE 事務局	1	29
4/17	SICE 安全のための 計測・制御・システムを考える会 第54回サロ ン	慶應義塾大学 日吉キャンパス	1	19
5/28	SICE 安全のための 計測・制御・システムを考える会 第55回サロ ン	鉄道総合 技術研究所	1	18
6/4	SICE 安全のための 計測・制御・システムを考える会 第56回サロ ン	慶應義塾大学 日吉キャンパス	1	17
7/3	SICE 安全のための計測・制御・システムを考 える会 第57回サロ ン	慶應義塾大学 日吉キャンパス	1	24
7/18 ～19	SICE 安全のための計測・制御・システムを考 える会 見学会	太陽石油 住友化学	-	8
8/2	SICE 安全のための計測・制御・システムを考 える会 第58回サロ ン	慶應義塾大学 日吉キャンパス	1	17
9/3	SICE 安全のための計測・制御・システムを考 える会 第59回サロ ン	慶應義塾大学 日吉キャンパス	1	23
9/10	SICE 安全のための計測・制御・システムを考 える会 公開サロ ン(第60回)	広島大学 東千田キャンパス	3	22
10/1～2	SICE 安全のための計測・制御・システムを考 える会 見学会	福島第一 原子力発電所等	-	12
10/8	SICE 安全のための計測・制御・システムを考 える会 第61回サロ ン	慶應義塾大学 日吉キャンパス	1	17
11/5	SICE 安全のための計測・制御・システムを考 える会 第62回サロ ン	慶應義塾大学 日吉キャンパス	1	16
12/12	SICE 安全のための計測・制御・システムを考 える会 第63回サロ ン	慶應義塾大学 日吉キャンパス	1	16
12/13	SICE 安全のための計測・制御・システムを考 える会 有料講習会(第64回)	横浜国立大学	6	89
教育・認定委員会				
3/1～2	プロセス新塾2018 年度 第5回スクー リング	新日鐵住金 八幡製鉄所	-	54
6/7～8	プロセス新塾2019 年度 第1回スクー リング	慶應義塾大学	-	46
7/20 ～21	プロセス新塾2019 年度 第2回スクー リング	太陽石田四国事業所	-	45
10/5～6	プロセス新塾2019 年度 第3回スクー リング	京都大学	-	33

12/7～8	プロセス新塾2019 年度 第4回スクー リング	慶應大学	-	43
計測部門				
2/19	力学量計測部会行事 第109回 部会行事:力学量計測部会講演会・見学会	オリンパス技術歴 史館「瑞吉洞」	1	14
5/17	温度計測部会行事 第148回 温度計測部会見学会	IHI エアスペース 福岡事業所	-	11
6/7	パターン計測部会行事 第103回 パターン計測部会研	東京大学 工学部6号館 3階セミナール室AD	7	12
8/29 ～30	第36回 センシングフォーラム	慶應義塾大学 矢上キャンパス	73	134
11/8,9	第24回 パターン計測シンポジウム	高知県国民宿舎 桂浜荘	8	20
11/15	第149回 温度計測部会講演会	東洋大学	4	80
11/17	APMP2019 アジア太平洋力学量計測フォーラム	新潟市 朱鷺メッセ	73	140
制御部門				
3/6～9	第6回制御部門マルチシステム SICE International Symposium on Control Systems 2019	熊本大学	292	476
3/7～9	第6回 制御部門マルチシステムワークショップ 「機械学習・AIと制御の融合」	熊本大学	34	-
3/6	第6回 制御部門マルチシステム (フロントモデリング部会)	熊本大学	3	83
3/6～9	第6回 制御部門マルチシステム (フロントモデリング部会)	熊本大学	33	-
3/6～9	第6回 制御部門マルチシステム 第36回講演制御シ ンポジウム (学位授与制御技術調査研究会)	熊本大学	18	-
3/6～9	第6回 制御部門マルチシステム (データ科学とリン クした次世代の適心学習制御調査研究会)	熊本大学	16	-
3/6～9	第47回 制御理論マルチシステム (制御理論部会)	熊本大学	120	-
3/6～9	第6回 制御部門マルチシステム OS: 機械学習と調和する制御理論(1)-(2) (機械学習と調和する制御理論調査研究会)	熊本大学	11	-
3/8～9	第6回 制御部門マルチシステム OS: 真なるダイナミクスへの追従による次世代システム制 御理論の構築を目指して(1)-(4) (真なるダイナミクスへの追従による次世代システム制御 理論調査研究会)	熊本大学	20	-
3/8	第6回 制御部門マルチシステム チュートリアル: 機械学習を活用した制御システム開発 の最新動向 (フロントモデリング部会)	熊本大学	4	-
3/9	第6回 制御部門マルチシステム OS: 超スマート社会実現のためのシステム制御技術 (超 スマート社会実現のためのシステム制御調査研究会)	熊本大学	9	-
4/20	講演会: 次世代システム制御理論への挑戦 (真なるダイ ナミクスへの追従による次世代システム制御理論調査研 究会)	東京理科大学	7	106
5/16	第1回 DML Lecture: ベイズ統計(機械学習と調和する制 御理論調査研究会)	京都大学	1	22

5/31	第1回 DML Meeting (機械学習と調和する制御理論調査研究会)	東京都立産業技術高等専門学校	3	26
6/7	RACOT 研究会	北九州市立大学 小倉サテライトキャンパス	-	-
6/9~12	The 12th Asian Control Conference 08: Recent Advances on Control Technologies towards Realizing Society 5.0 (IoT 時代に向けたイベント・ベースト制御理論調査研究会) 超スマート社会実現のためのシステム制御技術調査研究会	北九州国際会議場	6	-
6/17	ワークショップ (IoT 時代に向けたイベント・ベースト制御理論調査研究会)	北海道大学	3	-
6/20	第2回 DML Lecture: ベイズ統計・補習 (機械学習と調和する制御理論調査研究会)	京都大学	1	11
7/5	第3回 DML Lecture: 強化学習勉強会 (機械学習と調和する制御理論調査研究会)	キャンパスプラザ 京都	2	25
7/17	学生向け講演会 (制御技術部会)	東京電機大学	1	-
7/22	キックオフミーティングおよび第1回講演会 (Cyber-Physical & Human Systems 調査研究会)	慶應義塾大学	2	50
9/6	第1回研究会: 機械学習によるプラントモデリングと最適制御の新展開 (プラントモデリング部会)	東京都市大学	3	120
9/9~10	制御理論合宿 2019 (制御理論部会)	広島市 国際青年会館	13	25
9/11	SICE Annual Conference 2019 08: New Developments of Adaptation and Learning Control (データ科学とリンクした次世代の適応学習制御理論調査研究会)	広島大学東千田未 来創生センター	7	-
9/11	SICE Annual Conference 2019 08: Guidance, Navigation, and Control of Vehicles and Aerospace - Theory and Applications- (航法誘導制御技術調査研究会)	広島大学東千田未 来創生センター	4	-
9/11	SICE Annual Conference 2019 08: Recent Advances on Event-Based Control for IoT Technologies (IoT 時代に向けたイベント・ベースト制御理論調査研究会)	広島大学東千田未 来創生センター	6	-
9/12	SICE Annual Conference 2019 08: Discussion of True Dynamics for Next Control Theory and Application: Side Application (Side A), Side Basic Theory (Side B) (真なるダイナミクスへの追求による次世代システム制御理論調査研究会)	広島大学東千田未 来創生センター	12	-
9/18~19	SICE セミナー: モデルベースト制御系設計 2019 (事業委員会)	東京理科大学	2	37
9/19	第4回 DML Lecture: 機械学習とシステム同定 (機械学習と調和する制御理論調査研究会)	京都大学 東京オフィス	1	17
9/21	第2回 DML Outreach: プログラミングと算数の世界にふれよう (機械学習と調和する制御理論調査研究会)	京都市立 葵小学校 理科室	-	-

10/5~6	真なるダイナミクスの追求によるシステム制御理論の躍進を目指すシンポジウム 2019 (真なるダイナミクスの追求による次世代システム制御理論調査研究会)	霧島国際ホテル	9	34
10/28	講演会 (Prof. Alessandro Giua): State Estimation of Partially Observed Discrete Event Systems	大阪大学	1	-
10/29	制御技術部会研究会: 制御技術の発展と伸張を目指して (制御技術部会)	東京電機大学	2	71
10/31	SICE 産業応用部門大会 08: 制御部門/国際標準化委員会/産業応用部門合同 08 企画	東京工業大学	7	-
11/9	第62回自動制御連合講演会 08: IoT 時代に向けた離散事象・ネットワークシステムの制御(1)-(4) (IoT 時代に向けたイベント・ベースト制御理論調査研究会)	札幌コンベンションセンター	17	-
11/9	第62回自動制御連合講演会 08: ロジックやモデルダイナミクスを隠し含む制御系の解析・設計 (制御理論部会, 真なるダイナミクスの追求による次世代システム制御理論調査研究会)	札幌コンベンションセンター	9	-
11/9	第62回自動制御連合講演会 08: 未来社会に向けた制御技術・制御理論 (制御理論部会, Cyber-Physical & Human Systems 調査研究会, 超スマート社会実現のためのシステム制御理論調査研究会)	札幌コンベンションセンター	8	-
11/8~10	第62回自動制御連合講演会 08: スマート・適応制御技術の理論と応用 (データ科学とリンクした次世代の適応学習制御理論調査研究会)	札幌コンベンションセンター	8	-
11/10	第62回自動制御連合講演会 08: 宇宙機・航空機への制御理論から応用 (航法誘導制御技術調査研究会)	札幌コンベンションセンター	9	-
11/10	第62回自動制御連合講演会 08: 機械学習と調和する制御理論 (機械学習と調和する制御理論調査研究会)	札幌コンベンションセンター	9	-
11/10	第62回自動制御連合講演会 ワークショップ: 制御理論の最新動向とその応用 (真なるダイナミクスの追求による次世代システム制御理論調査研究会)	札幌コンベンションセンター	5	-
11/10	第62回自動制御連合講演会 08: 確率システム制御理論のアプリケーションを目指して (真なるダイナミクスの追求による次世代システム制御理論調査研究会)	札幌コンベンションセンター	12	-
11/21	SICE セミナー: モデル予測制御~最適制御の基礎から応用事例・ソフトウェアツールまで~ (事業委員会)	新大阪丸ビル別館	1	58
11/28~29	見学会 (制御技術部会)	日本製鋼所 室蘭製作所	-	10
12/26	講演会 (データ科学とリンクした次世代の適応学習制御理論調査研究会)	統計数理研究所	2	101
12/5	NOLTA 2019 08: Recent Development of Nonlinear Control Theory and Its Application (真なるダイナミクスの追求による次世代システム制御理論調査研究会)	Ber.java Times Square Hotel グラ ラルホテル	6	-
12/10	IEEE CDC 2019 08: Systems and Control for Smart Society and Cyber-Physical and Human Systems (Cyber-Physical & Human Systems 調査研究会, 超スマート社会実現のためのシステム制御理論調査研究会)	Aeropolis Convention and Exhibition Center ニース	8	-
12/10~11	SICE セミナー: モデルベースト制御系設計~モデリングから制御系設計までを系統研究~ (事業委員会)	慶應義塾大学	2	56

12/26	第5回 DML Lecture：非線形制御（機械学習と調和する制御理論調査研究会）	NTT コミュニケーションズ 田町タワー パークタワー	1	24
システム・情報部門				
1/28～29	第31回 自律分散システムシンポジウム	国立民族博物館	51	94
3/6～7	第46回 知能システムシンポジウム	龍谷大学	39	79
3/9	第61回 システム工学部会研究会	防衛大学校	18	34
3/14～15	第65回 離散現象システム研究会	福井大学	3	61
3/14～15	第2回 分子ロボティクス年次大会	東京工業大学	66	100
3/16	スマーターワールド調査研究会第11回研究会	沖縄県青年会館	3	14
3/17～19	第18回 社会システム部会研究会	サザンビーチホテル&リゾート沖縄 同志社びわこリトリートセンター	45	69
5/25～26	スマーターワールド調査研究会第12回研究会	同志社びわこリトリートセンター	13	15
6/5	第65回 自律分散システム部会研究会	サテライトキャンパスひろしま リートビセンター	2	20
6/8～9	境界と関係性を視座とするシステムズアプローチ調査研究会第1回例会	同志社びわこリトリートセンター	14	16
6/29～30	第15回 コンピュータ・インテリジェンス研究会	慶應義塾大学	14	46
8/3	第13回 スマーターワールド調査研究会	電研大手町地区マホロバマインズ三浦	2	18
8/18～19	第20回 社会システム部会研究会	斜里町公民館 ゆめホール知味	48	57
8/30	第66回 離散現象システム研究会	東京大学生産技術研究所	7	9
8/31	BIOMOD 日本大会	東京大学生産技術研究所	5	46
8/31～9/2	第25回 創発システム・シンポジウム（創発夏の学校2019）	公立諏訪東京理科大学	5	31
11/2	第14回 スマーターワールド調査研究会	同志社大学	10	12
11/22	第65回 自律分散システム部会研究会	TKP 千葉駅東口ビジネスセンター	1	33
11/22	CI フォーラム	千葉大学	1	12
11/23～25	システム・情報部門学術講演会 SSI2019	千葉大学	277	386
12/20	第16回 CI 研究会	近畿大学	11	31
システムインテグレーション部門				
(2018)	第19回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会(SI2018)	大阪工業大学 梅田キャンパス	847	1365
12/13～15	2019 IEEE/SICE International Symposium on System Integration(SII2019)	Sorbonne University (Paris, France)	140	246
1/14～16	第14回 ロボット・セラピー部会 研究成果学生発表会(ロボット・セラピー部会)	拓殖大学文教キャンパス	4	14
2/23	福祉工学部会主催運営委員会(福祉工学部会)	鉄道弘済会瀬田器具サポートセンター	0	5

3/14～15	第13回 内部観測研究会 第32回 計測自動制御学会 SI 部門共創システム部会研究会(共創システム部会)	早稲田大学 西早稲田キャンパス	17	29
3/14～15	ロボティクスシンポジウム(部門共同主催)	宇奈月温泉 やまのほ 九州大学西新プラザ 九州大学伊都キャンパス	94	—
3/29～30	2019年 第1回 医工融合システム部会研究会(医工融合システム部会)	大学コンソーシアム京都 産業技術研究所 柏セクター	2	4
4/6	第49回 望遠鏡および観測装置会議(天体観測技術部会)	産業技術研究所 柏セクター	9	41
4/25	福祉工学部会 情報交換会・第2回(福祉工学部会)	産業技術研究所 柏セクター	4	7
6/6	2019年度 スワームシステム部会 第1回運営委員会(スワームシステム部会)	産業技術研究所 柏セクター	—	—
6/22	ロボット・セラピー部会 第1回研究会(ロボット・セラピー部会)	拓殖大学文教キャンパス	—	—
6/28	ソフトウェアリアル応用部会(ソフトウェアリアル応用部会)	山梨大学	—	—
7/27	第50回 望遠鏡および観測装置会議(天体観測技術部会)	大学コンソーシアム京都	12	41
7/29～8/2	RT ミドルウェアサマージャパン(RT システムインテグレーション部会)	産業技術総合研究所 つくばセンター 中央第一	7	19
9/3	講習会「高分子アクチュエータ入門 第3回：誘電エラストマータクチュエータ編 2019(ソフトウェアリアル応用部会)」	電気通信大学	3	44
9/4	RSJ 05 人工筋アクチュエータ・センサシステム(ソフトウェアリアル応用部会)	早稲田大学 早稲田キャンパス	5	30
9/4	RSJ 05 ロボットマニピュレーション(マニピュレーション部会)	早稲田大学 早稲田キャンパス	1	150
9/14	福祉工学部会運営委員会(福祉工学部会)	慶應義塾大学 日吉キャンパス	—	3
10/25	特別講演会「バーチャルリアリティと身体」(ロボティクス部会)	おりづるタワー	3	29
11/6	SICE Lunch Seminar (マカオ)	Venetian Macao	1	40
11/21	特別講演会「生物の構造と生体」(ロボティクス部会)	エンジニアリングカフェ福岡	2	16
11/29	第33回 共創システム部会研究会(共創システム部会)	関西学院大学大阪 梅田キャンパス	2	12
12/4	第34回 共創システム部会研究会(共創システム部会)	東京工業大学 都立産業技術高専 荒川キャンパス	2	19
12/7	レスキュー工学シンポジウム(レスキュー工学部会)	明治大学 駿河台キャンパス	2	81
12/8	マニピュレーション冬の学校(マニピュレーション部会)	駿河台キャンパス	5	88
12/11	触覚部会触覚若手の会第9回 集会招待講演(触覚部会)	高松シンボルタワー	3	13
12/12	ソフトウェアリアル応用部会 研究会/講演会(ソフトウェアリアル応用部会)	サンポート高松	1	41
12/12	SI2019 OS「触覚・力覚」キーノート講演(触覚部会)	サンポート高松	1	100
12/14	スワームシステム部会第2回運営委員会(スワームシステム部会)	サンポート高松	—	9
12/23	2019年度 自律分散システム員学会	デンソーウェーブ 本社	2	12

11/5	第326回 SICE 東北支部研究集会	会津大学	14	30
12/16	第327回 SICE 東北支部研究集会	東北大学	31	85
中部支部				
1/26	中部支部第50期支部会議・特別講演会	名古屋大学	1	23
3/18	第166回教育工学研究会	大同大学	13	21
4/9	第1回講演会 統合知能メカトロシステム研究委員会	岐阜大学	1	42
5/29	有料講習会「ROS入門」	信州大学 上田キャンパス	-	15
8/9	第2回 統合知能メカトロシステム研究委員会講演会	岐阜大学	1	30
9/12	第119回「電機計測制御技術」ワーキングセミナー	名古屋工業大学	1	77
9/13	第166回 教育工学研究会	大同大学	4	12
9/24	中部支部シンポジウム	信州大学	39	90
10/11	第120回「電機計測制御技術」ワーキングセミナー	名古屋工業大学	1	61
10/18	中部支部50周年記念講演会	名古屋工業大学	1	113
10/19	中部支部50周年記念チュートリアル	名古屋工業大学	3	55
11/26	講習会「機械学習」	豊橋技術科学大学	21	
11/30	第121回「電機計測制御技術」ワーキングセミナー	中部大学	7	96
12/16	信州地区計測制御研究会委員会	恵那研修センター 信州大学	2	53
北陸支部				
1/18	北陸支部講演会 「医療福祉ロボット開発における計測制御技術の役割」 講師：鈴木 亮一氏（金沢工業大学）	IT ビジネスプラザ 武蔵	1	15
3/2	平成30年度 北陸地区学生による研究発表会（共催）	富山高専専門学校	90	128
3/2	日本機械学会北陸信越支部 第56期 総会・講演会（共催）	富山大学	210	353
3/8	第1回 北陸支部講演会 「Pneumatic Continuum Manipulators- Modeling and Model-based Control」 講師：Oliver Sawodny氏（Stuttgart 大学）	金沢工業大学	1	34
7/19	第2回 北陸支部講演会 「労働人口減少に立ち向かうための次世代産業用ロボットの開発」講師：西田 健 氏（九州工業大学）	金沢大学	1	31
8/31 ～9/1	2019年度電気・情報関係学会北陸支部連合大会（主催）	石川工業 高等専門学校	195	352
8/31	2019年度電気・情報関係学会北陸支部連合大会招待講演・北陸支部講演会「神経・筋骨格系をもつ2足歩行シミュレーションモデルとその応用」 講師：内藤 尚 氏（金沢大学）	石川工業 高等専門学校	1	20
11/1	第3回 北陸支部講演会 「医療と福祉における工学」 講師：藤川 智彦 氏（大阪電気通信大学）	富山県立大学	1	40
11/22	第4回 北陸支部講演会 「7万本の樹を数える-水月湖の年輪から見た、気候変動の過去・現在・未来-」 講師：中川 毅 氏（立命館大学）	福井大学	1	39
11/12	Matching HUB Kanazawa 2019 Autumn（後援） 主催：北陸科学技術先端大学院大学（RAIST） 産学官連携総合推進センター	ANA クラウンプラザ ホテル金沢	263	1431
12/6	第5回 北陸支部講演会「音の信号処理」 講師：金田 豊 氏（東京電機大学）	富山県立大学	1	51
12/7	日本生体医工学学会北陸支部講演会（共催）	金沢工業大学	13	43

12/23	第2回 医工学融合システム部会研究会 （医工学融合システム部会）	千葉大学	2	4
産業応用部門				
2/13	勉強会 洋上LNGプラントの紹介（計測技術交流部会）	SICE 会議室	1	9
3/7	制御部門MCS2019での産業応用部門招待OS （計測・制御ネットワーク部会）	熊本大学	5	20
3/25	勉強会 いまさら聞けないAI（計測技術交流部会）	SICE 会議室	1	11
5/15	勉強会 OPA の最近動向（計測技術交流部会）	SICE 会議室	1	24
7/12	新たな価値創造WG （計測・制御ネットワーク部会）	村田機械東京支社	1	17
8/8	セキュリティメトリックジョブ	岡山大学	8	18
8/28	新たな価値創造WG （計測・制御ネットワーク部会）	SICE 会議室	1	15
9/4	よく知る会 医療機器開発における計測と制御 （計測技術交流部会）	東京医科歯科大学	1	14
9/4	新たな価値創造WG （計測・制御ネットワーク部会）	SICE 会議室	1	15
9/10	安全IF公開サロン「プロセス産業の次世代計装に相応しいアーキテクチャを考える」(計測・制御ネットワーク部会)	広島大学	4	30
9/11	SICE2019 JEMMA スポンサードプレナリー講演「Digital Industrial Automation Control Systems Towards Smart Society」 （計測・制御ネットワーク部会）	広島大学	1	100
9/12	SICE 2019 スペシャルセッション「International Symposium on Smart Manufacturing and Industrial Network 2019」 （計測・制御ネットワーク部会）	広島大学	2	30
9/12 ～13	SICE2019 計測・制御ネットワーク部会OS「Sustainable and Cooperative Data Exchange in Industrial Control Systems and Networks」(計測・制御ネットワーク部会)	広島大学	11	30
10/2	新たな価値創造WG （計測・制御ネットワーク部会）	SICE 会議室	1	14
10/31	産業応用部門大会 計測・制御ネットワークシンポジウム 流体計測制御シンポジウム	東京工業大学	20	53
11/20	新たな価値創造WG （計測・制御ネットワーク部会）	SICE 会議室	1	9
12/18	新たな価値創造WG （計測・制御ネットワーク部会）	SICE 会議室	1	20
ライフエンジニアリング部門				
8/23 ～25	ライフエンジニアリング部門シンポジウム2019 Keynote Lecture 4件、一般演題107件	Asia Hotel バンコク、タイ	107	132
北海道支部				
3/7～8	第51回計測自動制御学会北海道支部学術講演会 計測自動制御学会北海道支部主催特別講演会 講師：Amirhan Guba氏（インド工科大学バンバイ校）	北海道大学 北海道大学	31 1	65 30
東北支部				
2/22	第321回 SICE 東北支部研究集会	東北大学	6	9
2/22	SICE 東北支部特別講演会	東北大学	6	18
5/31	第322回 SICE 東北支部研究集会	岩手大学	6	22
6/28	第323回 SICE 東北支部研究集会	八戸工業大学	8	21
7/17	第324回 SICE 東北支部研究集会	秋田大学	8	20
10/18	第325回 SICE 東北支部研究集会	山形大学	5	9

関西支部		
1/21	システム制御情報学会若手研究発表会	大阪工業大学
中国支部		
1/25	特別開催	岡山大学
8/8	SICE 産業応用部計測・制御ネットワーク部会主催ワーキングショップ (共催)	岡山大学
11/23	中国支部学術講演会	岡山大学
11/28	情報処理学会中国支部主催講演会 (共催)	岡山大学
12/6	情報処理学会中国支部主催講習会 (共催)	島根大学
四国支部		
12/7	SICE 四国支部学術講演会 2019	高知工業高等専門学校
九州支部		
6/8	制御理論と応用に関する研究会	北九州市立大学 小倉サテライト キャンパス
10/31	SICE九州フォーラム	福岡天神NKビル
11/30	第38回 計測自動制御学会九州支部学術講演会	宮崎大学
12/21	制御理論と応用に関する研究会	アグロス福岡

2. 調査・研究及び資料収集

実施時期	書名、特集などの名称	記事・論文数など	総ページ数
会誌出版委員会			
会誌 (計測と制御)			
年間集計	発行回数: 12 回 総ページ数: 992 ページ 発行部数: 5,927 部/月	—	—
1 月	計測と制御 第 58 巻第 1 号 ミニ特集: 魚釣りに見る動態とダイナミクス 特別企画: 新たな自動車技術を創造する産学連携 コラボレーション	18	5,920
2 月	計測と制御 第 58 巻第 2 号 ミニ特集: ヘルスケア IoT センシングと健康リス クの予測と制御	15	6,000
3 月	計測と制御 第 58 巻第 3 号 特集: ダイナミクスと機械学習の融合に挑む	15	5,920
4 月	計測と制御 第 58 巻第 4 号 特集: 分子システムのデザインと制御へ分子ロボ ティクスにおける制御工学の役割へ	16	5,900
5 月	計測と制御 第 58 巻第 5 号 特集: 新たな時代を迎えた国際単位系 (SI) 一基 礎物理定数による基本単位の定義改定, さ らばキログラム原器—	17	5,900
6 月	計測と制御 第 58 巻第 6 号 特集: 行動変容—工学への期待・工学からの期待	16	5,880
7 月	計測と制御 第 58 巻第 7 号 特集: 医用画像の基礎と新展開	20	5,880
8 月	計測と制御 第 58 巻第 8 号 特集: Society 5.0 のためのシステム制御技術	17	5,900

9 月	計測と制御 第 58 巻第 9 号 特集: Society 5.0 のためのデータ解析と最適化	15	68	5,910
10 月	計測と制御 第 58 巻第 10 号 特集: ソフトロボット機構の発祥と展開	24	88	5,910
11 月	計測と制御 第 58 巻第 11 号 特集: 文化財の内部を探る計測技術	15	74	6,000
12 月	計測と制御 第 58 巻第 12 号 特集: 制御システムセキュリティの現状と対策に 関する課題	13	88	6,000
論文集委員会				
和文論文集 (計測自動制御学会論文集)				
年間集計	発行回数: 12 回 総ページ数: 846 ページ 総投稿論文数: 119 購読数: 859	—	—	—
1 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 1 特集: 第 18 回計測自動制御学会システムインテグ レーション部門講演会	特集号論文: 6 編 一般論文: 4 編	84	1,120
2 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 2	一般論文: 7 編 ジョイント・ペーパー: 1 編	62	1,120
3 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 3 特集: 第 5 回制御部門マルチシナシウム 論文特集号	特集号論文: 10 編 ジョイント・ペーパー: 1 編 一般論文: 1 編	98	1,120
4 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 4	一般論文: 10 編	86	1,120
5 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 5	一般論文: 7 編	62	1,120
6 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 6	一般論文: 4 編 ジョイント・ペーパー: 1 編	36	1,120
7 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 7	一般論文: 6 編	56	1,120
8 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 8	一般論文: 4 編 ジョイント・ペーパー: 1 編	34	1,110
9 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 9 特集: LE2018 シンポジウム特集号	特集号論文: 5 編 ジョイント・ペーパー: 1 編 一般論文: 2 編	66	1,110
10 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 10	一般論文: 8 編	78	1,110
11 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 11 特集: 第 24 回ロボティクスシンポジウム特集号	特集号論文: 12 編 一般論文: 2 編	120	1,110
12 月	計測自動制御学会論文集 Vol. 55 (2019), No. 12 英文論文集 (JOMSI)	一般論文: 7 編	64	1,110
年間集計	発行回数: 6 回 総ページ数: 248 ページ 総論文投稿数: 44 購読数: 327	—	—	—
1 月	SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration Vol. 12 (2019), No. 1	一般論文: 4 編	38	420
3 月	SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration Vol. 12 (2019), No. 2	一般論文: 3 編	28	420
5 月	SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration Vol. 12 (2019), No. 3	特集号論文: 7 編 一般論文: 1 編	66	420

7月	Special Issue on SICE Annual Conference 2018 SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration Vol. 12 (2019), No. 4 Special Issue on Fundamentals and Applications of Smart Sensing	特集号論文: 3 編 一般論文: 2 編	40	420
9月	SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration Vol. 12 (2019), No. 5	一般論文: 5 編	42	420
11月	SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration Vol. 12 (2019), No. 6	一般論文: 4 編	34	420
制御部門				
3月	計測と制御 Vol. 58, No. 3 特集「ダイナミクスと機械学習の融合に挑む」(機械学習と調和する制御理論 調査研究会)	10 件	56	—
8月	SICE「計測と制御」特集号「Society5.0 のためのシステム制御技術」	解説記事: 9 件	—	—
システムインテグレーション部門				
1月	SICE 論文集特集号「第 18 回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会 特集号」	6 件	84	—
12/10	第 58 巻第 12 号 (2019 年 12 月発行) 特集号「制御システムセキュリティの現状と対策に関する課題」	9	45	7000

3. 技術者の資格認定・付与

実施日	認定資格などの名称 合格者名など	開催場所	受験者合格者 数	数
教育・認定委員会				
4/22	計測制御エンジニア補認定 (プロセス新塾 2017 年度修了生の資格認定)	理事会	39	39
10/19	計測制御エンジニア (アカデミック) 試験	北海道大学	7	7
10/26	計測制御エンジニア (アカデミック) 試験	SICE 事務局	1	1
11/10	計測制御エンジニア (アカデミック) 試験	九州大学	5	5
11/28	計測制御エンジニア認定	理事会	13	13

4. 啓発・普及のための体験活動等

実施時期	行事・事業・会議 (委員会) など名称	開催場所	発表者参加者 数	数
事業委員会サード・サービス委員会				
6/24	横河電機株式会社 体験セミナー	横河電機(株) トレーニングセンター	—	—
10/25	アズビル株式会社 体験セミナー	アズビル株式会社	—	—
11/15	株式会社チノ 体験セミナー	株式会社チノ	—	7
11/30	産業応用セミナー	北海道大学	6	20
システムインテグレーション部門				
5/18	バスターン浅間台ロボット介在活動 (ロボット・セラピー部会)	特別介護老人ホーム バスターン浅間台	—	5
6/22	バスターン浅間台ロボット介在活動 (ロボット・セラピー部会)	特別介護老人ホーム バスターン浅間台	—	6

6/29	つくばチャレンジ 2019 実験走行	つくばエクスプレス 研究学園駅周辺	—	—
7/27	バスターン浅間台ロボット介在活動 (ロボット・セラピー部会)	特別介護老人ホーム バスターン浅間台	—	6
8/16~18	ロボカレッジジャパンオープン (レスキュー工学部会)	アオーレ長岡	—	—
9/1	バスターン浅間台ロボット介在活動 (ロボット・セラピー部会)	特別介護老人ホーム バスターン浅間台	—	4
9/6	RSP を活用したロボットサービスコンテスト (RT システムインテグレーション部会)	早稲田大学早稲田キ ャンパス	7	40
9/14	つくばチャレンジ 2019 実験走行	つくばエクスプレス 研究学園駅周辺	48 チーム	275
9/29	ロボット介在活動	特別介護老人ホーム バスターン浅間台	—	18
10/21	つくばチャレンジ 2019 実験走行	つくばエクスプレス 研究学園駅周辺	46 チーム	218
10/22	つくばチャレンジ 2019 実験走行	つくばエクスプレス 研究学園駅周辺	33 チーム	165
10/19	ロボット介在活動	特別介護老人ホーム バスターン浅間台	—	5
11/2	つくばチャレンジ 2019 実験走行	つくばエクスプレス 研究学園駅周辺	42	230
11/8	つくばチャレンジ 2019 実験走行	つくばエクスプレス 研究学園駅周辺	47	255
11/9	つくばチャレンジ 2019 実験走行	つくばエクスプレス 研究学園駅周辺	55	285
11/10	つくばチャレンジ 2019 本走行	つくばエクスプレス 研究学園駅周辺	60	350
11/9	ロボット介在活動	特別介護老人ホーム バスターン浅間台	—	4
12/14	RT ミドルウェアコンテスト (RT システムインテグレーション部会)	サンポート高松	11	70
ライフエンジニアリング部門				
8/7~8	部門主催: 第 16 回生体医学サマースクール テーマ: Biengineering Hackathon In 生体医学サマースクール	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス	—	38
北越支部				
7/28	福井大学公開講座「親子で学ぶ電波の不思議な世 界とラジオ工作」(協賛)	福井大学	—	28
8/21~22	KIT サマール・サイエンス・スクール 「ロボットカーを制御しよう！」	金沢工業大学	—	26

5. 表彰及びコンクール

実施時期	顕彰などの名称 受賞者名・受賞論文/受賞理由など	開催場所	賞品	副賞
2/19	【2018 年度学術奨励賞】 研究奨励賞・10 名: 「冗長計測特性に基づく回廊測域システムのキャ リブレーション」(株)富士通研究所・山尾創輔君 「前腕装着型薄型導電性繊維を用いた脈波取得による	東京工業大学キャン パス・イノベーション センター 国際会議室	賞状 賞品	なし
学会賞委員会				

<p>心拍推定手法の提案」慶應義塾大学・増山義輝君 「電力取引システムにおけるプリンシパル・エージェント間の最適動的設計」早稲田大学/JST CREST・和佐 泰明 「レトロフィット制御器の対称空間における補償構造と双対性」東京工業大学・御原帆平君 「脚の切断状況に応じた歩行運動を生成可能な6脚ロボットの自律分散制御」東北大学・宮澤 咲紀子 「油圧シヨベル掘削作業における感生フィードバック制御を目的としたストレス変動のむだ時間抽出」慶應義塾大学・奈良 莉紗 「自励振動を誘発する柔軟小型バルブ；電気不要の移動ロボットを指して」東京工業大学・宮本 悠二 「2 軸能動空気噴射ノズルを持つ索状体の浮上制御方法の提案」東北大学・安部 祐一 「小物体把持のための改質 MR 流体を用いるユニバーサルグリップの構築」九州工業大学・福岡 琢也 「DNA 反応拡散系によるゲル媒質中でのパターン形成」東北大学・安部 桂太 技術奨励賞・4名： 「磁気復元力生成により内部補償を実現するマグネット機構」東北大学・清水 杜織 「ヘキサロータ型全駆動 UAV の構造の性質を利用した最適制御」東京工業大学・田所 祐一 「高周波振動と非対称振動の複合出力による滑り方向・滑り速度の指示 第2報：非同期的振動の複合出力」東北大学・堀江 新 「中間周波磁界に対する神経刺激応答評価手法の開発」電力中央研究所・齋藤 淳史</p>	<p>広島大学東千田 未来創生センター (STCE AC会輪)</p>	<p>賞状 額</p>	<p>なし</p>
<p>9/12</p>	<p>【2019 年度学会賞】 功績賞・1名： (社)システムズイノベーションセンター 木村 英紀 論文賞・9 件 26 名： (連沼賞)</p>		

	<p>「Level Set Method-Based Identification of Locations and Shapes of Fuel Cell Defects」The Univ. of Tokyo・Hirovuki MIYOSHI The Univ. of Tokyo/JST PRESTO・Takaaki NARA Oita Univ.・Yuji GOTOH The Univ. of Kitakyushu・Masaaki IZUMI (武田賞) 「ビル内アトリウムの熱移動モデリングへのクーブマンモード分解の適用-II」 一大スケール流運動による移流」 京都大学・河野 洋平 薄 良彦君、引原 隆士 「ルベージング・サンプリングのもとでのシステム同定」 慶應義塾大学・川口 貴弘君、彦野 壮三朗君 京都大学・丸田 一郎 慶應義塾大学・足立 修一</p>		
	<p>「テンソルベーススプライン信号源分離による車両加速運動の低次元物理モデリング」 (株)豊田中央研究所・神保 智彦、日比野 良一 (友田賞) 「Can Graphical Interaction Increase Feelings of Conveying and Understanding in On-Line Group Discussion?」Doshisha Univ./ATR・Mitsuhiko KIMOTO ATR・Masahiro SHIOMI ATR/Osaka Univ.・Takamasa IIO Doshisha Univ.・Katsunori SHIMOMURA</p>		
	<p>「Projecting Households of Synthetic Population on Buildings Using Fundamental Geospatial Data」 Kansai Univ.・Takuya HARADA, Tadahiko MURATA 「雑ミリ波を利用した路面上の水と氷の判別方法」 大同大学・上田 浩次君 名古屋工業大学・富田 康史</p>		
	<p>「高効率・高出力な静電駆動型空中超音波振動子の開発」 東京大学・神垣 貴晶 二宮 悠基 篠田 祐之君</p>		

<p>11/7</p> <p>【SICE International Young Authors Award for IROS 2019】3名： [An Approach of Facilitated Investigation of Active Self-healing Tension Transmission System Oriented for Legged Robots] Shinsuke NKASHIMA 「Soft Polymer-Electrolyte-Fuel-Cell Tube Realizing Air-Hose-Free Thin McKibben Muscles」 Hiroyuki NABAE 「Reinforcement Learning Boat Autopilot: A Sample-efficient and Model Predictive Control based Approach」 Yunduan CUI</p>	<p>【他団体賞への推薦ほか】 1) 2018年度 油空圧機器技術振興財団顕彰論文推薦 以下の論文を推薦した 1. 油圧シヨベルのイベント駆動型トルク制御 (論文集 Vo.1.54 No.2 (2018年) 掲載) 2) 2019年度 FA財団論文賞推薦 以下の論文3件を推薦した 1. 物流管制問題の解決に適したカラベトリネットゾール (論文集 Vo.1.53 No.8 (2017) 掲載) 2. 粉体の高速搬送のための管式蠕動運動型コンベアー印刷機用トナーの搬送— (論文集 Vo.1.54 No.1 (2018) 掲載) 3. 薄型AEセンサとオートエンコーダの再構成誤差を用いた回転式真空ポンプの異常検知 (論文集 Vo.1.54 No.7 (2018) 掲載)</p>	<p>The Venetian Macao, Macau, China</p> <p>賞状 賞金</p>
<p>8/30</p>	<p>計測部門 計測部門論文賞 2名 Motofumi FUSHIMI, Takaaki NARA 「A Boundary-Value-Free Reconstruction Method for Magnetic Resonance Electrical Properties Tomography Based on the Neumann-Type Integral Formula over a Circular Region」 SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration 2017 Volume 10 Issue 6 Pages 571-578 Takefumi HIRAKI, Shogo FUKUSHIMA, Yoshihiro KAWAHARA, Takeshi NEMURA 「Physical Field: An Integrated Field with Physical Robots and Digital Images Using Projection-Based Localization and Control Method」 SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration 2018 Volume 11 Issue 4 Pages 302-311</p>	<p>賞状 賞金</p>

<p>技術賞・1件5名： 「最適運動支援制御システム(クラウドOP)における最適化モデリング技術の開発」 アズビル(株) 小柳 隆、鹿島亨君、村田 裕志君 古賀 圭君、鈴木 晃弘</p> <p>著述賞・2件18名： 「バッテリーマネジメント工学 電池の仕組みから状態推定まで」 足立 修一、廣田 幸嗣(編者)、押上 勝憲 島崎 厚志、丸田 一郎、三原 輝哉(著)</p> <p>「温度計測 基礎と応用」 計測自動制御学会 温度計測部会(編) 新井 優、井内 徹、池上 宏一、 榎原 研正、大重 貴彦、角谷 聡、 佐藤 弘康、清水 孝雄、杉浦 雅人、 浜田 登喜夫、安田 嘉秀、山田 善郎(共著)</p> <p>新製品開発賞・3社： 「YDC SONAR Version 7」 株式会社ワイ・ティ・シー 殿</p> <p>「savic-netTMG5 アドバンスドコントローラ」 アズビル株式会社 殿</p> <p>「微小液体流量計 形FTM」 アズビル株式会社 殿</p> <p>国際標準化賞・1件1名： 功績賞：横河電機(株)・大野 敏生</p>	<p>広島大学車千田未来 創生センター (SICE AC会場)</p> <p>賞状 バッ ジ</p>	<p>なし</p>
<p>9/12</p> <p>【2019年度フェロー称号授与】 フェロー称号・4名： 石澤 広明、倉爪 亮、阪口 健、谷川 民生</p> <p>【2019 SICE Annual Conference Award】 International Award・2名： 「Topological Controllability of Undirected Networks of Diffusively-Coupled Agents」 Seong-Ho KWON 「A Measurement System for Skill Evaluation of Laparoscopic Surgical Procedures」 Koki EBINA</p> <p>9/13</p> <p>Young Author's Award・1名： 「Unconstrained Monitoring of Pulse Pressure Waves from the Surface of the Subject's Back」 Akihisa MITO</p> <p>Poster Presentation Award・1名： 「Saliency Map Extraction in Human Crowd RGB Data」 Minh Tri NGUYEN</p>	<p>広島大学車千田未来 創生センター (SICE AC会場)</p> <p>賞状 賞 額</p>	<p>なし</p>

制御部門		賞金 (10 万 円)	表彰 状 盾	制御部門 表彰 状 盾
3/8	【制御部門・木村賞・1件】 嵯原義雄(京都大学) 「Analysis and synthesis of interconnected positive systems,」 IEEE Transactions on Automatic Control, 62(2), 2017.」	無	表彰 状 盾	熊本大学
/8	【制御部門・ハイオニア賞・1件】 石崎孝幸(東京工業大学) 「大規模ネットワーク系に対するモジュラ設計理論構築」	無	表彰 状 盾	熊本大学
3/8	【制御部門・ハイオニア技術賞・1件】 澤田賢治(電気通信大学) 「縮退運転システムおよび協調型ホワイトリストによる制御システムのセキュリティ技術開発」	無	表彰 状 盾	熊本大学
3/8	【制御部門・制御部門大会賞・2件】 鈴木孝之, 石井秀明(東京工業大学) 「新たなPageRank分散アルゴリズム: 指数収束性と性能検証」 ※第5回制御部門マルチンシオン賞で発表 伊吹 竜也, 畑中 健志(東京工業大学) 「離散時間系におけるPassivity Shortageに基づく3次元姿勢協調制御」 ※第5回制御部門マルチンシオン賞で発表	無	表彰 状 盾	熊本大学
3/8	【制御部門大会技術賞・2件】 松井健, 井上正樹, 足立修一(慶應義塾大学) 上野将樹, 豊嶋弘和, 堤優二郎(本田技術研究所) 「機械学習モデルに対する近似予測制御とその自動車エンジン制御への応用」 ※第5回制御部門マルチンシオン賞で発表 森安竜大, 上田松栄, 池田太郎, 永岡真, 神保智彦(豊田中央研究所) 松永章生, 中村俊洋(トヨタ自動車) 「機械学習によるディフェンシブルな吸排気系の実時間MPC設計」 ※第5回制御部門マルチンシオン賞で発表	無	表彰 状 盾	熊本大学
3/8	【制御部門研究奨励賞・5件】 山本一輝(京都大学) 笹原航平(東京工業大学) 新井久旺(東京大学) 山口雅弘(名古屋大学) 田所祐一(東京工業大学)	無	表彰 状 盾	熊本大学
3/8	【制御部門研究奨励賞学生・ポスターセッション優秀発表賞・3件】 横田修太(明治大学) 池田啓明(広島大学) 岸田貴光(電気通信大学)	無	表彰 状	熊本大学
3/8	【制御部門研究奨励賞 企業技術ポスターセッション優秀発表賞・1件】 中本剛(IHI)	無	表彰 状 盾	熊本大学
3/8	【制御部門特別表彰・10件】 マルチンシオン実行委員長	無	表彰 状 盾	熊本大学

マルチンシオンポジウム副委員長 マルチンシオン実行委員		表彰 状	制御部門 表彰 状
11/25	水本朝明(熊本大学), 松永信智(熊本大学) 大野勝敏(九州工業大学), 伊藤博(九州工業大学) 桜間一徳(京都大学), 國松 稔明(熊本大学) 岡島 真(熊本大学), 金子 修(電気通信大学) 高橋 将徳(東海大学) 道野 隆二(熊本産技センター)	表彰 状	千葉大学
11/25	【部門賞・3件】 本間 結康(東北大学) 柳原 一紀(富山県立大学) 残間 忠重(千葉大学)	表彰 状	千葉大学
11/25	【SSI 最優秀論文賞・1件】 鎌田 真, 市村 匠(県立広島大学) SUNET2018 コンクリート構造物画像データセットを用いた心の状態検出構造適応型学習システム」	表彰 状	千葉大学
11/25	【SSI 優秀論文賞・5件】 小中 英嗣(名城大学) World Rugby Rankingsと試合間隔に基づくラグビーワールドカップ2019展望」 村田 勇樹, 藤井 海斗, 稲垣 伸吉(名古屋大学) 「接地点追従型6脚移動ロボットにおけるTimekeeper制御の改善」 小林 彦隼, 小野 功(東京工業大学) 「粒子フィルタと自然進化戦略による非線形状態空間モデルの状態とパラメータの逐次推定」 北島 瑛貴, 村田 暁紀, 上野 史, 高玉 圭樹(電気通信大学 大学院) 「多次元意見共有エージェントネットワークモデルにおける複数の環境情報発信源を考慮した顕微鏡伝播防止アルゴリズム」 弓木 翔太, 薄 良彦1, 榎木 詔, 川島 明彦2, 太田 豊3, 石亀 篤司1, 稲垣 伸吉2, 鈴木 達也2(1大阪府立大学, 2名古屋大学, 3東京都市大学) 「車載蓄電池群による配電電圧を考慮した自律分散型周波数制御の提案とその数値的検証」	表彰 状	千葉大学
11/25	【SSI 最優秀発表賞・1件】 我妻 伸彦(東邦大学) 「Border-Ownership を統合する神経細胞の集団応答に基づく Saliency Map モデル」	表彰 状	千葉大学
11/25	【SSI 優秀発表賞・6件】 岸川 大航, 荒井 幸代(千葉大学) 「搭乗者の快適性を考慮した自動走行の実現～深層逆強化学習によるアプローチ～」 阪田 恒慶1, 藤田 真太郎1, 澤田 賢治1, 新誠一1, 前田 一平2, 細川 嵩2(1 電気通信大学, 2 制御セキュリティサイエンスセンター)	表彰 状	千葉大学

12/13	「視覚解析装置を用いた歩行リハビリテーション理学療法士の視線特徴の抽出」(ST2018にて発表) ・呉 家旭 (東京大学) 「BiRNNを用いたアテンションモデルによる歩行者軌道予測」(第24回ロボティクスシンポジウムにて発表) ST部門貢献賞 ・野田 哲男 (大阪工業大学) 「ST2018 実行委員長として貢献」 ・原田 研介 (大阪大学) 「ST2018 プログラム委員長として貢献」 ・Raja Chatila (Institut des Systemes Intelligents et de Robotique, France) 「SI2019 実行委員長として貢献」 ・Eiichi Yoshida (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Japan) 「SI2019 副実行委員長として貢献」 ・Noriaki Ando (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Japan) 「SI2019 プログラム委員長として貢献」 ・小柳 健一 (富山県立大学) 「第24回ロボティクスシンポジウム実行委員長として貢献」 ・渡辺 哲陽 (金沢大学) 「第24回ロボティクスシンポジウムプログラム委員長として貢献」	サンポート高松 (ST2019会場)	賞状	無
産業応用部門				
10/31	産業応用部門 功績賞 新誠一 (電気通信大学)	東京工業大学	表彰状	賞金 2万円
10/31	流体計測制御シンポジウムベス卜プレゼンテーション賞 横田 航也 (東京電機大学)	東京工業大学	表彰状	賞金 1万円
8/24	ライフエンジニアリング部門学生奨励賞：LE2019での優れた研究発表(により) 2名	Asia Hotel, バンコク, タイ	表彰状	図書カード5千円 ×2
中部支部				
1/26	【第49期 支部賞 奨励賞・4件】 有泉亮(名古屋大学) 「応答曲面法を応用したロボティクスにおけるデータ駆動最適化」 鈴木拓央(愛知県立大学) 「生活状態推定技術を応用した服薬管理支援システムに関する研究」 福田智弘(名古屋工業大学) 「閉空間下触診システムのための感覚情報提示技術の構築」	名古屋大学 名古屋大学	賞状	商品券2万円

3月 (各機関の卒業式)	宮田喜久子(名古屋大学) 「実用機械の高度な要求仕様を満たす新しい熱制御デバイスに関する研究」 【第50期 支部賞 学業優秀賞・18件】 五十嵐響(愛知県立大学 情報科学部情報科学科) 有坂承(岐阜工業高等専門学校 電子制御工学科) 野田直樹(岐阜大学 工学部機械工学科知能機械コース) 鈴木雄太(神岡理工科大学 理工学部電気電子工学科) 三橋朋也(信州大学 工学部機械システム工学科) 清水皓太郎(信州大学 繊維学部機械・ロボット工学系 機能機械学課程) 田村和樹(信州大学 繊維学部 機械・ロボット工学系 バイオエンジニアリング課程) 藤谷雄紀(鈴鹿工業高等専門学校 電子情報工学科) 加子端諭(豊田工業高等専門学校 機械工学科) 水越祐希(豊田工業大学 工学部先端工学基礎学系) 杉野達哉(豊橋技術科学大学 工学部機械工学科) 奥田謙(名古屋大学 工学部機械・航空工学科機械システム工学コース) 角谷廣一朗(名古屋大学 工学部機械・航空工学科電子機械工学コース) 柴田隆次(名古屋大学 工学部機械・航空工学科航空宇宙工学コース) 戸谷美風(名古屋工業大学 電気電子工学科) 森敷大生(三重大学 工学部機械工学科) 西井勇輝(三重大学 工学部電気電子工学科) 秋吉奈々(名城大学 理工学部メカトロニクス工学科)	各大学・高専	賞状	図書券5千円
3/18	【第165回教育工学研究会 学生優秀発表賞・1件】 小田中秋人(豊田工業高等専門学校) 「IoT 技術を用いた在庫管理システムの開発」	大同大学	賞状	図書券6千円
9/13	【第166回教育工学研究会学生優秀発表賞・1件】 近藤稔真(鈴鹿工業高等専門学校) 「STEM 教育のための柔軟な電子工作ツールの開発」	大同大学	賞状	図書カード6千円
9/24	【中部支部シンポジウム研究奨励賞・6件】	信州大学	賞状	図書カード5千円
10/18	【第50期 支部賞 功労賞・9件】 浅野勝宏(名古屋工業大学) 井口政雄(MI エアロスペースシステムズ株式会社) 柳阿裕之(名古屋工業大学) 川崎晴久(岐阜大学) 斉藤文則(シンフォニアテクノロジーズ株式会社) 寺嶋一彦(豊橋技術科学大学) 早川義一(愛知工業大学) 古橋武(名古屋大学)	名古屋工業大学	賞状	図書カード1万円

中国支部			
実施月日	行事・事業・会議（委員会）などの名称	開催場所	参加者数
11/23	【中国支部優秀賞・3件】 福田有輝也(宇部高専), 森山大樹(山口大学), 小岩井一茂(コベルコ建機) 【中国支部奨励賞・7件】 白井 雄一郎(高根大学), 佐倉 康(山口大学) 松本 洸太(近畿大学), 松崎 久志(岡山大学) 高橋 球尔(宇部高専), 石橋 佳奈(山口大学) 櫻井 麻稀(岡山県立大学)	郵送	賞状 1万円, 奨励賞5千円
九州支部			
1/26	【九州支部長賞奨励賞・2名】 日高 賢大, 福井 善朗 【学生発表交流会優秀発表賞・4名】 山本 弘朗(宮崎大学), 吉弘 幸幸(佐賀大学) 金澤 波音(宮崎大学), 水口 健史(宮崎大学)	郵送	表彰状・盾 3万円
11/30	【学生発表交流会優秀発表賞・4名】 山本 弘朗(宮崎大学), 吉弘 幸幸(佐賀大学) 金澤 波音(宮崎大学), 水口 健史(宮崎大学)	宮崎大学	賞状 5千円

6. その他本会の目的を達成するための事業

実施月日	行事・事業・会議（委員会）などの名称	開催場所	発表件数	参加者数
企画委員会				
9/9~9/10	拡大理事ワークショップ	JMSアステールプラザ (9日) 広島大学 東千田キャンパスS棟 (10日)	3	39
学会賞委員会				
6/28	【油空田機器技術展調田 論文顕彰】 ※会長より代行表彰 小岩井一茂, 濱水隆也, 山本透(広島大学) 南條孝夫, 山崎洋一郎(コベルコ建機) 「油空田ショベルのイベント駆動型トルク制御」	SICE 事務局	—	—
事業委員会				
8/7~8	令和元年度 スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会 SICE-ISCE プース	神戸国際展示場	—	300
8/10	女子中高生夏の学校 (夏学) 2019 SICE-ISCE プース	国立女性教育会館	—	101
11/27~29	IIPES 2019 SICE セミナー IoT・AI が拓く制御・制御・システムの未来	東京ビッグサイト	3	83
11/9	ISCE-SICE 連携 ステアリング会議、会長副会長懇談会	北海道 コンベンションセンター	—	11

水野直樹 (名古屋工業大学)				
北陸支部				
3/1	【北陸支部優秀学生賞・14件】 黒田衛(金沢工業大学) 小原秀介(福井大学) 小林聖弥(北陸先端科学技術大学院大学) 近藤真吾(金沢大学) 杉本涼輔(富山大学) 津田真理子(富山県立大学) 天谷伸成(金沢大学) 林拓輝(福井工業大学) 林真美(富山県立大学) 平井虎太郎(富山高等専門学校) 古田智信(金沢工業大学) 本多亮也(石川工業高等専門学校) 宮本崇(福井大学) 山口剛典(福井工業高等専門学校)	各所属機関にて表彰	賞状 図書カード5千円	
9/25	2019年計測自動制御学会北陸支部優秀論文発表賞(1件) 天谷伸成(金沢大学) 「早戻り機構に基づく高速位置決めロボットグリッドの開発」	石川工業高等専門学校	賞状	図書カード5千円
9月	2019年計測自動制御学会北陸支部 SICE Annual Conference 若手奨励賞受賞者なし	広島大学 東千田キャンパス	賞状	現金2万円
関西支部				
1/21	【関西支部長賞技術賞・1件】 山上啓生(京都大学) 「自律制御ロボット型ロボットの開発と河川流運計測の読み」 【関西支部長賞奨励賞・2件】 平松尚人(大阪府立大学) 「クープマンモード分解を用いたデータに基づく部屋内温度勾配の推定」 泉祐介(神户大学) 「基地間の移動時間にバラツキがあるネットワーク構造をもつウェアリングシステムの安定性に関する検討」	大阪工業大学	賞状	7万円

11/9	日本学術会議 多分野応用小委員会	北海道 コンベンションセンター	23
8/30	男女共同参画学協会連絡会 (第17期)第3回 運営委員会	東京都 駒場キャンパス	
12/9	男女共同参画学協会連絡会 (第18期)第1回 運営委員会	明治大学 リハビリタワー	
計測部門			
6/13~14	第36回 有機微量分析合同シンポジウム (有機微量分析研究懇談会との共催)	京都大学	42 120
7/29~8/1	第22回 画像の認識・理解シンポジウム (MRI2019)パターンの計測部会協賛	グランキューブ大阪 大阪府立国際会議場	1053
9/13	センサエクスポジティブ 2019 SICE 計測部門セミナー 「インフラセンシングの新たな展開」	東京ビッグサイト	—
10/18	第111回部会行事: 計量史をさぐる会 2019 (共催)	近江度量衡 (株)	4 40
12/5~6	パターン計測部会共同企画・ビジョン技術の契機 用ワークショップ V1EW 2019	パンフオコ機兵2F アネックスホール	約 100 約 500
システムインテグレーション部門			
3/19~20	日本バーチャルリアリティ学会 ハプティクス研究会 第22回研究会(触覚部会)	電気通信大学	—
6/5	ROBOMECH 2019 チュートリアル R T ミドルウェア講習会 (RT システムインテグレーション部会)	広島国際会議場	5 12
7/5	日本生物環境工学学会西日本支部シンポジウム (パ イオシステム部会)	大阪府立大学	4 46
7/18~20	ロボカップレスキュエー実機リーグキャンプ (レス キュー工学部会)	ながさか新産業創造 センターおよび NabcBASE	—
8/10・11	第19回 レスキューロボットコンテスト	神戸サンポートホール	14 6542
8/25~28	International Conference on Active Polymer Materials and Soft Robotics	西安交通大学	—
9/25~27	第27回 インタラクティブシステムとソフトウェア アに関するワークショップ (WISS 2019)	ロイヤルホテル長野	—
10/30	触覚講習会「触覚技術の基礎と応用」	キャンパスプラザ 京都	—
11/23	第51回 望遠鏡および顕微鏡設置会議	大学コンソーシアム 京都	11 39
11/25・26	日本バーチャルリアリティ学会 ハプティクス研究会 第23回研究会	神戸大学	—
11/27~29	Workshop on Touch Panels and Input Technologies, The 26th International Display Workshop	札幌 コンベンションセンター	—
12/14	SICE 論文熟読セッション (SICE 論文委員会)	サンポート高松	—
12/14~15	第3回 触覚サミット	ことひら温泉参閣	—
12/14	2019チュートリアル RT ミドルウェア講習会	高松シンボルタワー	2 11
産学応用部門			
2/15	制御システムセキュリティカンファレンス 2019 (後援)	浅草橋	7 350
2/15	制御システムセキュリティカンファレンス 2019 (後援)	浅草橋	7 350

ライフエンジニアリング部門			
3/4~6	電子情報通信学会 MBE 研究会・NC 研究会	電気通信大学	77
4/13	電気学会 光・量子デバイス研究会 医療工学応用一般	電気通信大学	11
6/29	日本電気生理想運動学会	中京大学	7
12/5~6	u-healthcare2019 (ユビキタスヘルスケア部会)	Kookmin University	19
北海道支部			
3/2	複雑系マイクロシミュレーション(共催)	北見経済センター	26 44
3/7	北海道ロボット技術研究専門委員会主催 特別講演会(共催) 講師: 徳尾 和宏 氏 (新日鉄住金ソリューションズ株式会社)	北海道大学	1 30
8/8~9	大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術講 演会	北海道大学	8 135
8/9	日本ロボット学会北海道ロボット技術研究専門委 員会 講演会	北海道大学	2 25
9/28	第3回 北海道ドローン選手権 (共催)	旭川市農業センター	4 37
9/29	第19回 ロボット・トライアスロン (協賛)	北海道科学大学	34 98
10/19	計測制御エンジニアセミナー	室蘭工業大学	2 15
10/19	計測制御エンジニア秋祭	室蘭工業大学	— 6
11/30	SICE 産学応用セミナー	北海道大学	— 8
中部支部			
2/15	日本設計工学学会東海支部 第87回見学会	大同ブレンベアリ ング株式会社	— 13
5/17	名古屋大学協力会 工学系講演会	名古屋大学	1 58
5/24	精密工学学会東海支部 見学会・特別講演会	株式会社酒井製作所	1 19
5/17	名古屋大学協力会 工学系講演会 (協賛)	名古屋大学	1 58
5/24	精密工学学会東海支部 見学会・特別講演会 (協賛)	株式会社酒井製作所	1 19
7/16	日本機械学会東海支部 第140回講習会 (協賛)	名古屋大学	3 65
8/22, 8/29	日本設計工学学会東海支部 幾何公差講習会 (協賛)	名城大学	— 15
8/30, 9/2, 9/12-13, 9/17, 9/24, 9/26-27	精密工学学会東海支部 「ものづくり実習講座シリーズ」全8講座 (協賛)	株式会社青山製作所 豊田工業大学 名古屋大学 愛知工業大学 名古屋工業大学	— 65
10/8	日本機械学会東海支部 第141回講習会 (協賛)	名城大学	3 53
10/29~30	日本機械学会東海支部 第8回機械工学基礎講座 (協賛)	名古屋中小企業振 興会館	— 35
10/31	精密工学学会東海支部 見学会・特別講演会 (協賛)	村田機械株式会社	1 17
11/22	日本設計工学学会東海支部/第88回 見学会 (協賛)	株式会社フジカイ	1 21
12/3~4	化学工学学会東海支部 第58回 化学工学の進歩講習会 (協賛)	名古屋工業研究所	12 95
12/5	日本機械学会東海支部 第142回講習会 (協賛)	名古屋大学	4 42
関西支部			
1/21	第54回 支部会議および特別講演会 (大阪大学大須賀教授)	大阪工業大学	—
中国支部			
2/27	電子情報通信学会中国支部主催講演会(共催)	岡山理科大学	1 13
4/2	電気学会中国支部主催講演会(共催)	広島大学	1 33
5/30	情報処理学会中国支部主催講演会(共催)	広島交流プラザ	1 26
6/7	電子情報通信学会中国支部主催講演会(共催)	岡山大学	1 32
6/13	電気学会中国支部主催講習会(共催)	中国電力	9 32

四国支部			
5/25	第1回 電気関係学会四国支部連合大会実行委員会	新居浜高専	—
8/7~8/15	第2回 電気関係学会四国支部連合大会実行委員会	メール会議	—
9/21	令和元年度電気関係学会四国支部連合大会(共催)	新居浜高専	234
12/7	第3回 電気関係学会四国支部連合大会実行委員会	サンポートホール香川	—

7. その他、運営委員会など

実施時期	行事・事業・会議（・委員会）など名称	開催場所	開催数	参加人数
総務委員会				
3/1	第1回 総務委員会	SICE 事務局	13	7
4/22	第2回 総務委員会	SICE 事務局	18	7
5/28	第3回 総務委員会	SICE 事務局	13	7
6/28	第4回 総務委員会	SICE 事務局	12	7
8/22	第5回 総務委員会	SICE 事務局	11	9
11/28	第6回 総務委員会	SICE 事務局	20	9
12/24	第7回 総務委員会	SICE 事務局	16	9
財務委員会				
5/8	第1回 財務委員会	SICE 事務局	9	9
8/22	第2回 財務委員会	SICE 事務局	8	8
12/3	2020年度予算策定会議	SICE 事務局	1	7
企画委員会				
1/8	第4回 企画委員会 (2018年度)	SICE 事務局	4	9
4/8	第1回 企画委員会	SICE 事務局	5	9
5/28	第2回 企画委員会	SICE 事務局	11	7
7/31	第3回 企画委員会	SICE 事務局	13	9
10/9	第4回 企画委員会	SICE 事務局	6	8
学芸賞委員会				
1/11	第4回 学芸賞委員会(2018年度)	SICE 事務局	7	11
4/2	第1回 学芸賞委員会	SICE 事務局	7	14
5/30	第2回 学芸賞委員会	SICE 事務局	7	18
6/3	2019年度 フェロー選考委員会	SICE 事務局	6	7
6/3	2019年度 功績賞選考委員会	SICE 事務局	5	9
6/4	2019年度 FA 財団論文賞選考委員会	近畿大学 東京センター	—	—
9/13	SICE 2019 Annual Conference Award 選考委員会	広島大学東千田 未来創生センター (SICE AC会場)	—	11
11/11	第3回 学芸賞委員会	SICE 事務局	8	14
12/2	2019年度 名誉学芸賞選考委員会	SICE 事務局	5	7
12/18	第4回 学芸賞委員会	エッセム神田ホール 2号館	7	9
会誌出版委員会				
1/16	第6回 会誌出版委員会(2018年度)	SICE 会議室	10	16
3/15	第1回 会誌出版委員会	SICE 会議室	10	17
5/29	第2回 会誌出版委員会	SICE 会議室	8	22
6/19	特別会誌出版委員会	早稲田大学	4	18
7/29	第3回 会誌出版委員会	SICE 会議室	7	14
9/30	第4回 会誌出版委員会	SICE 会議室	7	15
11/14	第5回 会誌出版委員会	SICE 会議室	7	16

2/4	2018年度 第3回 論文集委員会	SICE 事務局	18	13
3/18	2019年度 第1回 論文集委員会	SICE 事務局	13	16
7/17	2019年 臨時論文集委員会	大阪大学大学院工学 研究科オープンイノ ベーションオフィス	5	14
9/11	2019年度 第2回 論文集委員会	広島大学東 千田キャンパス	13	17
9/11	2019年度 第1回 (和) 論文集編集委員会	広島大学 東千田キャンパス	6	16
9/11	2019年度 第1回 (英) 論文集編集委員会	広島大学 東千田キャンパス	4	16
Annual Conference (AC) 委員会				
3/28	第1回 Annual Conference 委員会	SICE 事務局	8	9
6/6	第2回 Annual Conference 委員会	SICE 事務局	6	9
7/25	第3回 Annual Conference 委員会	SICE 事務局	7	9
9/11	第4回 Annual Conference 委員会 (2019年度拡大Annual Conference 委員会)	広島大学	6	21
11/19	第5回 Annual Conference 委員会	SICE 事務局	7	12
国際委員会				
3/28	第1回 国際委員会	SICE 事務局	12	10
5/30	第2回 国際委員会	エッセム神田ホール	8	10
8/1	第3回 国際委員会	SICE 事務局	10	8
11/19	第4回 国際委員会	SICE 事務局	8	12
1/22	第5回 国際委員会	SICE 事務局	10	7
国際標準化委員会				
1/8	第5回 国際標準化委員会(2018年度)	SICE 事務局	7	7
4/8	第1回 国際標準化委員会	SICE 事務局	5	10
5/27	第2回 国際標準化委員会	SICE 事務局	8	11
7/30	第3回 国際標準化委員会	SICE 事務局	9	8
10/8	第4回 国際標準化委員会	SICE 事務局	9	8
事業委員会サービスクomitee				
4/9	第1回 事業委員会サービスクomitee	SICE 事務局	12	16
6/14	第2回 事業委員会サービスクomitee	SICE 事務局	12	11
7/3	SICE 安全のための計測・制御・システムを考える 会 第60回タスクフォース会合	慶應義塾大学 日吉キャンパス	—	12
8/2	SICE 安全のための計測・制御・システムを考える 会 第61回タスクフォース会合	慶應義塾大学 日吉キャンパス	—	14
8/20	SICE 安全のための計測・制御・システムを考える 会 第62回タスクフォース会合	SICE 事務局	12	8
9/3	SICE 安全のための計測・制御・システムを考える 会 第63回タスクフォース会合	慶應義塾大学 日吉キャンパス	—	13
10/8	SICE 安全のための計測・制御・システムを考える 会 第64回タスクフォース会合	慶應義塾大学 日吉キャンパス	—	11
11/5	SICE 安全のための計測・制御・システムを考える 会 第65回タスクフォース会合	慶應義塾大学 日吉キャンパス	—	9
12/12	SICE 安全のための計測・制御・システムを考える 会 第66回タスクフォース会合	慶應義塾大学 日吉キャンパス	—	9
12/17	第4回 事業委員会サービスクomitee	SICE 事務局	12	12
教育・認定委員会				
2/13	第6回 人材育成塾・プロセス新塾 WG	SICE 会議室	—	6
4/24	第1回 人材育成塾・プロセス新塾 WG	SICE 会議室	—	6
4/24	第1回 SICE 試験認定 WG	SICE 会議室	—	6

8/2	第2回 人材育成塾・プロセス新塾 WG	SICE 会議室	-	9
10/23	第3回 人材育成塾・プロセス新塾 WG	SICE 会議室	-	8
部門協議会				
2/4~8	第1回 部門協議会	メール審議	5	22
4/1	第2回 部門協議会	SICE 事務所	5	12
6/13	第3回 部門協議会	SICE 事務所	5	15
8/21~28	第4回 部門協議会	メール審議	5	17
11/5	第5回 部門協議会	SICE 事務所	5	13
12/4~11	第6回 部門協議会	メール審議	5	17
1/10	第7回 部門協議会	SICE 事務所	5	10
計測部門				
2/21	2019年度 第1回 計測部門運営委員会	SICE 会議室	-	-
5/24	2019年度 第2回 計測部門運営委員会	SICE 会議室	6	8
8/29	第3回 センシングフォーラム運営委員会	慶応義塾大学失上キヤンパス	-	17
12/17	第108回力学・計測研究会運営委員会	事務局会議室	8	20
11/8	第104回バスターン計測部会運営委員会	国民宿舎 桂浜荘	-	4
制御部門				
3/7	第1回 制御理論部会運営委員会	熊本大学	-	14
3/8	第1回 制御部門事業委員会	熊本大学	-	10
3/9	第1回 制御部門運営委員会	熊本大学	-	29
3/20	制御部門 web サイト (運営委員名簿の更新)	-	-	-
3/20	制御部門 web サイト (各賞受賞者の更新)	-	-	-
3/21	制御部門 web サイト (過去のイベント情報更新)	-	-	-
4/23	制御部門 web サイト (調査研究会リストの更新)	-	-	-
6/14	ISCS 2020 web サイト	-	-	-
7/17	制御技術部会 幹事会	東京電機大学	-	5
8/21	制御技術部会 幹事会	-	-	-
9/12	第2回制御部門事業委員会	TMEIC	-	5
9/12	第2回制御部門運営委員会	広島大学	-	7
11/9	第3回制御部門運営委員会	礼胤 コンベンションセンター	-	26
システム情報部門				
1/24	第1回 自律分散システム部会運営委員会	国立民族博物館	4	15
3/6	第1回 知能工学部会運営委員会	龍谷大学	4	13
3/9	第1回 システム工学部会運営委員会	防衛大学校	2	9
3/14	第1回 離散事象システム部会運営委員会	福井大学	2	5
3/18	第1回 システム部会運営委員会	ササンビーチホテル & リゾート沖繩	3	16
4/25	第1回 部門運営委員会	早稲田大学	11	13
5/26	第12回 スマートワールド調査研究会 運営委員会	同志社OVC リトリートセンター	1	13
6/1~2	第2回 システム部会運営委員会	グラフロント大阪 ナレッジキャピタル	4	8

6/25	第2回 部門運営委員会	SICE 事務局	7	11
6/29	第1回 コンピューターション・インテリジェンス部会運営委員会	慶応義塾大学	3	16
8/30	第1回 離散事象システム部会運営委員会	北海道斜里町	3	7
9/10	第3回 システム・情報部門運営委員会	広島大学	6	11
11/23	第4回 システム・情報部門運営委員会	千葉大学	10	12
11/24	第2回 知能工学部会運営委員会	千葉大学	6	12
11/24	第3回 システム部会運営委員会	千葉大学	3	8
11/25	第2回 システム工学部会運営委員会	千葉大学	9	8
12/20	第2回 CI 部会運営委員会	近畿大学	5	10
システムインテグレーション部門				
1/7	2019年度 第1回 運営委員会	首都大東京秋葉原 サテライトキャンパス	10	25
1/28 ~21	2019年度 第2回 運営委員会	メール審議	5	61
3/4~8	2019年度 第3回 運営委員会	メール審議	1	61
3/18 ~22	2019年度 第3回 運営委員会	メール審議	7	61
4/20 ~23	2019年度 第4回 運営委員会	メール審議	2	61
6/6	2019年度 第4回 運営委員会	広島工業大学	26	40
8/7~16	2019年度 第5回 運営委員会	広島校舎	5	61
9/5	2019年度 第6回 運営委員会	早稲田大学	18	38
10/26~31	2019年度 第7回 運営委員会	早稲田キャンパス	8	61
11/25~29	2019年度 第8回 運営委員会	メール審議	11	61
12/13	2019年度 第9回 運営委員会	サンポートホール 高松	9	43
産業応用部門				
1/30	第1回 計測・制御ネットワーク部会	SICE 会議室	8	16
2/6	第6回 産業応用部門運営委員会	SICE 会議室	6	6
2/13	第1回 計装技術交流部会	SICE 会議室	5	9
2/27	第2回 計測・制御ネットワーク部会	SICE 会議室	10	14
3/20	第3回 計測・制御ネットワーク部会	SICE 会議室	11	11
3/25	第2回 計装技術交流部会	SICE 会議室	3	8
4/8	第1回 産業応用部門運営委員会	SICE 会議室	5	8
4/9	第4回 計測・制御ネットワーク部会	村田機械東京支社	9	18
5/15	第5回 計測・制御ネットワーク部会	村田機械東京支社	9	13
5/15	第3回 計装技術交流部会	SICE 会議室	4	7
6/5	第6回 計測・制御ネットワーク部会	村田機械東京支社	9	12
7/10	第4回 計装技術交流部会	SICE 会議室	5	6
7/12	第7回 計測・制御ネットワーク部会	村田機械東京支社	9	17
8/1	第3回 産業応用部門運営委員会	SICE 会議室	3	3
8/28	第8回 計測・制御ネットワーク部会	SICE 会議室	10	15
9/4	第5回 計装技術交流部会	TMEIC 本社会議室	3	10
10/1	第4回 産業応用部門運営委員会	SICE 会議室	5	5

10/2	第9回 計測・制御ネットワーク部会	SICE 会議室	9	14
11/20	第10回 計測・制御ネットワーク部会	SICE 会議室	9	9
11/25	第6回 計装技術交流部会	SICE 会議室	6	7
12/10	第5回 産業応用部門運営委員会	SICE 会議室	6	4
12/18	第11回 計測・制御ネットワーク部会	SICE 会議室	10	19
ライフエンジニアリング部門				
3/5	第1回 部門・4部会合同運営委員会	電気通信大学	7	15
8/24	第2回 部門・4部会合同運営委員会	Asia Hotel,バンコク	7	9
支部協議会				
2/1	支部協議会準備会(Web会議)	SICE 事務局	6	13
3/6	部門・支部合同会議	定山浜万田閣 ホテルミリオーネ	6	10
4/19	第1回 支部協議会	SICE 事務局	6	22
7/5	第2回 支部協議会	SICE 事務局	7	15
9/10	部門・支部合同会議	広島大学 東千田キャンパス	4	31
9/10	第3回 支部協議会	広島大学 東千田キャンパス	4	23
北海道支部				
1/22	支部総会	北海道大学	4	10
1/22	第1回 北海道支部運営委員会	北海道大学	1	10
3/7	第2回 北海道支部運営委員会	北海道大学	1	10
東北支部				
1/24	SICE 東北支部会議	東北大学	9	6
1/23 ~25	第1回 SICE 東北支部専門委員会	メール審議	1	25
4/23 ~26	第2回 SICE 東北支部専門委員会	メール審議	3	24
6/10 ~17	第3回 SICE 東北支部専門委員会	メール審議	3	24
中部支部				
1/26	第50期 支部会議	名古屋大学	6	23
1/26	第1回 運営委員会・事業委員会	名古屋大学	8	25
4/13	第2回 運営委員会・事業委員会	名古屋工業大学	6	21
7/13	第3回 運営委員会・事業委員会	名古屋工業大学	6	16
11/26	第4回 運営委員会・事業委員会	名古屋工業大学	4	18
11/26	定例顧問会議	名古屋工業大学	5	18
北陸支部				
1/18	第23期(平成31年)新田合同運営委員会	ITビジネスプラザ武蔵	6	9
1/18	第23期(平成31年)支部会議	ITビジネスプラザ武蔵	6	15
5/24	第1回 運営委員会	ITビジネスプラザ武蔵	10	6
7/25~31	第2回 運営委員会	メール審議	-	7
8/31	第3回 運営委員会	石川工業高等 専門学校	-	6
11/22~28	第4回 運営委員会	メール審議	-	7
関西支部				
4/5	第1回 運営委員会	大阪電気通信大学	4	25
6/19	第2回 運営委員会	大阪電気通信大学	4	19
9/3	第3回 運営委員会	大阪電気通信大学	7	19
10/22	第4回 運営委員会	大阪電気通信大学	7	13
12/16	第5回 運営委員会	大阪電気通信大学	4	13
中国支部				

1/25	支部会議	岡山大学	10	16
1/25	第1回 運営委員会	岡山大学	10	16
5/31	拡大運営委員会	岡山大学	5	26
11/5	第2回 運営委員会	メール審議	5	20
四国支部				
3/30	第1回 四国支部運営委員会	愛媛大学	6	5
12/7	第2回 四国支部運営委員会	高知工業高等 専門学校	5	7
12/7	拡大実行委員会	高知工業高等 専門学校	5	7
九州支部				
1/26	第1回 拡大運営委員会(新旧合同)	リファレンス駆車ビル	6	19
1/26	第48期 支部会議	リファレンス駆車ビル	-	19
6/29	第2回 運営委員会	リファレンス駆車ビル	6	8
10/20	第3回 運営委員会	リファレンス駆車ビル	7	8